
シーカー設定集

安部飛翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シーカー設定集

【Nコード】

N7493Y

【作者名】

安部飛翔

【あらすじ】

シーカーの設定集です

少しずつ追加していきます

物語の進行で一部内容が変化していきます

設定内容は改稿予定の内容に沿っています

全体的に先の展開をかなりネタバレしてしますのでご注意ください

ただし話の展開が予定から変化し設定も変更する可能性もあります

キャラ紹介（主人公）

スレイ：18歳、男、人間。

・容姿：黒髪を短髪だが多少無造作に伸ばした感じで切れ長な黒い瞳。彫りの深いそれなりに整った顔立ち。肌の色は白い。鋭い瞳に不敵でクールな表情。ただし実態は幼少期からの長年の「ぼっち」生活の所為で表情筋が退化してて、無表情がデフォルトで表情を変えるときも口元を吊り上げるような笑みが大半な為クールに見えるだけ。そのおかげで性格を色々な意味で勘違いされて本人的には不本意。細身すぎるほど細身だが無駄なく鍛えられた引き締まった肉体の持ち主。身長は175センチメートル程。常に黒尽くめの服装をしている、理由は何となく格好良いからというただの好み。首には飛翼の首飾りとリリアとペアの相思の首飾りを掛け、左手首には嫌味の無い上品な輝きのしとやかで滑らかな金毛の九尾の腕輪を填め、腰には魔法の袋を提げている。現在の服装はミスリル絹製の黒く染めたジャケットを着るとズボンを履き、ジャケットの下にはごく普通の黒いシャツを着ている。靴はこれまた黒く染めた牛鬼の革に靴底は魔法の特殊ラバーを使った靴を履いている。両腰には、鏢さえ無い簡素な設えの柄だが、刀身は妖しいまでに凄絶に美しく禍々しい輝きの、右手に持つのが紅の刀身、左手に持つのが蒼の刀身のシークレットウエポンのデイラク刀を、刀とセットの黒塗りの鞘に納めて差している。

・特徴：大陸を旅する間に服装から“黒刃”の二つ名で知られるようになる。

最近では迷宮都市アルデリアでも“黒刃”の二つ名が浸透して来ている。

現在、実質、欲望の邪神使い（ゴッド・ティマー）かつ時空竜使い（ドラゴン・ティマー）かつ、創造と破壊の不死鳥使い（フェニックス・ティマー）。

究極の枕ディザスター、究極の抱き枕フルール、究極の掛け布団ロードにより究極の三種の神器ならぬ寝具が完成する。

迷宮都市に来て僅か2カ月半程度でSS級相当探索者となる。

クロウの記録を超えて、SS級相当探索者到達・最短記録保持者レコードホルダーとなる。

現在は世間体としてはSS級相当探索者、実質規定不能探索者。

ちなみに年齢・装備・預金については神々の探索者システムとは関係無い部分なので規定不能探索者でも探索者カードに表示可能。

恐怖心をロドリゲーニに喰われてしまった為に持たなかったのが初期から精神：EXだったが、恐怖心を取り戻す事によりクランドとの戦いの中の魂の交感で魂に埋め込まれた“意志”の“剣”が、感情的に完全に人としての在り様を取り戻したスレイに呼応し一部発動し、精神力は寧ろ強化され規定不能となる。

また運勢：Gなので宝などには出会えず常に強大な魔物や敵に出会う宿命を持っていた、ちなみに特性：天才をより早く成長させる育成計画の為に神々がそう創り上げたものである。だが人の無限を超えた可能性の“極限”のその一端なりにとも“到って”、運勢も規定不能となる事で宝などは幾らでも手に入るようになったが、スレイ自身が強敵との戦いを望んでいるので強大な敵と常に出会うのはそのまま。

“前期・対邪神殲滅兵器”特性：天才なので無限を超えた成長力を持つ。ただし神々の力の枠を越えた時点で、神々の創った探索者システムの探索者カードでは表示が不可能となり、規定不能となった。

“人間”という“種族”の無限を超えた可能性の“極限”のその一端に“到った”が、クランドの様に“完全”な人の可能性の“極限”に“到った”訳では無い。

双刀とは会話までは出来ないが、思念を通じ合わせる事が出来る。2人の師より剣と魔法の基本さえ習う事すら無く、その生来の速度で圧倒して試合では勝ち続け、旅に出る事を了承させ、実戦で戦いに慣れながらも、結局基本は全く身に付ける事無く探索者となり、人を遥かに超越したシステムの肉体を持った探索者となつてから、基本的な鍛錬なども始めるようになった為、本人に自覚は無いが、基本のレベルから人の理を外れた新たな“技”や“術”を創り出して行っている。

クロウに言わせると刀術は理外の刀術にして化外の刀術、当然魔法や他の全ての術の類も同様の理外にして化外の物。

通常、探索者となつてちゃんと生き残り全うな道で大成する者は、全員探索者になる前に、それぞれ自らに合った様々な武器の技や魔法などの術の基本ぐらいはちゃんと極めてるので、あくまで探索者の肉体となり成長したとしても使うのは人の物として創られた技や術の延長であり、結局人としての発想の限界に囚われてしまつてるので、探索者になつた後も、その探索者の肉体のポテンシャルを限界まで発揮しきる“技”や“術”を編み出す事が出来ない。

唯一闘術の大家、グランド家だけが、何代にも渡り大勢の探索者を輩出し続け、探索者としての“技”を追求しているが故に、その始まりの一端には足を踏み入れているが、未だ探索者としてのポテンシャルを発揮し切るには到っていない。

その探索者としてのポテンシャルを発揮し切る最適な“技”や“術”を個人で編み出して行っているスレイは、生来のスピードがあった為にそれに頼り、剣の技も魔法などの類の術も基本すら習わなかった事、様々な探索者としての刀術に適した特性、好む戦い方、自ら新しい刀術を編み出せる才能、魔法もまた発動法も本を読んだだけで自力で発動させ、様々な実用的な魔法書と妄想混じりの魔法書を読む事で独自の魔法理論を持つに到るだけの発想力、と様々な偶然と奇跡が重なり人の常識の囚われなかったが上の、実に恵まれた存在。

さらに、相手の様々な“技”や魔法などその他様々な“術”を“視る”だけで分析、分解、自らにとって役に立つ物と不要な物・邪魔な物・無駄な物を取捨選択し、いいとこ取りして、進化させ再構成し、コピーする、進化コピーという、今まで歴史を積み重ね技法や術理を磨き上げてきた先人達が涙目な反則技も持つ。

また最上位の全知全能をも遥かに超える、どころかもはや隔絶した力である、“切断”の“絶対概念”をその身に潜在的に秘める。

・性格：戦いに身を投じた原点が罪悪感と贖罪の意識であり、社会には一応適応している為に勘違いされやすいが、実は生まれつき羊の皮を被った狼、どちらかという悪人。

理由が無ければ敵は容赦無く殺すし、美女にはあっさりと手を出し据え膳は必ず喰う。

本人的にはオープンスケベなつもりなのだが、表情がアレな為ムツリスケベな状況で、本人的には不本意。

本人的には親しみを持たせるつもりユーモアも洒落にならない物が多く、周囲の者を震え上がらせる事態になる事が多い……具体的にサクヤの胸の無さへの言及など。

最強への拘りは、どこまでも我侷で、子供じみてさえいる。

作品の二大テーマが主人公最強とハーレムという事から分かるように、理想ではなく野望を体现した主人公。

探索者となった者は、ただの人だった時をコピーしたイミテーションの欲求を持ち、欲求をきちんと感じ、それに従い生活している為に自覚していないが、本質的には人としての欲求に縛られている。

以前、睡眠欲などを無視するのに純エーテル強化が必要だったのは、まだスレイが人としての意識の枠から完全に抜け出せていなかった為。

今のスレイなら戦闘欲と性欲以外は全て完全に無視できるが、イミテーションの欲求も存分に楽しむ事は出来る物なので、食欲・睡

眠欲始め、その他の欲求も、敢えてイミテーションの欲求に身を任せている。

男なら大抵の者は抱くだろうあらゆる存在を超えた唯一絶対の最強に成りたいという野望を持ち、その為戦闘欲求が規格外に強い。

またその戦闘本能の箍の外れた強さは神々が兵器としての有用性を高める為、特性：天才の魂に埋め込んだ物でもある、そのため紛れも無くスレイの戦闘欲求は本物の欲望。

尤も逆にそれが神々にとっても特性：天才を持って余す羽目になる理由となったのだが。

ちなみにディザスターにとってはスレイの前世のオメガ時代から格好の餌の欲望の一つ。

しかもスレイは、最強へと到っても戦闘は楽しみたいので、対等な好敵手は欲しく、その上で対等でありながら常に自分が全戦全勝して最強の座を永遠に保持し続けたいなどという本気で子供じみた我侷な性格をしている。

その上でその対等な好敵手を含めた無限を越えたありとあらゆる世界とその他の果てに至るまでの全ての存在を敵に回して一人で勝つ、真に孤高の最強になりたいという、数の理論や計算など考えもしない理不尽な野望でもある。

また、これまた大抵の男が抱くであろう美女・美少女を大量に侍らせたいという野望を持ち、独占欲も酷く強い為、当然性欲も規格外に強い、ちなみにスレイは性欲も本物の欲望である。

これもディザスターにとって格好の餌の欲望の一つで、前世のオメガ時代には無かった新たな良質な餌だが、前世のオメガはミューズに一途だった上、神々に埋め込まれた訳でも無いのにこれほど強大な本物の欲望を持つ事にさしものディザスターも疑問を感じ困惑している。

ちなみにあっさり女に手を出すのはその為。

人の女には手を出さないというのが唯一持つ最低限のモラル、その延長上として嫌がる女にも手を出さないというモラルも一応持

つてはいるが、それに関しては時間を掛けて相手を口説き落とせばいいという考えだけで、別に諦めるつもりは全く無い。

人の女ものを除けば、無限を越えたありとあらゆる世界とその外の果てに至るまで、彼の美的感覚で美女・美少女と呼べる存在モノは全て自らの女にしたいというこれまた無茶苦茶な野望である。

昔、前世で闇神アライナに砕かれた魂を接着し修復するのに使われた前世の恋人であった美神ミューズの魂の一部の影響で、異性の好感度を普通の男の数十倍の速度で稼ぎ、また魂の相性が合う相手には一目惚れたちされる性質の、ミューズと同じ魂の波動を持つため、なおさら性質たちが悪い。

ちなみに相手を魅了する類の魂の波動で無いのは、ミューズが美神であるだけでなく愛も尊ぶ女神である為、ミューズの魂の尊厳がそのような無粋な真似を許さない為。

ミューズ自身は今もオメガに純潔を捧げ、操を立て続けている。上記でも書いたが、スレイの前世のオメガ自身も前世ではミューズに一途だった為、何故スレイがこのような性格になったのかは不明。

また魂の霊格が、神格すら遙かに超え、とんでもなく高位に到っている為、最近では性行為がただの肉体的接触ではなく、魂レベルでの交感となり、互いに己が全てを見せ合う事になる為、一度繋がった相手との絆は自然と深くなる。

また魂の霊格がそれだけ高く、良い意味でも悪い意味でも個性も誰よりも強烈で、とんでもなく強い輝きを持つ魂の為、真夏の正午の蒼天の太陽の輝きの中で、紛れもなく空に存在する星の光が見えないように、一度関係を持った女性あいては、スレイ以外の男が眼中に無くなる。

一応は魂の圧倒的な輝きで完全に惚れさせてるだけなので、魅了でも洗脳でも無い。

ともかく、世界中のあらゆる男にとって、これほどに性質たちの悪い存在は他に居ない。

また元々権力者に欠片も敬意を持っていなかったが、昔は自分はどうなつても構わないが、自分の身近な人間に何かがあると困るという気遣いから、場を弁え、権力者への遠慮もあった。

だが今となつては、ここに自分が居る以上、身近な人間に何かがある事などありえないという考えに到り、場など全く弁えず、権力者への遠慮など欠片も無い。

それどころかもはや、権力に留まらず、国家や社会という枠組みに対してすら、たかが世界の一つくらい自分がその気になれば簡単に潰せるのに、何に遠慮する必要があるのか、という理由でどこまでもフリーダム。

さらに自らより高みに在る強者に対しても、いずれは無限を超えたあらゆる世界とその外の果て無き果てに到るまでの全ての存在を敵に回しても勝利する自分が、今たまたま自分より強い相手に遠慮するなど格好悪いし下らない、それ以前に自分より強かろうがなんだろうが戦えば絶対勝つてやる、という子供じみた考えから、強者への遠慮も無い。

ただ、故郷の村での少年時代、美人な幼馴染達や美少女の妹の様な存在が居た為、同年代の少年達に嫉妬され、ハブられて「ぼつち」だった為、友達は沢山欲しいので、フレンドリーに上記で述べた様にオープンスケベなところとバトルマニアなところを明け透けにして、同年代の男の探索者に親しみを持ってもらおうと努力しているが、上記で述べた筋金入りの頑固な表情筋と、幼馴染達の幼少期からの徹底的な薰陶による無意識の透かした言動と、その派手な女性関係の所為で、同年代の男の探索者からはいけ好かない存在としか思われない為、努力は全く実らず密かに落ち込んでいる。

それが、貴重な同年代の男の友人であるアッシュに対し、エリナの事などかなり便宜を図っている理由だったりする。

他人なぞどれほどの立場だろうと人格だろうがなんだろうが、全く尊敬していないが、唯一、“ただの”人の身でありながら、未だ自分ですらその一端にしか“到って”いない、人間の無限を超えた可

能性の“極限”に“到って”みせたクランドただ一人にだけ、魂の全てまで恋人や夫婦より尚深く一体と成る程に通わせあつた事もあり、魂の全てを賭ける程の敬意を抱いている。

それ以外は完全に天上天下唯我独尊で、我が道を行く、究極の自由人、ただしちよつと寂しがりや、1人の時はペット達に心を慰められている。

と、実に様々な方面に統一感の無い、バラバラに乖離した性格だが、これは一応、過去の史実の英雄達の人格の多面性を、スレイに持たせようとしている結果。

・その他：規定不能探索者。特性：天才。“黒刃”。

スレイ

Lv：unknown

年齢：18

筋力：規定不能

体力：規定不能

魔力：規定不能

敏捷：規定不能

器用：規定不能

精神：規定不能

運勢：規定不能

称号：unknown

特性：unknown

祝福：unknown

職業：unknown

装備：紅刀アスラ、蒼刀マーナ、ミスリル絹のジャケット、ミスリル絹のスボン、牛鬼の革のスニーカー、九尾の腕輪

経験値：unknown

預金：

コメル

規定不能探索者

キャラ紹介（迷宮都市アルテリア）

リリア・アルメリア：18歳、女、人間。

・容姿：腰まで伸ばしたストレートの赤毛と大きく丸めの明るい茶色い瞳。肌の色は白い。彫りの深い大陸系の顔立ちの美少女。身長155センチメートルほど。胸はCカップと標準的だが、腰は括れて、脚も長く、全体的なスタイルは抜群。服装はその日によって違うが、活動的な感じで統一されている。首にはスレイとペアの相思の首飾りを掛け、左手薬指にスレイに貰った護法の指輪を填めている。探索者ギルド・迷宮都市支部で人気のアイドル的存在。

・特徴：探索者ギルドの職員としては成り立てで、スレイが探索者への登録と改造まで最後まで面倒を見た最初の相手。顔が広く独自の情報網を持ち、プロの情報屋顔負けな程。

・性格：明るく活発な雰囲気、実際それに見合った明るい性格。喜怒哀楽が激しい。真剣な時にはとことん真剣になる。結構容赦が無い。懐は深いがそれなりに嫉妬深い。積極的でかなり何にでも顔を突っ込む。意志は強い。

・その他：探索者ギルド登録所&仕事斡旋所受付嬢。ギルドマスターの娘。

ゲツシュ・アルメリア：46歳、男、人間。

・容姿：彫りが深く威厳のある顔立ち。年齢故のアッシュブロンドの髪と髯を清潔に整えている。髪は短すぎない短髪。大きく丸めの

深い茶色い瞳。眼鏡をしている。肌の色は白い。彫りの深い大陸系の顔立ちのナイスミドル。身長180センチメートルほど。鍛えられている訳ではないが、決してたるんでいないスマートな体型。常に威厳あるフォーマルなスタイルの服装をしている。

・特徴：当然の如く組織運営に優れ、人を使うのが上手い。

・性格：器が大きく、偏見などに囚われず人を見る事が出来る、また見る目もある。判断力にも優れ、決断力もある。娘には非常に弱い。それなりに気を遣う性格で、色々と背負い込み易い。また相手の立場が自分より上な場合はそれなりにプレッシャーを受ける。結構苦勞人気質。その為、最近は色々とある為に胃薬の世話になっている。

・その他：探索者ギルドのギルドマスター。代々ギルドマスターは光神ヴァレリアの最高司祭・聖王の神託により任命される。

アツシュ・グラナリア：18歳、男、人間。

・容姿：ツンツン尖った短めの茶髪に、大きく丸く明るい茶色い瞳。彫りの深い大陸系のやや上品なそこそこ整った顔立ちの青年だが、悪戯好きの子供のような稚気も漂わせる。肌の色はちよつと焼けて茶色い。身長は185センチメートルほど。筋肉でそれなりにゴツイ体型。探索時は戦士らしくアダマタイト製の実に硬質で頑丈そうな全身鎧かつ同じくアダマタイト製の実に硬質で頑丈そうなバルディッシュという形状の戦斧という重装備。首には飛翼の首飾りを掛けて、腰には魔法の袋を提げている。普段は特に気にする事なく、貴族らしいが活動的な服装をしている。

・特徴：エルシア学園の今代の卒業生ではアツシュ達3人が飛び抜

けて並び、剣士科主席と騎士科主席は一段劣つていられる。本来ならば例年卒業間際に騎士職にクラスアップした騎士科主席が卒業時点では一番優れているのが普通。また兎兎帝国第二皇女・癒しの竜皇女エリナとは過去の経緯から両思いで、文通のみの恋人同士。エリナに求婚する為、探索者として父親よりずっと大きな功績を立て、クロスメリア王国国王・勇者王アルスに一代公爵位を賜る事を目指している。ちなみに二人の交際に反対してるのはエリナの姉くらいで、両親はエリナの想いを尊重するつもり。

・性格：常に前向きで、人を引っ張って行くような明るい性格。またそれなりにスケベ。意志はそれなりに強い。ともかく騒がしい感じ。口を滑らせ酷い目に合う事も多い。友情などを大事にする。真面目な時はそれなりに決める。

・その他：B級相当探索者。探索者出身・一代男爵グラナリア家長男。ルルナの双子の兄。エルシア学園戦士科主席卒業生。

ルルナ・グラナリア：18歳、女、人間。

・容姿：腰まであるストレートの茶髪に丸く大きく穏やかな垂れ目の明るい茶色い瞳。彫りの深い大陸系の非常に上品な貴族的な顔立ちの美少女。肌は白い。身長は160センチメートル程度、胸はCカップと標準的だが、腰は括れ、脚は長く、また鍛えられたしなやかな肉体で、スタイルは抜群。探索時は上品な絹の服と絹のスポンに動き易い革の靴を履き、その上から胸部のみを覆うアダマンタイト製の実に硬質で頑丈そうなプレストプレートを装備している。また武器としてアダマンタイト製のこれも実に硬質で頑丈そうなガンレットを用いている、本来は防具だが殴るのに使うので武器のよくなもの、こちらもダマススス製なので木目状の模様がある。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げている。普段着は上

品な仕立てのドレスで、頻繁に着替えている。

・特徴：エルシア学園の今代の卒業生ではアツシユ達3人が飛び抜けて並び、剣士科主席と騎士科主席は一段劣つていられると言われている。本来ならば例年卒業間際に騎士職にクラスアップした騎士科主席が卒業時点では一番優れているのが普通。大それた望みは持たず、それなりの功績を立てる事で男爵位を継ぐ事を認められるか、新たに低位の爵位を得て、好いた男と添い遂げられればいいと思っっている。

・性格：少女らしく、惨劇の場で心が折れてしまう程度には意志は弱い。また探索者出身の一代貴族の家の娘ながら、喋り方や仕草も貴族的で、貴族たらんとして、上流階級らしい振る舞いを身に付けている。どこか控えめで、それほど前に出るタイプではない。鷹揚で男を立てるタイプ。

・その他：B級相当探索者。探索者出身・一代男爵グラナリア家長男。アツシユの双子の妹。エルシア学園闘士科主席卒業生。

エミリア：18歳、女、エルフ。

・容姿：腰まで届く金髪のツートールに大きく切れ長で釣り目の金色の瞳の超規格外の美少女。人より美形が多いエルフの中でも更に美形が多いハイエルフにさえ勝ると言われる特別優れた美貌を持つ。肌の色は抜けるように白い。身長は165センチメートルほど。エルフとしては珍しい非常に豊かなEカップの胸の持ち主。当然他の部分はエルフらしく妖精と言つに相応しい優美なスレンダーさを備え、腰も括れ、手足もすわりと長く、スタイルも抜群。身体にピツタリと張り付いた色っぽい服装の上に、茶色く染めたミスリル絹のローブを羽織っているが、その上からでもその胸の豊かさは見てと

れる。靴も茶色いエルフの靴。また武器である祝福の杖は治癒の効果を高める杖だが、ひどく鋭く先が尖り、持ち手も鈍器のようになっている。非常に物騒な武器にもなる、見た目も物騒な代物。左腰には細剣でありながら実に硬質で頑丈そうなアダマントタイト製のレイピアを鞘に納めて差している。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げている。

・特徴：エルシア学園の今代の卒業生ではアツシュ達3人が飛び抜けて並び、剣士科主席と騎士科主席は一段劣つていると言われている。本来ならば例年卒業間際に騎士職にクラスアップした騎士科主席が卒業時点では一番優れているのが普通。その美貌の為、グラナダ氏族の長老衆から有望な人間族との繋ぎを深くする為の役割を与えられ、迷宮都市のエルシア学園に送られたが、エミリアは反発し、探索者として独立し生きるつもりだった。

・性格：少女らしく惨劇の場で心が折れてしまう程度に意志は弱い。が、それでもルルナを庇うように抱きしめる程度には意志を保ち、またスレイに対し積極的にパーティに参加してくれるように願い出る程積極的。独立志向が強く、自分らしく強く生きようという意識が強い。他種族に差別的なエルフの中でも特別な、他種族に対し友好的で差別意識を持たないグラナダ氏族の生まれの為、よほど嫌な性格の相手でも無い限り大体の人間に友好的である。

・その他：B級相当探索者。グラナダ氏族長老衆の一人にして元S級相当探索者ジンの孫娘。エルシア学園魔術師科主席卒業生。

ジュリア：22歳、女、人間。

・容姿：腰までの長髪ストレートの金髪に、大きく切れ長で釣り目の凛々しい碧眼。彫りの深い大陸系の凛々しい顔立ちの白皙の美女。

女性としては長身で170センチメートルほど。胸はCカップと標準的だが、鍛えられた肉体はしなやかな獣のようで、腰は括れ、脚は長く、スタイルは抜群。日常では女性的な服装を好む。神殿での勤務時や探索時は漆黒の闇狼の革の服と革のズボンと革の靴を履き、その上から純白のオリハルコン製の胸部のみを覆う神殿騎士のプレートプレートを付ける。武器としては長大なオリハルコン製の神殿騎士のバスタードソードを鞘に納めて帯び、左手にはオリハルコン製の神殿騎士のバックラーを装備する。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：かつて未知迷宮【闇の迷宮】の上層階で暴れまわり被害を出していたS級ボスモンスター“闇狼”を倒したことから“神狼”の二つ名を得た。神殿騎士というだけでも神殿内では巫女と並び高位の存在だが、更にジュリアは職業神の神殿騎士の中でも高名な存在。

・性格：凜々しい容姿に見合った、はっきりとした性格や、言動なども備えていて。格好良い性格でもあるが。逆に女性らしいところも多く、女性らしい事を好み、料理などの女性的な事も得意としている。

・その他：S級相当探索者。職業神の神殿騎士。“神狼”の二つ名を持つ。

ライオット・グレイブ：18歳、男、人間。

・容姿：しなやかな金髪が肩まで伸び、大きく丸い強い意志を宿した蒼い瞳の、物語に出てくる騎士のような、彫りの深い顔立ちの美青年。肌の色は元は白いがそれなりに焼けている。身長は180センチメートルほどで、ごつくはないがそれなりに鍛えられた体格。

日常では学園では学生服を、家などでは公爵家の嫡子に相応しい上品な服装をしている。実習時や探索時は、硬質で頑丈そうなアダマントタイト製の全身鎧を纏い、硬質で頑丈そうなアダマントタイト製の長大なツーンハンドソードを鞘に納め剣帯に吊り、硬質で頑丈そうなアダマントタイト製の大きな盾を背負っている。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：由緒正しい公爵家でありながら、質実剛健を旨とする家の教育方針で幼い頃から英才教育を施された為、他の騎士科の生徒が卒業直前にやっと騎士職に就くのが普通な中、既に二年生時には騎士職に就き、騎士科史上最強の生徒と呼ばれている。フレイヤに恋心を抱いている。天魔病から快復したルーシーに喧嘩を売られ叩きのめされた。

・性格：家の教育方針に沿わず、地位や実力を鼻に掛けているのが父親グレイブ公爵にとっての悩みどころ。傲慢な性格で人の上に立つのを当然と思っている。のみならず恋に狂った色気付いた青少年そのもの。

・その他：D級相当探索者。クロスメリア王国の由緒正しい公爵家であるグレイブ公爵家の嫡子。エルシア学園三年騎士科主席。

ジーク・グラント：18歳、男、人間。

・容姿：やや伸びた黒髪を背中結び、切れ長で鋭い真っ直ぐな黒い瞳の、人間でありながらどこか兎兎帝国風の彫りが深くも浅くもない、十人並みの柔らかい顔立ちの青年。肌の色は普通に白めの肌色。身長は175センチメートル程。身体は細くしなやかに鍛えられている。日常も探索時も布製のやはり兎兎帝国風の衣服を纏い、革のスニーカーを履いている。探索時のみミスリル絹製の白いセス

タスを両手に巻く。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：学生らしくレベルは低く、ステータスも低い。が、実力としては実はライオットやルーシーより遙かに上。グランド家の“技”とはいかに探索者の能力を限界まで活かすかを追求してる為、単純にステータスが高くとも扱いきれてない2人より、ステータスを限界近くまで使いきっているジークの方が強い。だが一応は闘士科の主席を取ってはいしたが、その本来の実力はずっと隠して来て、誰にも見破られていなかった。グランドという苗字でありながら、“あの”グランド家の人間であるなどは誰も考えていなかった程。アツシュ達3人も気が付いていなかった。だが“女帝”や“剣女神”は気が付いていた可能性が高い。

・性格：素直で真つ直ぐな性格。また自己顕示欲が全く無く、自らの力を隠す事を苦とも思っていない。またそれでありながら大変な努力家でもあり、自らの力を高める為の修行は自己に妥協を許さず常に全力で行っている。自らより強い者を素直に尊敬する性格。

・その他：D級相当探索者。世界中に広がる闘術の大家であるグランド家本家の嫡子。エルシア学園三年闘士科主席。

ミーナ・グランド：22歳、女、人間。

・容姿：腰までのややウェーブがかかった黒髪に、大きく切れ長で奥深い黒い瞳の、晁竜帝国風の、彫りが深くも浅くも無い顔立ちの美女。肌の色は普通に白めの肌色。身長170センチメートル程。胸はDカップで大きめで、細くしなやかに鍛えられながら、腰は括れつつもヒップのラインは豊かで、脚も長く太腿に色気が漂い、スタイル抜群。日常時も探索時も、晁竜帝国風の、龍革製で赤い、どこ

か胸元が開き、スリットが入った、露出過剰で色香たっぷりの服装をして、また靴も赤い龍革製のハイヒールを履いている。また探索時のみ硬質で頑丈そうな長いアダマント製の棍を持つ。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：弟と違い学生時から存分にその“技”を振るい、グランド家の名をエルシア学園でいい意味でも悪い意味でも高めていた。闘士科史上最強の生徒などと呼ばれたが、実質素質はジークの方が上。

・性格：陽気で破天荒、弟を振り回す横暴な姉。天然で色香を振り撒き男に言い寄られるが、自分より弱い男は対象外と公言して憚らず、また強いだけでも駄目などと贅沢を言い、文字通り投げ捨てている。気に入った相手には天然で色仕掛けをするが、今まで気に入った相手は皆無。

・その他：S級相当探索者。グランド家本家・長女。ジークの姉。
エルシア学園闘士科主席卒業生。

ルーシー：18歳、女、人間。

・容姿：明るい茶髪がカールしふわふわとし腰まで伸び、大きく丸い明るい蒼い瞳の、大陸系だが彫りは浅めの顔立ちの、可愛い美しい少女。肌は白い。身長160センチメートル程。胸は着痩せするタイプで実はDカップ、服に隠れて分からないが、腰も括れていて脚も長く、スタイルも良い。日常でも探索時でも、黒い魔法の三角帽子を被り、黒い魔法のローブを纏って、木で作られた魔法の杖を持っている。魔法のローブの下は身体にピッタリ張り付く黒のインナー。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：ジュリアの知り合いルミアの娘でスレイとジュリアが採っ

て来た薬草で天魔病より快復するが、それにより手に入れた強大な魔力に溺れ傲慢になり、ルミアや周囲を困らせている。ライオットとジークと三年戦士科主席に喧嘩を売って、ライオットと三年戦士科主席は倒したが、ジークには無視された。他の三年主席、剣士科主席“剣女神”と、そして本来倒さねばならない相手である魔術師科主席“女帝”は、機会が無いだけ、と言いついて、実際はビビって無意識に逃げてる。

・性格：元々は明るく快活で人懐っこく無邪気な少女だったが、強大な魔力を手に入れた事で、内に秘められていた負けず嫌いな気質が発現し、自らの魔力に尊大な自負心を持ち、他人を見下し、傲慢で好戦的な少女になってしまった。とはいえ無意識に過去からの最大の敵を避けている辺り、生来の気弱さも相変わらず持っているらしい。

・その他：D級相当探索者。元天魔病の少女。ルミアの娘。エルシア学園三年魔術師科次席。

エカティーナ：18歳、女、人間？

・容姿：足下まで伸びる艶やかで光を反射し煌くストレートの黒髪に、大きく切れ長でやはり光を反射し煌く黒い瞳の、どこかダイヤ風の彫りの浅い顔立ちの高みに立つ者の高貴な雰囲気漂わせる超規格外の美少女。肌の色は普通に白い肌色。身長155センチメートル程。胸はDカップと大きめ、腰は括れ、脚も長く、スタイル抜群。学園では学生服。他では常にダイヤから取り寄せたミスリル絹の赤と白の巫女装束を纏い、ミスリル絹の足袋を履き、珍しく丸く周囲を太陽の文様が彩った鏡面が眩いばかりに輝く魔法の鏡を武器としている。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：幼い頃から探索者に成り、現在は既に魔導師の職に就いている。エルシア学園史上でも異端の最強と呼ばれる2人の片割れ。もう一人のセリアーナとは幼い頃からの親友。その圧倒的な実力と生徒会長として権限を存分に振るう事から“女帝”^{エンプレス}と学園内で通り名が付いた。自らに祝福を与えるのは美を司る神こそが相応しいと、探索者としての有利不利など特に気にせず、美神の信徒として祝福を受けた。

・性格：人の上に立ち命令する事を当然と感じ、自らの実力の高さも当然の物として、だがそれに見合う努力と行動をするタイプ。人を惹きつけるカリスマ性を持ち、人に反抗する気を起こさせない。親友のセリアーナの事は信頼し頼りにしている。剣においてはセリアーナに譲ると思っ^{エンプレス}ているが、自分が誰かに敗北する事など考えた事も無い、まさに生まれつきの“女帝”。

・その他：A級相当探索者。王都ザンクロスの官僚の娘。セリアーナの親友。エルシア学園三年魔術師科主席。エルシア学園生徒会長。^{エンプレス}“女帝”という学園内での通り名を持つ。

セリアーナ：18歳、女、人間？

・容姿：鮮血の如き紅の足下までの艶やかな髪に、大きく切れ長な紅の瞳の、彫りの深い大陸系の顔立ちの、どこまでも優しい包容力と正義感に満ちた厳しさの両方を感じる雰囲気^{エンプレス}を漂わせる超規格外の美少女。肌の色は抜けるように白い。身長170センチメートル程。胸はEカップと大きく、鍛えられた細くしなやかな肢体で、腰は括れ、脚は長く、スタイルは抜群。服装は学園では学生服。他では常にミスリル絹のどこか軍服じみたパンツルックと、火車の革と魔法のラバーで作られたスニーカーで。探索時にはその上からミスリルの銀の輝きが眩い長大なバスタードソードを二本赤い鞘に納め

両腰の剣帯に下げ、ミスリルの銀の輝きが眩いブレストプレートを装備する。極めて珍しいバスタードソードの二刀流使い。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：幼い頃から探索者に成り、現在は既に剣鬼の職に就いている。エルシア学園史上でも異端の最強と呼ばれる2人の片割れ。もう一人のエカティーナとは幼い頃からの親友。その長大なバスタードソードを二本用いての圧倒的な二刀流の剣技があまりに美しく女神の如く見えたと誰かが言い出し“ソドゴッデス剣女神”と学園内で通り名が付いた。単純に親に倣い、探索者としての有利不利など特に気にせず、鍛冶神の信徒として祝福を受ける。

・性格：正義感が強く、人を取り締まり、人に正しさを求めながらも、どこまでも優しく、辛抱強く相手の改心を待つ包容力がある。その剣技の苛烈さからは信じられないような優しい性格は初対面の相手に驚かれ、風紀委員長などという役職にありながら、恐れられるどころか学園生の誰からも慕われている。

・その他：A級相当探索者。鍛冶師の娘。エカティーナの親友。ソドゴッデスエルシア学園三年剣士科主席。エルシア学園風紀委員長。“ソドゴッデス剣女神”という不遜にも神の名を冠する学園での通り名を持つ。

ガルド・グラナリア：38歳、男、人間。

・容姿：30代半ば程の容姿。短めの茶髪に、大きく丸く茶色い瞳彫りの深い大陸系のやや上品なそこそこ整った顔立ちとアッシュと良く似ているが。髪は大人しく下りていて、年齢相応の落ち着きがあり、茶色い髭をうつつすらと生やした大人の男性。肌の色はアッシュと同じくちょっと焼けて茶色い。また、身長は185センチメートル程とアッシュと同じ程度で、体型もアッシュと同じように筋肉

質でごつい体型をしている。普段着は男爵らしく貴族服だが、探索時はやはりオリハルコン製の全身鎧を纏い、オリハルコン製の形状はバルディッシュの戦斧を持つ。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げ、左手薬指にはリリーナとの結婚指輪をしている。

・特徴：一代男爵位は名誉爵位のようなもので、仕事は普通に探索者を続けている。妻のリリーナと戦闘メイドのヒルデとパーティを組んでの探索。

・性格：恐妻家で妻に頭が上がらない。だが子供達に対しては良い父親だし、妻に対してもちゃんと愛情を持っているので夫婦仲は上手くいつている。落ち着いた雰囲気醸し出し、大人の男といった風情だが、どこか苦勞人。

・その他：A級相当探索者。探索者としての功績でのクロスメリア王国一代男爵。アッシュとルルナの父親。

リリーナ・グラナリア：40歳、女、人間。

・容姿：ルルナに似て、腰まであるストレートの茶髪に丸く大きく明るい茶色い瞳だが、娘と違い釣り目。彫りの深い大陸系の非常に上品な貴族的な顔立ちの美女。速めに高位の探索者となった為容姿は20代後半程度に見える。肌の色は白い。娘と同じく身長は160センチメートル程度、胸はCカップと標準的だが、腰は括れ、脚は長く、また鍛えられたしなやかな肉体で、スタイルは抜群。普段着は貴族としてのドレス姿。探索時は上品なミスリル絹の蒼い服装に動き易い蒼染めの竜革の靴を履き、その上から胸部のみを覆うオリハルコン製のプレストプレートを装備している。武器としては蒼染めの竜革のセスタスを巻く。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げ、左手薬指にガルドとの結婚指輪をしている。

・特徴：探索者登録を更新していないだけで、今もガルドの探索についていつている。

・性格：破天荒な性格で好奇心も強い。自分よりランクが下のガルドを自ら口説き落として夫にした。ただし自分以外に女は作らないうという約束をさせた。子供達にはかなり放任主義。だがきちんと気には掛けている。行動力に富む。だがきちんと貴族としての振る舞いは身に付け実行している。夫を支配下に置いていかかあ天下の典型。

・その他：元S級相当探索者。グラナリア男爵夫人。アッシュとルナの母親。

ティナ：25歳、女、人間。

・容姿：腰までの金髪をポニーテールにし、切れ長な碧眼の、無表情な、彫りの深い顔立ちの出来る大人の女といった風情の美女。肌の色は白い。身長155センチメートル程。慎ましいメイド服に包まれた肢体は、胸はEカップ、腰は括れ、ヒップのラインは豊かで、太腿のラインも艶かしく、脚は長く、実に抜群のスタイル。だが手だけは働く女に相応しく、あかぎれなどがある。

・特徴：主夫妻の探索に付き合うメイド長に代わり邸内の雑事は殆ど彼女が指示し責任を持って監督している。

・性格：厳しく優しく邸宅のメイド達を管理する大人の女性。とてもきつちりした性格で、メイドとしての品格を正しく備えている。完璧な仕草と佇まいで、室内の風景に溶け込む様に在り、それであるが絶妙のタイミングで主や客人の期待に応える。

・その他：グラナリア家の副メイド長。

ヒルデ：26歳、女、人間。

・容姿：腰までのウェーブした金髪に切れ長で大きめの碧眼の、大陸系の彫りの深い顔立ちの美女。表情は豊か。肌の色は白い。身長160センチメートル程。胸はDカップで、鍛えられた細くしなやかな肢体で、腰は括れ、脚は長く、スタイル抜群、だが副メイド長に劣るのを気にしてる。素材はミスリル絹だが、日常も探索時も常に慎ましいメイド服。そのしなやかさ故に実際に掃除にも使えてしまふ木目状の文様の入った特注のダマスカス製の箒を武器とする。まさに趣味の領域。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：最近上流階級で流行の戦闘メイド。つまり踊って戦えるメイドさん。歌えるかは不明。主人夫妻の探索について行く事が多い。

・性格：最近探索者から現れ始め、上流階級で流行している戦闘従者、その中の戦闘メイドなどという物になるだけあって、やはり主人の妻に似て根は破天荒な性格をしているが、メイドらしく仕事もこなせ、慎ましい佇まいを常に見せ、邸宅に長期に居る時はメイド長の役割をきちんと果たし、そんな所は全く表に出さないプロ。

・その他：A級相当探索者。グラナリア家のメイド長。戦闘メイド。

ルミア：36歳、女、人間。

・容姿：明るい茶髪がカールしふわふわとし膝まで伸び、大きく丸い明るい蒼い瞳の、大陸系だが彫りは浅めの顔立ちの、可愛らしさ

を残した美女。ふわふわした雰囲気を漂わせている。肌は白い。身長155センチメートル程。胸はDカップで、腰も括れていて、脚も長く、スタイルも良い。大人の女性らしい落ち着いた雰囲気の服装をしている。

・特徴：ジュリアの職業神の信徒としての先輩で恩人。探索者ではない。一般の信徒なので立場はジュリアより下。最近のルーシーの自らの力への過信には困っている。

・性格：ふわふわとして、実際それに見合った天然さがありながら、相手を翻弄し手玉に取るような測り難さもある。一応重い雰囲気にもなれるが脱力するような緩さは保ったまま。

・その他：職業神ダンテスの信徒。ルーシーの母親。

フィーナ：18歳、女、人間。

・容姿：白銀の髪をストレートで腰まで伸ばし、大きく丸い蒼い瞳をした、儂げな雰囲気を感じさせる、彫りの浅い顔立ちの美少女。肌の色はひどく白い。身長は150センチメートルほどと小柄。胸もやや小さめでBカップ、全体的にほっそりとして華奢な印象。常に職業神の巫女服を着ている。

・特徴：職業神の巫女という事で、職業神の神殿の中では15人しかいない稀少な高位の存在であり、フィーナの場合は神殿から出た事も無かった。剣士系職業のクラスアップを担当する3人の内1人外の事はガイドブックなどで読み漁り、知識だけなら相当な物。知識はあるが世間知らず。スレイに職業神の教義の本質である人の無限の可能性を拓く、その無限の可能性が開花する片鱗を見て、一目惚れして、希望を見ている。

・性格：僥倖ではあるが結構舌鋒鋭く、また世間知らずであるが故に積極的で行動的。実際僥倖な印象に違わず、教義や、自らの職務についてなど、色々と考えているのだが、一度動き出すとそんな事は感じさせない程に活動的である。

・その他：職業神の巫女。

メアリー：37歳、女、人間。

・容姿：まとめてアップした黒髪に、丸く大きな茶色い瞳、ふくよかだが彫りの深い顔立ちのおばさん。肌の色は白いが焼けている。身長160センチメートル程。体型もまたふくよか。主婦らしい服装をしている。

・特徴：リリアやジュリアから、探索者ギルドに関わりある年下の人物とはかなり関わりを持ち、自分の子のように思っている。

・性格：おばさんらしく豪快で豪気、だけど細やかな気遣いもできる性格。

・その他：探索者ギルド換金所職員。

アリア：31歳、女、人間。

・容姿：ショートカットの金髪に、大きく切れ長の碧眼の、大陸系の彫りの深い顔立ちの大人の美女。身長160センチメートル程、豊かなDカップの胸に、細身の体型で、腰も括れ、脚も長く、スタイル抜群。若々しく大人の色香を感じさせる。服装はフォーマルで出来る大人の女性と言った感じの下はスカート型のスーツのような

形状の物。

・特徴：ケリーの恋人の内の一人。ケリーが複数の恋人を持つ事を当然のように受け入れているが、強い男が恋人を複数持つというのはこの時代の大陸では一般的な価値観。恋人だけあってかなりケリー鼻真。

・性格：出来る女性といった風貌に違わず、きびきびとして、実にきつちりとした行動をする、性格的にもさっぱりとした女性。だが大人としての包容力も持ち、ケリーをその包容力で包み込むように見守っている。

・その他：探索者ギルド銀行職員。

ダンカン：108歳、男、ドワーフ。

・容姿：ごつい顔にごつい髭の強面のドワーフ。無造作に伸びた茶色い髪も髭も固い、小さくつぶらな瞳も茶色。表情は豪快。ずんぐりむっくりと岩のようにごつい体格。鍛冶師らしいだが露出の多い作業着に、額に鍛冶作業中は目を覆うゴーグルを引っ掛けており、ごついグローブに、鍛冶作業用のごつい角ばった大槌を持つ。

・特徴：頑固一徹な鍛冶職人。

・性格：まさにドワーフの鍛冶職人らしく頑固そのもので、自らの仕事に妥協しない。だがこれでも探索者ギルドで働くだけありそれなりに社会慣れしており、ディラク刀の話など、普通のドワーフが聞くだけで激怒するような話を、きちんと話せるだけの理性と世間性は持つ。特に武器を造る事に拘り、それ以外の物を造るのは好まない。

・その他：探索者ギルド専属鍛冶師。

フレイヤ：28歳、女、豹のライカンスロープ。

・容姿：腰ほどまである茶色い髪をカールさせ、切れ長で獣のように奥深い妖艶な茶色い瞳。大陸系の彫りの深い顔立ちで、目の下に泣きぼくろがあり、壮絶な色香を漂わせる大人の美女。肌の色は白い。身長170センチメートル程。胸はDカップ、腰も括れ、起伏豊かな体型をして、脚も長く、スタイル抜群。色っぽく、その色香を強調するようなミスリル絹の服装を常に行っている。靴は風のような意匠をしている蒼いハイヒール。探索時はオリハルコン製の鞭を腰に巻く。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を提げている。

・特徴：未亡人。決して男を寄せ付けずガードが固かった。ライカンスロープらしく月齢に合わせ発情期があるが今までは自分で抑えていた。時折エルシア学園の臨時講師などを行っている。

・性格：柔らかい雰囲気大人の女性で、包容力があり、実際様々な相手を包み込む優しさがあるが、ある一線以上には全く踏み込ませなかった。娘のサリアを溺愛している。言動が常に色香を帯びている。どこか凄みもある。

・その他：元S級相当探索者。宿屋“止まり木”の女主人。“疾風”の二つ名を持つ。

サリア：6歳、女、人間と豹のライカンスロープのハーフ。

・容姿：母親譲りの腰まであるカールした茶髪と、父親譲りの丸く大きな碧眼。大陸系の彫りの深い可愛らしい顔立ちの美少女。常に

子供らしい可愛らしい服装をしている。

・特徴：スレイを兄のように慕う。

・性格：子供らしく無邪気で、天真爛漫で、喜怒哀楽が激しく、すぐに機嫌が変わる。懐いた相手には甘えん坊。元気で甘え上手。

・その他：フレイヤの娘。

キヤル：28歳、女、猫のライカンスロープ。

・容姿：栗毛のショートカットに、そのまま本当の猫目も茶色。常に半獣化状態。といってもも人との違いは耳と目と尻尾ぐらいの物。身長160センチメートル程、胸はCカップで、起伏豊かな体型のなかなか色っぽい女性。ほとんどいつも食事処“来々軒”の制服を着ているが、普段の服装は大人の女性らしい小じやれた物。ただどちらも尻尾を出す穴など、多少の改造をしている。

・特徴：人妻。猫のライカンスロープの本性を隠さない。性格に似合わず仕事は優秀。

・性格：サリアにおばちゃんと言われかけ本気で怒る大人げない性格。実に遠慮が無い。人をからかうのが好き。だが結構頼りになる。奔放で気侷でだけど憎まれない性格。

・その他：食事処“来々軒”の唯一の従業員。食事処“来々軒”の主人の妻。フレイヤの親友。

イフリート：年齢不詳、性別不詳、精霊。

・容姿：炎を纏った獰猛な巨人の姿をしているが、本来容姿は可変。

・特徴：迷宮に置いては人間を成長させる役割の為B級ボスモンスターを演じているが、本来はS級の炎の精霊王、配下の炎の精霊を全て使役すればSSS級、世界樹との同調により+2ランクの強化が可能。

・性格：神々の自らを呪縛したやり様に怒りはしても、人を成長させる為にやられた振りをする役割に対しては寧ろ自ら望んで行い、弱き者に力を与える事にやり甲斐を見出す、誇り高く、強者の自負に満ちた性格。恩義を忘れない。

・その他：S級。配下の炎の精霊を全て使役すればSSS級。炎の精霊王。

ケリー：19歳、男、人間。

・容姿：見た目はそのまま20歳ぐらい。腰まである金髪と、大きく切れ長で鋭い碧眼の、彫りが深い顔立ちの、髭を綺麗に剃った大陸系の彫りの深い顔立ちの美青年。肌は白い。身長185センチメートル程。筋肉質で厚みのある身体つき。普段から青いミスリル絹のシャツを着て黒いズボンを穿いている。探索時はその上にオリハルコン製の胸当をして、軽い白の翼竜の革の靴を履き、両腰に、クロウより授かったヒイロカネ製の鏢にそれぞれ桜の文様と葉の文様が刻まれ、簡素ながらも凝った意匠の柄の、刀身は実に磨き上げられた美しさを持つデリラク刀、“桜花”と“散葉”を差している。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げている。

・特徴：幼少期よりギルド子飼いの探索者。最近刀神クロウの弟子となった。アリアを始めとした複数人の恋人がいる。

・性格：若さに相応にまだ未熟で短気な性格で、また自負心もあり、なかなか自分と同じ年頃や自分より年下で自分より実力者を認める事はできないが、一度認めればちゃんと敬意を見せる。真っ直ぐな気性で、分かり易い。努力家で根性もある。ややシスコン気味。

・その他：S級相当探索者。探索者ギルド特別作業員。刀神クロウの弟子。マリーニアの弟。

マリーニア：20歳、女、人間。

・容姿：見た目はそのまま20歳ぐらい。膝まである長いウエーブした金髪、と大きく切れ長の神秘的な光を宿した碧眼の、大陸系の彫りの深い顔立ちの神秘的な美女。身長は165センチメートル程。胸はDカップで、腰も括れ、脚も長く、スタイル抜群で、どこかオリエンタルな雰囲気、艶やかな白い肌で色香を漂わせる。普段から先端に多角鏡面の飾りがある長い杖を持ち、ミスリル絹の紫染めのローブを纏い、足首までの長いミスリル絹の紫のスカートを穿いている。ローブの下は紫のインナー。軽い赤染めの翼竜の革のハイヒールを履いている。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：幼少期よりギルド子飼いの探索者。生まれつき特別な占師としての力を持ち“星詠”の二つ名を持つ為、ギルドではその力から特別重宝されている。最近白姫サクヤの弟子となった。

・性格：真面目で努力家。幼い頃よりその占術の力で様々な物を見てきた為に実は相当疑り深い。弟に対しては優しい姉。潔癖症で、女性にだらしない男には厳しい所を見せる。

・その他：S級相当探索者。探索者ギルド特別工作員。白姫サクヤの弟子。占師。ケリーの姉。

ホーク：34歳、男、人間。

・容姿：見た目は年齢相応。肩まで無造作に伸ばした茶色い髪に、大きく切れ長で鋭くそれでいながら陽気な茶色い瞳。彫りの深い大陸系の平凡な顔立ちの男。身長180センチメートル程度。肉体は鍛えられてはいるが、特段特徴の無い普通の体型。普段着はこれまた特徴のない一般的な服装をしているが、探索時にはオリハルコン製の全身鎧を身に纏い、オリハルコン製の長大なツーンハンデッドソードを鞘に納め腰に帯びる。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：全員がS級相当探索者のパーティ『鷹の目団』のリーダー。お調子者で実力は普通だが、何か人を率いる魅力を持つ。

・性格：お調子者で、すぐに場をコミカルなノリにするが、人を惹きつける何かを持ち、リーダーシップがあり、決断力・判断力に優れる。また結構容赦の無い性格。やることが大味で大胆。

・その他：S級相当探索者。『鷹の目団』のリーダー。

オグマ：35歳、男、獅子のライカンスロープ。

・容姿：30歳ちようどくらい見た目。獅子の鬣の如き茶色い髪と鬚、大きく切れ長で鋭く獣性を宿す茶色い瞳。大陸系の彫りの深い、獰猛な顔立ちの男。身長は2メートル程。獣のしなやかさを備えながら、実に厚みのある筋肉質な肉体をしている。服装は常に、ダインが細工した獣化しても破れる事無く脱げる茶色いミスリル絹

の衣服に、茶染めの龍革の靴と常に軽装。探索時のみオリハルコンの爪を装備する。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：全員がS級相当探索者のパーティ『鷹の目団』のサブリーダー。SS級相当探索者への昇格も近いと言われる実力者。単純な戦闘力ならそこらのSS級相当探索者にも匹敵する。

・性格：リーダーがお調子者である為、常に冷静に状況を判断し、進言するタイプ。やはり獅子のライカンスロープだけあって凶暴さも内に秘めている。ただ恋愛関係には疎く、想いを寄せた相手の前だとカチンコチンになり、緊張が激しい。昔からフレイヤに想いを寄せているが、全く相手にされていない。

・その他：S級相当探索者。『鷹の目団』のサブリーダー。獅子王の二つ名を持つ。獣化を極めた獅子のライカンスロープ。狂化を極めたバーサーカー。即ち狂獣王。

リリイ：45歳、女、風の小妖精。

・容姿：見た目の年齢は少女の様。蒼い足下までの軽くなびく髪に、丸く大きな明るい空の様な蒼い瞳。彫りの深い顔立ちの妖精らしい美形。半透明の羽が生えている。手の平に乗る程の小ささで、15センチメートル程のサイズ。体型は妖精と呼ぶに相応しくスレンダー。服装は蒼くたなびく薄く透けた衣を纏い、サイズ相応の妖精らしい不思議な木の杖を持ち、どこか煌びやかな靴を履いている。サイズから特注の高価な飛翼の首飾りを首に掛け、これまた特注の高価な魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：全員がS級相当探索者のパーティ『鷹の目団』のムードメーカー。風の小妖精で、非常に幸運値が高くパーティを財宝の元へ

と導く。魔法要員としても貴重。能力値としては低いが、身体の大
きさからは考えられないような怪力。

・性格：ムードメーカーと呼ぶに相応しく、常に明るく前向きで、
何事にも乗り気で、ホークの悪ふざけにもすぐに乗る。悪戯好きで
もある。

・その他：S級相当探索者。『鷹の目団』団員。

ダイン：53歳、男、ドワーフ。

・容姿：ドワーフらしく厳つく毛深い顔立ち。茶色い髪と髭も極め
て硬い。ずんぐりむっくりとした岩のようにごつい体格。普段はこ
く普通のドワーフらしい服装、探索時はオリハルコン製の全身鎧を
纏い、オリハルコン製の大きな盾を背負い、形状はトマホークと言
われるオリハルコン製の戦斧を腰に提げる。飛翼の首飾りを首に掛
け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：全員がS級相当探索者のパーティ『鷹の目団』の縁の下の
力持ち。ドワーフだけあってごついに誰よりも器用な指先を持ち、
様々な宝箱や扉の鍵や罠を解除してきた。パーティの装備の整備も
彼が行っている。

・性格：無口で照れ屋、ドワーフなのに気性は大人しく気が優しい。
常に地味な作業に黙々と従事するのが好む。

・その他：S級相当探索者。『鷹の目団』団員。

レイナ：28歳、女、人間。

・容姿：見た目は25歳程。肩程までの茶色いウェーブした髪に、大きく切れ長な茶色い瞳。彫りの深い顔立ちの美女。身長165センチメートル程。胸はDカップで、腰は括れ、脚も長い、抜群のスタイル。服装は常に黒いミスリル絹のタンクトップと黒いミスリル絹のスパッツと黒染めの龍革のスニーカーを履く。探索時にもオリハルコン製の胸当てを付け、オリハルコン製の長剣を鞘に納め腰に佩き、オリハルコン製のバックラーを持つだけで、実際露出の大胆な色気過剰な装備。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：全員がS級相当探索者のパーティ『鷹の目団』のお色気担当（ホーク談）。同じエルシア学園卒業生のクルトをからかい楽しんでる。

・性格：人をからかうのが、特にクルトをからかうのが好き。だが案外律儀で真面目で冷静な性格。

・その他：S級相当探索者。エルシア学園卒業生。『鷹の目団』団員。

クルト：25歳、男、人間。

・容姿：見た目は年齢のまま。短い金髪に、大きく丸い碧眼、彫りの深いどこか無垢な顔立ちの美青年。弟役と呼ばれるだけありどこか構われやすい雰囲気。身長は170センチメートル程。鍛えられた細い肉体。服装は常に龍革の白い胴着を龍革の黒い帯で締め、龍革の黒い靴を履いている。探索時のみ龍革の黒いセスタスを巻く。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：全員がS級相当探索者のパーティ『鷹の目団』の弟役（ホーク談）。いつもエルシア学園卒業生の先輩であるレイナにからか

われている。

・性格：単純な性格で、からかわれてすぐに反応するので、それが面白くてまたからかわれるという悪循環。素直で真っ直ぐ。純粋で、背伸びしたがっている。

・その他：S級相当探索者。エルシア学園卒業生。『鷹の目団』団員。

キャラ紹介（クロスメリア王国）

アルス・クロスメリア：55歳、男、人間。

・容姿：腰まで伸びた輝く金髪に、大きく切れ長で強い意思を秘めた碧眼の、見た目20代半ばの、大陸系の彫りの深い逞しい顔立ちの美形の男。髭は綺麗に剃っている。肌の色は白い。身長190センチメートル程。筋肉質で逞しい身体つき。常に王の地位に相応しい豪華な装飾の施された、しかし同時に動き易さを重視した衣装を着て、胴当てを身に付け、左手には様々な色合いで輝く多面鏡構造の滑らかな小さな盾を装備し、左腰には、剣身は王の威風を感じさせる豪奢で豪気でもどこまでも絢爛な輝きを放ち柄も神秘的な意匠の拵えのロングソードを、王の権威を示すのに相応しい豪華でありながら神秘的な威厳を持つ意匠の豪華な鞘に納め差している。探索時や戦闘時にはその上にオリハルコン製の全身鎧を身に纏う。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：20歳にして城を出奔し、10年で勇者としての称号を携え帰還し王となる。称号：勇者の中でも圧倒的な力を誇る。3つの究極級の中でも最強クラスのシークレットウェポンを持つ。その剣と盾を用いた戦闘術の技量は超一流で、戦闘スタイルこそ違えど、決して鬼刃ノブツナの刀術にも劣らない。

・性格：王らしい威厳を持ちながら、王になつた経緯に相応しく行動的で、常に先頭に立って戦う。鷹揚で器も広い。自分の力に自信を持つ。娘には手を焼いている。職業：勇者の三人には頭を悩ませている。

・その他：称号：勇者。クロスメリア王国国王。“勇者王”の二つ名を持つ。

カタリナ・クロスメリア：23歳、女、人間。

・容姿：腰まである輝く金髪縦ロールの髪に、目は切れ長で大きめの赤い瞳で覇気を放つ。唇は小さいが艶やかさを感じさせ色気があり、大陸系の彫りが深く豪奢さを感じさせる顔立ちの規格外の美女肌の色は白い。20歳ちようどくらいの年齢に見える、人の上に立つのが当然といった感じのオーラがあり、豪華絢爛さを感じさせる。身長は165センチメートル程。相当に強靱にしなやかに鍛えられてはいるが、見た目には表れず、その肢体は上流階級の女性らしい上品な柔かさを感じさせる。胸はDカップで結構大きめ、腰はかなり括れ、脚は長く、スタイル抜群。常に履く靴はシックレットウエポンの美麗な翼のような意匠の美しい靴。外に出る際はフル装備の上にローブを被り顔も身体も装備も隠す。城内では日常では動き易い西洋風の軽装ドレス、鍛錬時はフル装備、公式の場では豪奢で煌びやかな、けれどあくまでカタリナ自身の美貌と上品さとスタイルの良さを引き立てる西洋風の高級なドレスを着用。探索時、戦闘時、即ちフル装備は、西洋風の軽装ドレスの上にオリハルコン製の胸当てを纏い、巨大な神々しい輝きを放つシックレットウエポンのハルバードを背負い、オリハルコン製のバックラーを持つ。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：18歳で出奔し、5年で勇者としての称号を携えて帰って来た。能力値ならアルス以上だが経験の面でまだ及ばない。現在の戦闘の技量は一流と言ったところで超一流には及ばない。だが近衛隊副隊長ジルドレイをしてアルス以上の才能の塊の化物と称される為将来性には期待が持てる。

・性格：人の上に立つ者らしく人を従えるような性質を持つが、傲慢さは無い。所作は常に上品で、誇り高い性格をしている。時折城を抜け出したりなど、じゃじゃ馬姫といった感じの破天荒な行動をして、称号：勇者になった経緯を思い出させる。この年まで全く男に興味が無かったが、スレイに出会い興味を持った途端、すぐさま一度もしたことがない色仕掛けを試してみせる程、何事にも一発勝負に強い。

・その他：称号：勇者。クロスメリア王国第一王女。クロスメリア王国近衛隊長。 “ 姫勇者 ” の二つ名を持つ。

ジルドレイ・アステッド：53歳、男、人間。

・容姿：外見は40代の油の乗った壮年の男に見える。茶色い髪は短髪でオールバックだけど剛毛気味で髪の毛がはねてる、茶色い無精髭を生やしてて、切れ長で鋭い茶色い瞳。大陸系の彫りの深い顔立ち。肌の色は元は白いのが僅かに日焼けした感じ。身長は190センチメートル程。筋肉が見た目にも分かりやすく付いていて、結構ごつい体格。近衛隊副隊長という立場から殆どいつもフル装備状態だが、私服を着る際には、ラフでゆったりとした、厚い生地 of 男らしい服装を好む。探索時、戦闘時、フル装備は、オリハルコンの全身鎧を纏い、オリハルコンのバックラーを持ち、どこか透明な輝きを放ち涼やかな風の如く煌く柄に風の意匠の施されたシークレットウエポンのロングソードを鞘に納め腰に差している。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：現時点では勇者王アルスに次ぐ2番手の称号：勇者。

・性格：いつもカタリナに振り回されたり、職業：勇者の3人の教育に手を焼いたりと苦勞人。アルスの補佐でも苦勞している。ただ

し相応に好戦的な性格。

・その他：称号：勇者。クロスメリア王国一代大公。クロスメリア王国近衛隊副隊長。“狂風”の二つ名を持つ。

マグナス・スライカン：42歳、男、人間。

・容姿：30代程の見た目、スキンヘッドに細目の黒い瞳の、晃竜帝国系の彫りの深くも浅くも無い顔立ちの、落ち着いた風貌の男。肌の色は黒い。身長180センチメートル程。実に鍛え上げられた肉体をしている。常に白いミスリル絹の衣服を纏い、白い竜革の靴を履き、戦闘時や探索時にはその上にオリハルコン製の胸当てを纏い、白く神々しい煌きを放つシークレットウェポンのセスタスを両手に巻く。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：魔闘術により全身に魔力の装甲を纏う事が出来る。また一般的な格闘技は一通り修めている。

・性格：常に落ち着いた仙人のような性格。人格者。ひたすらに自らを高める事を望む。

・その他：称号：勇者。クロスメリア王国一代大公。クロスメリア王国近衛隊隊員。“闘仙”の二つ名を持つ。

マリア・フレイム：40歳、女、人間。

・容姿：ウェーブした腰まである燃えるような赤い髪に大きく切れ長で釣り目の炎を宿したような挑戦的な赤い瞳の、大陸系の彫りの深い顔立ちの、20代後半に見える美女。肌の色は白い。身長160センチメートル程。胸はDカップ程あり、腰は括れ、脚も長くス

タイルは抜群。常に真紅の竜革のローブを纏い、真紅の竜革の靴を履いているが、ローブの下は実に挑発的で情熱的な真紅の色っぱい露出の高い服装の、情熱的な大人の美女、手には真紅の紅蓮の火焰の如き色合いと形状の杖を持つ。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：由緒正しい炎の魔術師の家系の出身。当然のように炎の精霊王の所在を捜し求めている。

・性格：どこまでも挑発的で自信に満ち、好戦的で、属性の如く燃える炎のような性格の女性。

・その他：称号：勇者。クロスメリア王国一代大公。クロスメリア王国近衛隊隊員。“火炎姫”の二つ名を持つ。

ヤン・ブレイブ：18歳、男、人間。

・容姿：短めの茶髪と大きく丸い目に濃い茶色い瞳で、大陸系だが彫りの浅い平凡な顔立ちには傲慢な表情が常に浮かぶ平凡な容姿の青年。身長は180センチメートル程。肉体的にもごく普通。普段は職業：勇者にして一代大公である事を誇りにし、似合いもしない豪華な貴族服を纏う。戦闘時、探索時は全て職業：勇者専用のシークレットウエポンである、全身鎧を纏い、中型の盾を持ち、両刃の直剣を鞘に納め腰の剣帯に提げる。それら全てが幻想的な蒼い色に淡く輝き、凝った神秘的な意匠を凝らした、幻想的かつ神秘的な雰囲気気を纏う。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：生まれ付いての職業：勇者である為、生まれた時に既に力ードを持ち、狂喜乱舞した両親に彼らなりの英才教育を施された結果歪む。職業：勇者だけが使える封術により、ヴェスタの力によつ

てうまれた強大な世界の歪の力を使える。エリナに癒され惚れる。

・性格：ひたすらに傲慢で自信家だが実力は伴わない。生来の能力を過信し努力せず、自らより強い者は妬む。欲しい物は手に入れないと気がすまない。とことん歪んだ人間性。

・その他：職業：勇者。クロスメリア王国一代大公。クロスメリア王国近衛隊隊員。

エミリー・ブレイザー：18歳、女、人間。

・容姿：軽いウェーブがかかった茶髪が腰まで伸び、大きく切れ長の目に淡い茶色い瞳で、大陸系の彫りの浅い顔立ちのは傲慢な表情が常に浮かぶ一般的なレベルの美少女。身長は160センチメートル程。胸はCカップで、標準的な体型。普段は職業：勇者にして一代大公である事を誇りにし、似合いもしない豪華な高級ドレスを纏う。戦闘時、探索時は全て職業：勇者専用のシックレットウェポンである、全身鎧を纏い、中型の盾を持ち、両刃の直剣を鞘に納め腰の剣帯に提げる。それら全てが幻想的な蒼い色に淡く輝き、凝った神秘的な意匠を凝らした、幻想的かつ神秘的な雰囲気纏う。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：生まれ付いての職業：勇者である為、生まれた時に既にカードを持ち、狂喜乱舞した両親に彼らなりの英才教育を施された結果歪む。職業：勇者だけが使える封術により、ヴェスタの力によってうまれた強大な世界の歪の力を使える。

・性格：ひたすらに傲慢で自信家だが実力は伴わない。生来の能力を過信し努力せず、自らより強い者は妬む。欲しい物は手に入れないと気がすまない。とことん歪んだ人間性だったが、格下と舐めた

相手に敗北を味合わされ少し努力を始める。

・その他：職業：勇者。クロスメリア王国一代大公。クロスメリア王国近衛隊隊員。

ライバン・クロステッド：18歳、男、人間。

・容姿：肩まである色褪せた金髪に、大きく切れ長の碧眼の、大陸系の彫りの深い顔立ちの傲慢な表情が常に浮かぶ青年。身長は180センチメートル程。肉体的にもごく普通。普段は職業：勇者にして一代大公である事を誇りにし、似合いもしない豪華な貴族服を纏う。戦闘時、探索時は全て職業：勇者専用のシックレットウェポンである、全身鎧を纏い、中型の盾を持ち、両刃の直剣を鞘に納め腰の剣帯に提げる。それら全てが幻想的な蒼い色に淡く輝き、凝った神秘的な意匠を凝らした、幻想的かつ神秘的な雰囲気纏う。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：生まれ付いての職業：勇者である為、生まれた時に既にカードを持ち、狂喜乱舞した両親に彼らなりの英才教育を施された結果歪む。職業：勇者だけが使える封術により、ヴェスタの力によって生まれた強大な世界の歪の力を使える。

・性格：ひたすらに傲慢で自信家だが実力は伴わない。生来の能力を過信し努力せず、自らより強い者は妬む。欲しい物は手に入れなないと気がすまない。とことん歪んだ人間性だったが、ケリーというライバルが出来、精神的に成長し始めた。

・その他：職業：勇者。クロスメリア王国一代大公。クロスメリア王国近衛隊隊員。

エリシア：25歳、女、人間。

・容姿：ウエーブした腰までの金髪に、大きく切れ長の碧眼、大陸系の彫りの深い顔立ちの生真面目な表情のお堅い美女。身長160センチメートル程。胸はDカップ、腰は括れ、脚も長く、スタイル抜群。常にその身体を王城のそれなりに豪華な侍女服に包む。

・特徴：どのような状況でも職務に徹する侍女。仕事においてはパーフェクト。

・性格：王城内で働き、重要な仕事を任せられるだけあり勤勉で、とても真面目で、お堅い性格。

・その他：クロスメリア王国王城侍女

ダグ・ザザーニア：20歳、男、人間。

・容姿：カールした肩までの金髪に小さく丸い碧眼、大陸系の彫りの深い顔立ちが貴族のお坊ちゃん的で細長く蒼白い男。身長180センチメートル程で、貧弱な肉体。常に悪い意味で貴族的な服装をしている。探索時には蒼い風の精霊を纏わせた幻想的な衣服を纏い靴を履き、その上にオリハルコン製の胸当をし、オリハルコン製のバックラーを持ち、オリハルコン製のショートソードを鞘に納めて腰に差す。飛翼の首飾りを首に掛け、魔法の袋を腰に提げる。

・特徴：リリアに執着するクロスメリアの由緒正しいザザーニア公爵家の次男。探索者になるもお守に護られながらの探索の為、あまり意味が無い。実家では典型的な賢兄愚弟として、何も期待されていない。その為家柄のみを誇るようになったと思われる。ちなみに父親は腹黒く、兄は清濁併せ呑むがどちらかといえば清廉な存在。

スレイがわざとダグを挑発し、リリアへの想いを煽り、激発させ、探索者の肉体の限界という物を体感させた為、成長の可能性が生まれた。スレイにとっては将来の楽しみの為の、芽吹くかどうか分からない地道な種蒔き。何気にスレイとしては、リリアに色目を向けるのは気に入らないが、あれだけの目に何度も合わされながら、しつこく自分に向かって来る所は気に入っている。

・性格：ひたすら家柄を誇り、自らが優先されて当然と考える典型的な貴族のお坊ちゃん。周囲の取り巻きに頼り切り、常識も持たない。リリアに執着する。

・その他：D級相当探索者。クロスメリア王国・ザザーニア公爵家次男。

ジグ・ザザーニア：25歳、

・容姿：すつきりと纏まった短髪の金髪に大きく丸い碧眼の、大陸系の彫りの深い顔立ちの貴公子といった風貌の美青年。身長185センチメートル程で、鍛えてはいないが引き締まった肉体。常に上品で豪華でありながら嫌味でないセンスの良い貴族服を身に纏う。

・特徴：ザザーニア公爵家の優秀な長男で嫡子。ダグのコンプレックスの源。スレイがダグの可能性を引き出したついでに、その点から、一面だけでもダグに越えられる可能性をジグに示唆した事で、どこまでも歪み無く正しくあったジグの中に黒い感情が生まれ、探索者になる可能性が生まれた。これもまた、スレイにとっては将来の楽しみの為の、芽吹くかどうか分からない地道な種蒔き。

・性格：清濁併せ呑み、誠意を持ち、為政でも優秀な、貴族として優秀なノーブレスオブリージエを地で行く青年。

・その他：クロスメリア王国・ザザーニア公爵家長男・嫡子。

キャラ紹介（シチリア王国）

アイス・コルデリア：42歳、男、人間。

・容姿：年齢相応の外見の壮年の男。短く切られた灰色の髪、細く切れ長の冷気を宿す鋭い碧眼。肌は白く、彫りの深い美形だが常に表情を変えない氷の如き能面。髭は清潔に綺麗に剃られている。身長は190センチメートルと割と長身で細身の身体。服装は王に相応しい最低限の威厳を保ちながらも質実剛健を感じさせる灰色を基調とした上等な衣装を纏う。

・特徴：あまりにも厳格な治世とその知略、そして表情を変えない事から“氷王”と称される。

・性格：決めた事を貫き通す強硬な性格。常に冷静に冷徹に全てを見通し決める決断力と判断力。王としては優秀ながらその在り様に冷血とさえ言われる。だが実は妻とはバカッフルで娘に対しては親馬鹿でもある。意気投合した相手とは表情を変えないながらも、深く語らう。

・その他：シチリア王国国王。“氷王”の二つ名で呼ばれる。

フェンリル・ノースエッジ：29歳、女、人間。

・容姿：20代前半の外見、彫りが深いシャープで鋭い美貌、肩より僅かに長く伸びた灰色のしなやかな髪に細く切れ長で鋭く眼光の強い灰色の瞳の美女。身長は170センチメートルと女性としては長身で胸はDカップと大きめ、腰は括れ、肌の色は抜けるように白

く、シャープでしなやかな練りこまれた狼のような肢体を蒼く冷気すら感じさせる色合いの服装に包む。最小限のサイズのオリハルコン製の胸当てをし、左腰には絶対零度の冷気さえ感じさせる長めのサーベルを、右腰には先端に巨大で美しいカットされた宝石のような透きとおった永久氷の塊が飾られた蒼い杖を差している。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：その実力と北の狼と呼ばれる宮廷騎士団と宮廷魔術師団をどちらも束ねる身から、“魔狼”と称される。乗騎は自らと同じ名を持つ魔狼フェンリル、シチリア王国内にある絶対凍土の氷原に住まう魔狼フェンリルは聖戦で召喚された異世界の神殺しの魔獣の子孫と言われる。

・性格：生真面目で優秀。その強気な性格と優秀さで一気に今の地位まで昇り詰めた。忠誠心は厚く、愛国心も強い。自信家でもある。公の場での気遣いも出来る。優秀な人材に目が無い。

・その他：SS級相当探索者。“魔狼”の二つ名で呼ばれる。

ミレイ：女、18歳、人間。

・容姿：見た目は実年齢通り、腰まであるつややかな金髪に大きく切れ長で釣り目の碧眼。肌の色は白く、彫りの深い顔立ちの上品なお嬢様然とした美少女。身長は160センチメートル程、胸はやはり大きめでDカップ、腰も引き締まり、脚はスラリと細く長く、スタイル抜群。常にお嬢様然とした上品な服装をしている。

・特徴：村でもどこかお洒落でませた少女達の中心。スレイが旅に出る前にスレイと肉体関係を持っていた。現在クリスとアースに弟子入り中。ある程度実力が付いたら迷宮都市に来るつもり。

・性格：意地っ張りです直になれない性格、だけど一度吹っ切れたら行動力は凄い。

・その他：シチリア王国片田舎の村・トレス村の村長の娘。スレイとフィノの幼馴染。

アリシア：14歳、女、人間。

・容姿：見た目は10代後半に見え実年齢より大人びている、足下まであるふわふわとカールした金髪に大きく丸い煌く宝石のような碧眼の、肌の色の白い、彫りの深い顔立ちの、物語のお姫様の様な美少女。身長は155センチメートル程。胸は標準的でCカップ、腰は括れ、手足は長く妖精のように優美。常にフリルの沢山付いたヒラヒラの服装をしている。

・特徴：スレイに幼い頃遊んで貰って兄の様に懐く妹の様な存在。スレイのお嫁さんになるとねだって玩具の指輪を買ってもらった。今も本気でそのつもりでいて左手薬指に填めている。ちなみに今、指輪を填めれるのは、始めから本気で将来の事を見据えて大きめの物を買ってもらったから。迷宮都市に行こうなどと考えてミレイと一緒にクリスとアースに弟子入り中。

・性格：無邪気でとても穏やか、だが一度決めたら最後まで貫き通す頑固さを持つ。

・その他：シチリア王国片田舎の村・トレス村の村娘。スレイの妹の様な存在。自称スレイの婚約者。

クリス：82歳、男、人間。

・容姿：40代半ばの見た目、肩までの無造作に切った金髪に、大きく切れ長で鋭い碧眼の壮年の男。表情は普段は緩んで見えるが、有事には引き締まり歴戦の勇士の貫禄を感じさせる。肉体は筋肉質でがっしりとしている。服装は村に引退してからは普通の村人と同じ服装をしている。

・特徴：幼馴染の女性が初恋相手。少年時代、一旗上げる為アースと共に迷宮都市アルデリアに旅立ち、A級相当探索者となった後シチリア王国へ戻り、夢であった宮廷騎士団員となるが、その時には幼馴染の女性は既に別の男性と結婚していた。若い時分にはそれなりに女遊びをしたし、特に幼馴染の女性に慕情を持ち続けた訳ではないが、幼馴染の女性の訃報を聞き、なんとなく墓前を弔う為に、王室の引き止めを振り切り、退団、トレス村へ隠居する。

・性格：緩んだ表情の割に頑固で、引退しても自らの鍛錬に専念し、まぐれとは言え元探索者である自分に一撃を入れるという“ありえない事”を成し遂げたフィノが現れるまでは弟子を取らなかつた。その後、探索者でも一流でなければありえないようなスレイの生来のスピードを見て、弟子入りの誘いを掛けるも断られる。フィノの死後、めつきり落ち込むが、代わりにスレイが弟子入りし、気合が復活するも、剣の握り方と振り方を教えただけで、あとは勝手にその生来のスピードで自分達に勝つてみせ、あっさり村を出て行ったスレイにやはりめつきり精神的に老け込み、ミレイやアリシアの弟子入りを許す。

・その他：シチリア王国片田舎の村・トレス村に隠居してる元A級相当探索者。シチリア王国・宮廷騎士団・元団員。

アース：83歳、男、人間。

・容姿：40代半ばの見た目、腰までのきつちりと整えた黒髪に、大きく丸く好奇心に満ち溢れた黒瞳の壮年の男。魔術師に見合わず表情はどこか常に陽気さを湛える。だがその雰囲気は優れた魔術師らしい英知を感じさせる。肉体は細身。服装は村に引退してからは普通の村人と同じ服装をしている。

・特徴：幼馴染の女性が初恋相手。少年時代、一旗上げる為クリスと共に迷宮都市アルデリアに旅立ち、A級相当探索者となった後シチリア王国へ戻り、夢であった宮廷魔術師団員となるが、その時には幼馴染の女性は既に別の男性と結婚していた。若い時分にはそれなりに女遊びをしたし、特に幼馴染の女性に慕情を持ち続けた訳ではないが、幼馴染の女性の訃報を聞き、なんとなく墓前を弔う為に王室の引き止めを振り切り、退団、トレス村へ隠居する。

・性格：魔法はアートだという信条を持つ。人に知識を教えるのが好きで、弟子入り希望の者は常に受け入れていたが、小さな村の中では誰も魔法の才を開花させる事が無かった。そんな中自力で魔法の発動まで成し遂げたスレイに弟子入りの誘いを掛けるも断られる。その後弟子入りしてきたフィノが、教えを受けてとはいえ魔法の才を開花させた為、フィノの育成に打ち込む。やはりフィノの死後、めっきり落ち込むが、代わりにスレイが弟子入りし、気合が復活するも、書物の知識だけから既にアースでさえ思いも付かないような常軌を逸した発想の理論を構築しており、魔力を上げる方法を教えるだけで、あとは少ない魔力で使える少ない魔法と生来のスピードのみで自分達に勝ってみせ、あっさり村を出て行ったスレイにめつきり精神的に老け込む。とはいえ、その僅かな期間の実戦的鍛錬や、実戦の中で、自らの魔法に対するアーティスト魂をスレイに埋め込んだ根性は常軌を逸している。やはりミレイやアリシアを弟子入りさせるも、2人があっさりと魔法の才に開花した事に、今までの事

を考え疑問を感じている。実はその疑問は正解で、ミレイはフィノの影響をアリシアはスレイの影響を多分に受け、魔力に対する受容性が高まっていた。

・その他：シチリア王国片田舎の村・トレス村に隠居してる元A級相当探索者。シチリア王国・宮廷魔術師団・元団員

キャラ紹介（ディラク島）

ノブツナ・シュテン：40歳、男、人間。

・容姿：20代半ばに見える外見、肩ほどまでの無造作に伸ばされた黒髪に、三白眼で常に強い戦意を宿した強い黒瞳、青白い肌のディラク風の彫りが浅い鋭い顔立ちの男。幽鬼の如き捉え難い佇まいで隙が無い、身長は190センチメートルと割と長身、ひどく細身に絞り込まれた筋肉質な肉体。常にディラク風の上等な拵えの装束を着て、探索時はその上にヒイロカネ製の朱色の簡易で軽装系の武者鎧を装備する。常に左腰には柄の拵えも豪華で鍔も美麗で、非常に凝った意匠の派手で長大なシークレットウェポンのディラク刀を鞘に納め差している。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：世間では剣士の島であるディラク島でも至高の剣士と言われる。愛刀・降神刀フツノミタマは究極級アルテマのシークレットウェポンだが、剣神フツにノブツナが気に入られた為、勇者で無いノブツナがイレギュラーにも主と成る。降神刀フツノミタマで剣神フツを降神し+3ランクの強化が可能。

・性格：恐妻家で親馬鹿で心配性。短気で感情の動きが激しい。人情にも厚い。剣しか能が無い。

・その他：SS級相当探索者。ディラク島の国主となった。“鬼刃”の二つ名を持つ。

トモエ・シュテン：35歳、女、人間。

・容姿：20代の若さに見える外見、足下まで伸びるストレートのサラサラとした美しい黒髪をポニーテールにし、大きく切れ長で煌く黒瞳の、肌は抜けるように白い、ディラク風の浅い彫りの顔立ちの美女。身長も150センチメートルほどと小柄で胸も標準的だが、その肢体は鍛え上げられた細身でしなやかな物で、腰は括れ、脚も長く、スタイルは良い。常にディラク風の着物を動き易いように改造した、模様も色合いも美しいが戦い易い服装をしている。ミスリル絹製の足袋を履き、ごく普通の草履を履く。普段から背中にヒヒイロカネ製の長大な薙刀を背負う。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：ノブツナを尻に敷いている。どこまでもかかあ天下。城でも家臣からノブツナより恐れられている。

・性格：シズカ以上に厳しく容赦の無い性格。また気性は荒く、好戦的。

・その他：S級相当探索者。ノブツナの妻。“鬼姫”の二つ名を持つ。

ノブヨリ・シュテン：19歳、男、人間。

・容姿：年齢相応の外見に、肩までの整ったストレートの黒髪に、細く切れ長でどこか狡猾な色を宿す黒い瞳、肌の色は青白く、ディラク風の彫りの浅い顔立ちの美青年。身長は180センチメートル程とごく普通、身体は細く、まったく鍛えられていない。常にディラク風の軽いが上等な装束を纏っている。普通の足袋を履き、ごく普通の草履を履く。

・特徴：若くしてデイラクのみならず大陸の兵法書も全て読み尽くしたと言われる天才兵法家として“神童”と呼ばれる。武芸はからつきし。ノブツナの国の政策・戦略を決めていたのは彼。

・性格：穏やかで落ち着いた性格だが、策士らしくどこか性格の悪さがある。だが母や妹相手には太刀打ち出来ない。

・その他：ノブツナの息子。“神童”の二つ名を持つ。

シズカ・シユテン：18歳、女、人間。

・容姿：見た目の年齢は10代後半なのは確かだがそれ以上は分かり難く年齢不詳に見える、黒髪は美しく光を反射し煌き、サラサラとした質感で滑らかに腰まで真っ直ぐと伸びて、目は大きく切れ長でその黒い瞳も煌くように光を反射し美しく、白い肌は白磁の如く、デイラク風の彫りは浅いがなんとも美しい顔立ちの美少女。その身長は150センチメートル程と非常に小柄で、胸はCカップと標準的だが、ほっそりとしたその肉体は芸術品のようで、どこか神秘的な雰囲気により美しさを際立たせている。服装は白と赤の色合いのデイラク風の巫女服を戦いやすくアレンジした戦巫女の装束を常に身に纏い、両腰にはヒイロカネ製のデイラク刀としても凝った意匠の柄と鍔の刀身も美しい小太刀を二刀差し、小さな足にはミスリル絹の足袋を履いた上でごく普通の草履を履いている。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：剣の巫女の為、特性：降神により剣神フツの力を降ろし+3ランクの強化が可能。

・性格：ハッキリとして厳しく容赦の無い性格。常識的な価値観を持ち、スレイを矯正しようとする。厳しく容赦が無いとは言っても

あくまで口で諭すタイプで、常に行動は落ち着いている。

・その他：C級相当探索者。ノブツナの娘。剣の巫女。

九尾の狐・タマモ：年齢不詳、女、九尾の狐。

・容姿：足下すら越えて伸び地に広がるようなどこまでも美麗でしとやかでサラサラとしたしっとりとした落ち着いた輝きの金髪に、どこまでも美しい白い肌、大きく切れ長で柔らかい慈愛に満ちた瑠璃色の瞳の、彫りが深くも浅くも無い絶妙なバランスの顔立ちの、元・傾国の美女で現・傾世の美女。異世界からこの世界に転生した時に、世界のランクの違いの恩恵を受け美貌のランクがアップした。身長は155センチメートル程、胸はFカップと非常に大きく、腰はありえない程に括れ、腰のラインも絶妙なバランスを保ち、手足の長さも形も黄金率を成している。その種族の特徴である九つの尾も髪と同じ美しさの金毛で、絶妙なバランスで後方に広がり、彼女の美しさを際立たせている。着ている服装は、上品な色合いのデリラク風の、とても重厚な着物で、その上品な色合いが尚彼女の美しさを際立たせるアクセントとなっている。傾世の美女の名に互い無く、その美貌に世界の全てが跪く、そもそも他と比較するのが間違いの、美神に匹敵する超絶の美貌の持ち主。彼女が笑ったならば、そのあでやかな美麗さに、自らの分際を弁えた空が翳り、太陽が光を霞ませ、地上に見えてすらいなかった星々すらも輝きを消し、月も太陽の光を反射するのを止め、その他世界の全てが分相応を理解し、タマモを彩るための舞台装置と化し、確かに世界の中心はタマモとなる。が決して特殊な能力の類では無く単純な美貌の美しさが桁違いなだけ。なので害は無い上特殊な力の類でも無い為スレイでも自動無効化が働かず魅了される。魅了されずに自らの意志でその美貌を堪能するには、スレイ自身の意識での任意無効化で無効化する必要がある。ただし無効化したとしてもその世界すら跪かせる美

しさが損なわれる訳では無いので、ある程度見惚れるのは男として仕方無いとスレイは言い訳する。

・特徴：元・傾国の美女、現・傾世の美女。異世界からこの世界に転生した時に、世界のランクの違いの恩恵を受け美貌のランクがアップした。ディラクのとある樹海に生息していると伝説が残るEX級の神獣。神気によって+2ランクの強化が可能。この世界に転生後、身体は全く新しい物となった、また前世の知識はあっても前世の記憶は残っていない、転生後すぐにディラク島の樹海に共に転生したクズ八と共に籠った為、今までクズ八以外の誰とも何とも接触した事は無い。

・性格：どこまでもたおやかであでやかでしとやかで、落ち着いて上品な、ひたすらに慈愛に満ちた女性。惚れた男には一途で純情。

・その他：EX級。神獣。九尾の狐。傾世の美女。

クズ八：年齢不詳、女、霊狐。

・容姿：年齢は10代後半に見える、長い真つ直ぐでしとやかなサラサラとした白髪が足下まで伸び、細く切れ長で鋭い赤眼の、肌の白い、彫りが深くも浅くも無い顔立ちの規格外の美少女。身長は160センチメートル程で、胸はDカップと大きく、腰は括れ、脚も長く、スタイルは良い。その身をディラク風のだけどタマモの好みに沿う様に可愛らしく改造された侍女服に包む。

・特徴：タマモに仕える四尾の善狐。タマモと共に転生してきた。

・性格：しとやかでたおやか、落ち着いた上品な所作に、実に来た性格の少女。タマモに忠実。

・その他：タマモの従者。四尾の善狐。靈狐。

クランド：35歳、男、人間。

・容姿：見た目は年齢相応の壮年の男。黒い髪はサラサラと真つ直ぐに腰まで伸び、大きく切れ長で鋭い黒い瞳には民に対する慈愛が宿るが、“到った”後は透徹した怒りに染まっていた。肌の白い、デイラク風の彫りの浅い顔立ちの美男子で、髭は生えていない。身長は195センチメートルと長身で、ただの人の身でありながら極限まで引き絞られた細身の肉体。身に纏うのはごく普通の素材のデイラク風の戦装束で、その身軽さを活かす為に鎧すら纏わない。脚には普通の素材の足袋と草鞋を履く。腰には唯一豪華な家宝の大業物の、刀身も凄絶な美しさを持ち、柄と鍔も豪華な意匠の、ヒヒイロカネ製のデイラク刀の長大な太刀を鞘に納め佩いていた。

・特徴：デイラク島にあったとある小国の国主だった男。刀術の才ならクロウやノブツナを遥かに超えるとさえ一部で言われながら、その立場故、探索者になる為大陸に渡る事も出来ず、素の人間としてノブツナ率いる国と戦わなければならなかった悲運の天才。それでも尚その小国に留まったのは自らの子の様に愛する民の為、その民に犠牲を出し心に傷を負い血を流しながらもノブツナの国と戦い続けたのは、ノブツナの国がデイラク島の統一を果たすとしても、せめても力を示す事で、愛する自国の民を粗雑に扱わせない為。全てはそこまで考えての行動であった。刀術の才だけでなく、その智においてもノブヨリに匹敵する天才であった。当然神童とまで称されるノブヨリもその思惑に気付き、本来は互いに手打ちにする為の妥協点を探りあつての予定調和の戦いくであった……クライスターが余計な干渉をしなければ。クライスターの手により邪神の使徒とされかけるも、国の民を全てクライスターの手で殺され邪神の尖兵たる

アンデッド兵にされた絶望とその天然の隔絶した才能により、人の無限を超えた可能性の“極限”へと“到った”。その際怒りのままにクライスターに致命傷を与え、スレイとの戦いの最後でクライスターが遅れて絶命した事により“神殺し”ともなる。スレイとの戦いの中で、恋人同士や夫婦同士よりも遥かに深い、完全に一体化するような魂の繋がり交感を果たし、スレイに数多くの物を遣し、己が全てを尽くした死闘の果てに満足したように笑いながら逝く。純粹に“ただの”人の身でありながら、人の無限を超えた可能性の“極限”へと“到った”存在は、無限を超えた超々×無限次元外宇宙の内外と虚無で満ちた果てなる最外層、その内部に存在する無限を超えた全ての世界とその外部に渡って、未来永劫過去永劫クランドただ1人のみ。

・性格：刀術に関しては求道者。しかし民を子の様に愛するまさに理想の国主であった。民の誰からも愛され、民を愛した。自らの恵まれぬ環境にすら絶望する事無く最後まで民の為に戦い通した。不世出の男。

・その他：“ただの”人間。ディラク島亡国国主。天然の天才。人の可能性の“極限”。人の究極形にして完成形。“真の神”殺し。

キャラ紹介（フレスベルド商業都市国家）

カイト・ギルス：40歳、男、人間。

・容姿：見た目は実年齢通り40歳の、彫りの深い顔立ちに、日焼けした白い肌、赤毛は短く切られ、大きく丸く茶色い瞳を純粹に見せながらその奥に隙の無い狡猾さを潜ませ、髭は整え伸ばされ手入れが行き届いた壮年の男。身長は180センチメートルとごく普通、筋肉質ながら平凡な体格、ミスリル絹製の一般市民と変わらない服装で、靴は牛鬼の革製、鍛冶師が鍛えたオリハルコン製のロングソードを左腰に下げ、背中にはダマスカスの木目状の文様の入った弓を背負い、服の上にはアダマントイト製の胸当を装備し、アダマントイト製の大盾を背負っている。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。とてもではないが彼のその地位を見た目から推測するのは不可能。

・特徴：元商人の次男坊、迷宮都市で自らS級相当探索者となり、自らが扱う商品を手し利益を上げ、成りあがった男。商才もあり、今ではもう議会の議長となつて、あまりの辣腕さに、商業都市国家の制度さえ変えてしまつたのでは、と恐れられている。

・性格：快活で陽気な男。娘と一緒に良くダリウスをからかつて楽しんでる。実に行動的で大胆。だがそこには常に計算が潜み、狡猾で、どこまでも欲深く、誰にも悟らせず深謀遠慮をめぐらせている。かなり容赦が無かったりもする。

・その他：S級相当探索者。フレスベルド商業都市国家・議会・現議長。巨大な商会の主。“商王”と呼ばれる。

アリサ・ギルス：18歳、女、人間。

・容姿：見た目は実年齢通り18歳、白いが日焼けした肌に、顔立ちは彫りが深く、赤毛は腰まで届くポニーテールにして、大きく丸い目の茶色い瞳は悪戯気な色を宿すが見目は麗しい。身長は155センチメートルと少し小柄、胸はAカップと貧相で、体型はひどくスレンダー。服装は常に活動的。

・特徴：性格を除けば見目麗しいという事で数々の求婚を受けるが断り続けている。

・性格：性格は遠慮が無くじゃじゃ馬だが、かなり狡猾で金銭にはがめつい。だが父親のように邪悪ではなく見た目通り陽性の物。父親と一緒にダリウスをからかって楽しんでいる。

・その他：カイトの娘。

ダリウス：38歳、男、人間。

・容姿：20代後半に見える、ごく普通の黒髪は短く切られ、ごく普通の目の中で茶色い瞳が唯一強い意思を主張している、日焼けした白い肌の、髭が綺麗に剃られ清潔な印象の、彫りの浅いごく平凡な顔立ちの男で、身長は190センチメートルと結構な長身、筋肉質だがごく普通の体格で、その身体には平凡な容姿に似合わせぬ黄金色に輝く光竜の革を用いた服装を纏い、その上には、鍛冶師に鍛えてもらったのだらう特徴の無い実践的な地金の色合いのオリハルコン製の胸当を装備し、オリハルコン製のバックラーを左手に装備している、形状はごく普通に見えるシークレットウェポンのロングソードを鞘に納め左腰に提げている。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：カイトに個人的に私兵として雇われているSS級相当探索者、“閃光”の二つ名を持つ。大陸の正統派の剣術を大陸の誰よりも極めている強力な剣士。

・性格：ごく一般的な常識人で苦勞人。いつもカイトとアリサの2人に振り回されている。2人の抑え役をしているが抑え切れていないのが現状。おかげで人生に疲れたような雰囲気醸し出す。2人の事は家族の様に思っている。

・その他：SS級相当探索者。カイトの私兵。“閃光”の二つ名を持つ。

キャラ紹介（ヴァレリアント聖王国）

イリユア：19歳、女、人間。

・容姿：ゆるやかにウェーブする足下まで伸びる黄金の髪は眩く、丸く大きな目の中の黄金の瞳は全てを断罪するかのような光りの輝きに満ちている、顔立ちは彫りが深く、肌も眩いばかりに白く、光り輝くような神聖そのものの清冽な美貌の規格外の美少女。身長155センチメートルと小柄ながらも胸はFカップで、腰は強く括れ、メリハリがはつきりとした肢体で女らしさは際立って目立つ。大きめに仕立てられた、光神の最高司祭に相応しい、特別製の、光り輝くような装飾の司祭服を着ている。だが大きめの司祭服の上からでもその大きな胸は突き出てそのメリハリがはつきりした肢体は目立つ。身体は黄金のオーラで覆われているようにさえ見える。

・特徴：ヴァレリアント聖王国の王であり、光神ヴァレリアの神託を受ける事のできる、人間族において最も権威の強いヴァレリア教の最高司祭“聖王”の位を持つ。

・性格：人を従える清冽なオーラに相応しい威厳も持つが、本質的には活動的でどこか悪戯好きな少女。常にお忍びで行動などとして、兄のヴァリアスを悩ませている。

・その他：ヴァレリアント聖王国の王。ヴァレリア教の最高司祭“聖王”。聖剣ヴァリアスの妹。

ヴァリアス：32歳、男、人間。

・容姿：20代後半の若者に見える、肌は白いが日焼けした、短髪ながらも僅かに長めの髪形の金髪に、丸く大きな碧眼の、聖王イリユアの兄だけありどこか似た、彫りの深い顔立ちの美形の優男。イリユアに似た、といってもイリユアの美貌と比べれば足下にも及ばないが、それはイリユアの美貌が規格外なだけなので仕方が無い。身長は180センチメートルぐらいでごく普通、身体は細身だが筋肉質で、闇狼と同じS級ボスマスターである光狼の毛皮を用いた黄金色の服装に、光神の神殿騎士の軽装装備であるオリハルコン製の黄金色の胸当てをし、同じくオリハルコン製の黄金色のバックラーを左手に装備し、左腰には華美で豪華な装飾の、眩いばかりに神々しく煌き輝く、圧倒的な神聖さと眩い光を纏った通常のロングソードと同じ形状のシークレットウェポンの剣を同じく派手な鞘に納め腰の剣帯に提げている。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：妹を守護する為だけに探索者となりSS級相当探索者となつた。聖王の剣という事で、“聖剣”の二つ名を持つ。

・性格：シスコン、ひたすらシスコン、ともかくシスコン、超シスコン。妹に近づく虫には睨みを効かせる。妹の立場に見合わぬ活動的な性格には苦勞している。

・その他：SS級相当探索者。光神の神殿騎士筆頭。聖王イリユアの兄。“聖剣”の二つ名を持つ。

キャラ紹介（中央の国家群）

グラナル：40歳、男、人間。

・容姿：粗野ではあるが野卑ではない、そんな印象を見る者に与える30代中程に見える褐色の肌の壮年の男。無造作に整えた黒いざんばら髪に、細く切れ長な鋭い目つきの黒い瞳に、無精髭が伸びた彫りの深い男臭い顔立ちをしている。身長185センチメートルほどで男らしい筋肉質なごつい体格、全身鎧を身に纏い、左手には大きな盾を装備し、通常ならば馬上にて使用する為の身長よりも長いランスと長大なツーハンドソードを交差させるように背中に背負っている、そしてそれらの装備全てが血生臭い覇気を感じさせながらも、色は鋼の地色のように見えるシークレットウェポンで、それだけの重厚な装備をしながらなんら負担を感じた様子が無い。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：戦争で以て利益を上げる傭兵国家グラスベルを一代で築き上げたSS級相当探索者。故に“傭兵王”の二つ名を持つ。乗騎はグリフォン。

・性格：欲深く、財産と地位と権力という分かり易い物を望み、また好戦的で、何よりも血を好む。野心家で、大陸の天下統一の野望を持つ。

・その他：SS級相当探索者。傭兵国家グラスベル国王。英雄ブリズのライバル。“傭兵王”の二つ名を持つ。

オウル：90歳、男、人間。

・容姿：見た目は40代半ばに見える、肌は白いが日焼けした、どこか老成した雰囲気、壮年の男。五分刈りの茶髪に、細い切れ長の目の中に穏やかな茶色い瞳が覗き、彫りの浅い顔立ちで、髭は完全に剃られ清潔にされている。身長は2メートルほどあり、極めて筋肉質で圧倒的な重量感を備えた肉体が軽装の中から伺える。飛竜の革のデイラク風の武闘着などを着用、手には古風なシークレットウェポンのセスタスを巻きつけている。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：クロウ達が復帰するまでは最も古参のSS級相当探索者だった。それ故にSS級相当探索者の中でも一目置かれる。大陸の格闘術をほぼ極めた為“拳聖”の二つ名を持つ。ただしグランド家の“技”は一門の者にしか伝授されない為、オウルも分家の道場破りをして一部を盗むぐらいしか出来ていない。

・性格：穏やかな人格者、常に人の調和を図り、また己が分を弁え、決して過ぎた欲を持つ事は無い。その穏やかで包み込むような人徳の故、誰からも一目置かれる。

・その他：SS級相当探索者。“拳聖”の二つ名を持つ。

ブレイズ：35歳、男、人間。

・容姿：見た目は20代後半の肩まで伸びた金髪に大きく丸い碧眼に真っ直ぐな強い意志を宿し真っ直ぐに正面を見据えた、白い肌の彫りが深く優しい性格が滲み出たような平凡な顔立ちの、正義感に溢れた若者。平凡な顔立ちでありながらどこか人を惹き付けるようなカリスマ性を感じさせる。身長185センチメートルほどで、筋肉質ではあるがごく平凡な体格で、ごく普通でありながら何故か人

目を惹く服装の上に、鋼鉄製に見えるこれまたごく普通でありながら何故か人目を惹く胸当をし、左腰にはこれまたごく普通に見えながら何故か人目を惹くロングソードを鞘に納めて腰に下げている、これらの装備は全てシークレットウェポン。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：二つ名“英雄”の通り常に英雄的行動をしているSS級相当探索者、中央の国家群同士の内輪揉めがあつた時などに、何度もグラナルの邪魔をしたことから、目の敵にされている。乗騎はペガサス。

・性格：正義感に溢れた真つ直ぐな性格。ただし柔軟性に欠けるきらいがある。人に対しては常に穏やかに接し、何故か何時の間にか人を惹き付けている。英雄的な資質を持つ性格の男。

・その他：SS級相当探索者。グラナルの天敵。“英雄”の二つ名を持つ。

アロウン：40歳、男、人間。

・容姿：見た目は30代前半程の、青白い肌をした、無造作に伸ばされたボサボサの茶髪に、強い好奇心に常に少年のように輝く丸い大きな黒い瞳に、自作の魔導科学製と言われる何やら複雑な構造の眼鏡をかけた、実は視力は問題無い青年。身長180センチメートル程、極めて細身の体格で、あまり戦闘を得意とするようには見えない、その身には赤竜の革を用いた真つ赤なローブを纏い、手には先端に時計のような装飾が施された長大なシークレットウェポンの杖を持っている。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：その智謀と、魔法の威力でSS級相当探索者になった男、知的探究心が非常に強く、“賢者”の二つ名を持つ。迷宮に在る神々の遺物から時間系魔法を使い過去の文明の技術の研究をするのがライフワークで、あまり積極的に戦う事は無いとされる。

・性格：戦いを好まず、知的好奇心に溢れ、迷宮に籠って研究をしているのが好き。自らの命を危険に晒すのは好まない慎重で、保身的な性格。

・その他：SS級相当探索者。“賢者”の二つ名を持つ。

ミネア：34歳、女、人間。

・容姿：見た目20代半ばに見える、深く暗い光を吸い込むような色合いの黒髪が腰まで真っ直ぐに伸び、目は大きく切れ長で黒い瞳もまた光を吸い込むような深く暗い色合いで、肌は蒼白く、深くも浅くもない彫りの規格外の美貌を持った陰性の美女。陽性の規格外の美女のカタリナと対極。身長は170センチと女性にしては長身で、胸はDカップで大きめ、腰は括れ、圧倒的に妖艶な色香が男を誘うように滲み出ている。ミスリル絹のタンクトップにスパッツと肌の露出が大きい軽装で、地竜の革を用いたハイヒールを履いている。禍々しい雰囲気滲み出す赤い刀身の所有者の血を啜る呪われたシークレットウエポンのレイピアを鞘に納め左腰に差している。飛翼の首飾りを首に掛け、腰には魔法の袋を提げる。

・特徴：自らの毒血を使った小剣での刺突を得意とする所から“毒蜂”、またはオリハルコンの操糸術を扱う事から“毒蜘蛛”の2個の二つ名を持つ。その身には今はもう亡きかつて大陸最強の闇と恐れられた巨大暗殺者組織が行った強力な毒を持ったモンスターの大群を用いた蟲毒の法の実験により、他のSS級相当探索者でさえ抵

抗不可能とされる絶対致死性の蟲毒血を宿した唯一の成功例たる元暗殺者で、呪われたシークレットウェポンのレイピアの血を啜るという特性と蟲毒血により、そのレイピアの刺突は掠っただけで相手を刹那に死に至らせる。更にその体内にはミクロ単位の細さとキロ単位の長さを持ったオリハルコン製の糸が特殊な方法で納められ、思念操作によるオリハルコンの操糸術も極めている。暗殺技能を得意とする戦闘者でありながら、小剣術とオリハルコンの操糸術を用いた正面からの戦闘も一流で、更には狂気を飼い慣らしている為“冷静”に“狂う”事が出来、最大限狂化をした状態で理性的に戦う事が可能な程に狂化を扱いこなす事が出来る。勿論探索者の脳のポテンシャル的には他の探索者にも不可能では無いのだが、あくまで“潜在的”に不可能ではない“だけ”であり、ミネアのような環境にでも身を置かなければ得られない能力だろう。単純に、人間を殺すという一点のみなら、SS級相当探索者の中でも別格かもしれない。人と触れ合えぬその身を忌み、自分の毒に耐えられる男を探している。

・性格：自らの育ちを忌んで暗い雰囲気をしてはいるが、オリハルコンの操糸術の創始者にしてミネアの師の教えもあり、はずっぱながら明るい性格。当然その生い立ちから誰よりも深く暗い巨大な狂気を抱えているが、その狂気すら飼い慣らし、当然の如く日常を生きている、ある意味空恐ろしくなる程の精神性の持ち主。己が殺人術の絶対性から、常に自信を持って行動している。

・その他：SS級相当探索者。“毒蜂”“毒蜘蛛”の2個の二つ名を持つ。

キャラ紹介（晃竜帝国）

イリナ・ドラグネス：19歳、女、竜人族。

・容姿：見た目10代後半、腰までの長さの煌くように光を反射する深い漆黒の黒髪に、目は大きく切れ長で意志の強さを示すように深い漆黒の瞳の中から輝きを放つ、彫りは深すぎず浅すぎずの鋭い顔立ちの美少女。身長は160センチメートルぐらいで、肌の色は健康的に白く、筋肉は黒豹のようになやかで強靱で、でも見た目には全く筋肉質には見えず、胸はDカップで割と大きめ、腰は括れ、脚も長くスタイル抜群で、細く柔かい女性らしい肢体。外ではその肢体に晃竜帝国様式の、手首までの長袖かつ足首までのパンツルックが全身にピッタリと張り付き、身体のラインが浮き出て、胸の大きさが目立つ動き易い漆黒の武術着を纏う。城では晃竜帝国様式の皇女が着るのに相応しいドレスを仕方無く纏っている。実は竜化時と同等の凄まじい質量の筋肉を人間サイズに納めてるが、竜気の働きでその質量は殺され体重を計れば同体型の人間の少女と同じで、動きは軽く速い。竜化時は全長150メートル前後の筋肉質なガツシリとした巨体、深い漆黒の煌くように光を反射する鱗のドラゴンでゴツイ体型、翼はかなり大きい。竜化の際は意識することなく自動的に服は異空間に収納されていて、人間形態に戻る時はそのまま着装される。

・特徴：晃竜帝国第一皇女で幼い頃からの暴れっぶりにより“闘竜皇女”と呼ばれる。迷宮都市へと旅路の途上のスレイが人間形態（素手）のイリナと戦って引き分けている。竜化前A級相当、竜化後SS級相当で竜化後は竜気によりさらに+2ランクの強化が可能。咆哮一つで山を吹き飛ばし、ブレスで湖を蒸発させる、強化すれば

咆哮で島を消し飛ばし、ブレスは海を割る。

・性格：自分より強い男にしか興味がない今の所はファザコンかつ母や妹に弱い徹底的なマザコンかつシスコン。とにかく戦うのが好き。強さが判断基準。真つ直ぐな気性で、短絡的なところがある。正義感が強い。

・その他：竜化前A級相当。竜化後SS級相当。晃竜帝国第一皇女“闘竜皇女”。

エリナ・ドラグネス：17歳、女、竜人族。

・容姿：見た目10代後半、自然な白髪は腰まで伸び、大きく丸めの赤い瞳に優しい光を宿す、不自然な程に白い肌の、彫りの深い顔立ちのアルビノの美少女。身長は155センチメートルぐらい、肌の色はアルビノだけあって真つ白、細すぎるようにも感じられる肢体だが、女性らしい柔らかかみは感じられ、胸はCカップで、腰は括れ、脚も長くやはりスタイル抜群。エリナ自身の好みで、数少ない我侷として、大陸中央部の国々で流行している華美な印象のヒラヒラとしたドレスを取り寄せ身に纏っている。竜化はできず、常時人間形態の、竜人族としては特異な生まれだが、それでもやはり他の竜人族と同じ様その小さな肉体にエリナよりは小さめのだいたい全長100メートル前後の竜が持つような質量の筋肉を納めている、そしてやはり竜気でその質量は殺され、体重はその小さな身体に相応しく軽い、一步一步の動きは小さいが、やはり軽くて敏捷な動き。

・特徴：晃竜帝国第二皇女でその能力と性格から“癒しの竜皇女”とよばれる。竜人族としては珍しくその才の全てが治癒能力に特化され、瀕死の間でも1000人以上同時に完全回復可能と言われるほど。竜人族として突然変異かつアルビノ、生まれつき竜化でき

ない。アッシュとは文通だけの恋人同士。心が清く意志が強い人間を好む。

・性格：竜化不可なのをコンプレックスに思っている。普段はとても優しく慈愛に満ちているが、親しい相手に怒る時はかなり怖く頑固。

・その他：晃竜帝国第二皇女。アッシュの恋人。“癒しの竜皇女”。

ドラグゼス・ドラグネス：205歳、男、竜人族。

・容姿：見た目は30代くらい、漆黒の髪はちよつと長めで、首の後ろあたりでまとめて縛って、ちよつとだけ背中に垂れている、漆黒の瞳は大きく切れ長で鋭くそれでいながら包容力も感じさせる、肌の色は白く、顔立ちは彫りは深すぎず浅すぎず、かなり美形な感じの壮年の威厳のあるナイスミドルだが髭は全く無い、というか竜人族なので生えない。身長は185センチメートルくらい、身体は強靱でしなやかな筋肉だが、筋肉質なのが見てとれる、脚は長い。服装は晃竜帝国様式で、豪華な物で、独特の刺繍が高貴さを醸し出している、動き易さも重視して戦闘服としても上等な物。イリナと同じ様に竜化後と同等の凄まじい筋力を人間サイズに納めてるが、竜気でその質量は殺され、体重は人間の同サイズの男性と同程度。ただし娘と違い竜気の扱いにも長ける為、自分の意思で人間形態・サイズのままその質量を解放することも可能。ゆつたりとした動きなのに無駄がなく、そのゆつたりとした落ち着いた動きに惑わされるが実は常にかなり速く動いている。竜化後は全長300メートル前後の筋肉質でガツシリとした巨体、深い漆黒の煌くように光を反射する鱗のドラゴンで、イリナよりゴツイ体型、翼もイリナよりかなり大きい。竜化の際は意識することなく自動的に服は異空間に収納されていて、人間形態に戻る時はそのまま着装される。

・特徴：竜人族の興した帝国・晃竜帝国の皇帝“竜皇”だが竜人族としてはかなり若年の為経験不足の面も。竜化前SS級相当、竜化後SSS級相当で、竜化後は竜気によりさらに+2ランクの強化が可能。その咆哮は島を消し飛ばし、そのブレスは海を割る。強化後の咆哮は大陸を消し飛ばし、そのブレスは海を蒸発させるとすら言われる。

・性格：竜皇の地位に相応しくかなりの深みと器の大きさを持つ性格だが、竜人族としてはまだかなり若いため、若さが先走る事もある。

・その他：竜化前SS級相当。竜化後SSS級相当。“竜皇”。

キャラ紹介（ヘル王国）

サイネリア：215歳、女、闇の種族。

・容姿：足下まで届かんばかりの長いストレートの蒼い髪を伸ばし、丸く大きなそれでいて深淵の如き深さを見せる蒼い瞳を持った、人には有り得ない色合いの、肌の色も酷く白い、彫りの深い顔立ちの規格外の美少女。光輝のオーラを纏った規格外の美少女である聖王イリュアと対極の真の闇のオーラを纏った規格外の美少女。身長は150センチメートル程と低く、その為Dカップの胸が目立つ、トランジスタグラマー、色気を強調した暗い色合いの豪華なドレスを着ている。

・特徴：SSS級相当の力を持つと言われる闇の種族の王、“魔王”。竜皇に匹敵する戦闘能力を持つと言われる。闇の力により+2ランクの強化が可能。概念としての純粹なる“真の闇”を操れる。

・性格：楽しい事が大好きで退屈を嫌いユーモアを好む子供っぽい少女らしい性格と、威厳あるまさに闇の王に相応しい全てを力で従え己が意志に沿わせる王としての性格が、両立している。

・その他：SSS級相当。ヘル王国国王。“魔王”

シャルロット：約5000歳、女、闇の種族。

・容姿：腰まで届く縦ロールの豪華な金髪と、大きく切れ長の重みを感じさせる鮮血の如き深淵の奥深い真紅を宿す赤い瞳の、肌の色が酷く白い、妖艶さと無邪気さを兼ね備えた不思議な雰囲気彫り

の深い顔立ちの凄絶で妖艶な色香を宿す規格外の美女。胸はEカップと非常に豊かで、腰も括れ脚も長く、長身で色っぽいスタイルをゴシック調の黒い派手なドレスに包んでいる。

・特徴：闇の種族が一種族、吸血鬼族の長“吸血姫”。闇の種族として、総合力でSSS級相当に最も近いSS級相当の力を持つ。闇の力により+2ランクの強化が可能。魔導科学の研究者として大陸最高峰の知識を持つ。スレイがグルスを滅した後は、グルスの代わりに就いた宰相の仕事とアルファを育てる育児の二足の草鞋で大変忙しい。

・性格：人をからかうのが好きで、年齢から常に上から物を言い、研究者らしく自由奔放かつずぼらな面も持つが、一度背負い込んだ責任は最後まで果たす責任感の強さの所為で、要らぬ苦労を背負い込み、真面目に過ごさなければならぬ羽目になる事も多々ある。

・その他：SS級相当。吸血鬼族の長。“吸血姫”。

リュカオン：約3000歳、雄、闇の種族。

・容姿：漆黒の毛並みの巨大な狼の姿をしている。その瞳は奥深い知性を感じさせる穏やかな漆黒。その毛並みはしなやかで柔らかいがとても強靱。身体もとてもしなやかでシャープで素早そうな姿。

・特徴：闇の種族が一種族、魔狼族の長にして最長老たる“魔狼王”。SS級相当。闇の力により+2ランクの強化が可能。

・性格：とても落ち着いて思慮深い性格。

・その他：SS級相当。魔狼族の長。魔狼族の最長老。“魔狼王”

ダート：150歳、男、闇の種族。

・容姿：髪は無いが頭に三つの角を持つ、大きく丸くそれでいて鋭い赤い瞳に、青い色の肌の、人とは違うどこか恐ろしい面相の、身長は2メートル強と極めて巨大で、肉体もまた極めて筋肉質で膨張している、本当の意味での大男。服は黄色いS級相当の魔獣の毛皮を纏う。

・特徴：闇の種族が一種族、鬼人族^{オウガ}の長、“鬼王”。鬼人族としても特別な三つの角を頭に生やす。SS級相当。闇の力により+2ランクの強化が可能。

・性格：若さの割には落ち着いた性格。魔王に忠実。生真面目。ただ若さも自らに自信が無い。

・その他：SS級相当。鬼人族^{オウガ}の長。“鬼王”。

グルス：約3000歳、雄、闇の種族。

・容姿：漆黒の毛皮を生やした身長2メートル強の直立歩行の猿のような容姿。瞳も漆黒で狡猾で臆病そうな色を宿す。

・特徴：闇の種族が一種族、魔猿族の長たる“魔猿王”。ヘル王国の宰相を務めるが、闇の種族の保守派の長でもある。SS級相当。闇の力により+2ランクの強化が可能。魔導科学の研究者だが、シャルロットにちつとも及ばず、シャルロットに憎しみを覚えている。シエルノートが期待もせず適当に与えた力により邪神の尖兵と化し、またついでで望んでいたシャルロットの館のセキュリティを外してもらい、館での魔導科学の研究に精を出していた。総合力でEX級

相当の存在になり、邪神の力により+4ランクの強化が可能となるも、スレイにあっさりと滅ぼされた。

・性格：人間からの差別を憎み、人を憎み、また保守派の長らしく人との共闘を良く思っていない。狡猾で慎重で臆病。

・その他：SS級相当。魔猿族の長。“魔猿王”。ヘル王国宰相。闇の種族の保守派の長。

キャラ紹介（異世界の勇者達）

更科 真紀：18歳、女、人間。

・容姿：見た目は10代後半、上品な腰まである黒いストレートの真っ直ぐな長髪に、切れ長で大きな黒い瞳の、彫りは浅めの顔立ちの、見た目は深窓のお嬢様といった清楚な風貌の上品な雰囲気的美女。身長160センチほど、肌の色は白めの肌色で、Dカップと胸はやや大きめ、脚も長く、腰も括れ、全体的にバランスの取れた肢体を持つ。現代日本の名門女子校の生徒で、その学園の上品で落ち着いた色合いで清楚でありながら、可愛らしく色気もある制服を着ている。制服にもアラストリアの最高の付与魔法が掛けられ、手入れ要らずで傷ついても修復し、更には洗濯要らずで常に清潔さを保っている。腰にはデイク刀に似た刀、有体に言って日本刀を差している。幻とも言われる正宗の長物をアラストリアの最高の付与魔法で強化した物。その刀身は人の経験と技術の結晶と言え、刀身の美しさと刃の鋭さは神が創った刀に劣らず、その柄の拵えも雅で鏢の文様も見事な物。ただ物理的限界から強度のみが劣っていたが、それもアラストリアの付与魔法で改善されている。

・特徴：現代日本から異世界アラストリアに召喚され勇者として魔王を倒した女子高生の一人。魔王討伐後、時空龍フルールに対して願う筈だった現代へ帰るといふ願いを放棄し、更なる強者のいる世界を望んだ為、この世界ヴェスタへとやってくる原因となった少女。元々武芸百般を治めた武家のお嬢様。傲岸不遜傍若無人天上天下唯我独尊を地で行く少女。アラストリアで強大な魔力に目覚め、元々一番得意だった剣術と合わせ、魔法剣士として覚醒する。この世界での等級で表すなら総合的にSSS級相当。速度はEX級相当。異

界の勇者の力により更に+2ランクの強化が可能。

・性格：・性格は非常に自分勝手に我侷、好戦的で、非常に積極的、見た目とは全然違う。

・その他：SSS級相当。魔法剣士。現代世界の宇宙の惑星地球の日本人。名門女子高生。異世界アラストリアの勇者。

神代 出雲：18歳、女、人間。

・容姿：見た目は10代半ばに見える、肩までのセミロングの茶髪に、切れ長だが常に眠たげでぼんやりした黒い瞳の、彫りの浅い顔立ちの、肌の色は白めの肌色の、不思議な雰囲気的美少女。身長150センチと小柄、Bカップと胸は小さく、脚は長くて腰も括れてはいるが、全体的にスレンダーな体型。現代日本の名門女子校の生徒で、その学園の上品で落ち着いた色合いで清楚でありながら、可愛らしく色気もある制服を着ている。制服にもアラストリアの最高の付与魔法が掛けられ、手入れ要らずで傷ついても修復し、更には洗濯要らずで常に清潔さを保っている。武器は無い。

・特徴：現代日本から異世界アラストリアに召喚され勇者として魔王を倒した女子高生の一人。魔王討伐後真紀の願いに巻き込まれてこの世界ヴェスタにやってきた。その事にも動じていない考えが読めない少女。元々全国模試でも全国10位以内に居た頭脳派。アラストリアの魔法体系を極めて大魔導師とまで呼ばれる程の魔法使いとなった。何をやらかすか分からない。この世界の等級で表すと総合的にSSS級相当。速度はEX級相当。異界の勇者の力によりさらに+2ランクの強化が可能。

・性格：常にぼけーっとしていて表情から考えが読めない、そして

實際何を考えてるか分からない。大体なんでも受け流す。時々んでもない行動を仕出かし真紀やセリカを慌てさせる。

・その他：SSS級相当。大魔導師。現代世界の宇宙の惑星地球の日本人。名門女子高生。異世界アラストリアの勇者。

セリカ・J・スミス：18歳、女、人間。

・容姿：見た目は20代前半に見える、腰までのウェーブヘアの鮮やかな金髪に、大きく切れ長な碧眼の、彫りの深い顔立ちの、陽性の明るく陽気な美少女。身長160センチほど、肌の色は抜けるように白く、Fカップと胸は非常に大きく、出るところが出て引込む所がひっこんだ、脚も非常に長く、腰も非常に括れた、真紀以上にスタイル抜群の肢体を持つ。現代日本の名門女子校の生徒で、その学園の上品で落ち着いた色合いで清楚でありながら、可愛らしく色気もある制服を着ている。制服にもアラストリアの最高の付与魔法が掛けられ、手入れ要らずで傷ついても修復し、更には洗濯要らずで常に清潔さを保っている。だがそのスタイルが制服に収まりきらず、健康的な白い肌が大きく露出し、必要以上に色気を醸し出している。スカートの中の右の太腿に巻かれたガンホルダーに、巨大すぎるほど巨大な、拳銃に似た魔導銃を差していて、抜き放つときはガンチラになり、周囲の男の目を引き寄せる。

・特徴：現代日本から異世界アラストリアに召喚され勇者として魔王を倒した女子高生の一人、留学生。魔王討伐後真紀の願いに巻き込まれてこの世界ヴェスタにやってきた。真紀の無茶苦茶な行いに怒りを感じている。元々自分の国では射撃場で銃をバンバン撃っていた為、アラストリアでは武器として魔導銃を選び、魔弾の射手として恐れられるマジックガンナーとなる。ハッピー・トリガー。この世界の等級で表すなら総合的にSSS級相当。速度はEX級相当。

異界の勇者の力によりさらに+2ランクの強化が可能。

・性格：性格は見た目通りに明るく陽気、これで真紀の我侷をなんとか許容する器の広さも持つ、見た目と違いかなり純情で、貞操観念が強い。

・その他：SSS級相当。魔導銃使い（マジックガンナー）。現代世界の宇宙の惑星地球のアメリカ人。日本の名門女子高への留学生。異世界アラストリアの勇者。

時空竜フルール：年齢不詳、雄、汎次元竜。

・容姿：姿は可愛らしい白い西洋風の小竜形態。本来の力を取り戻せば大きさはそれこそ自由自在で、その気になれば巨大な雄雄しい西洋竜の姿となれる。メートル単位で留まる事もできれば、惑星級以上のサイズになる事も可能。ただしヴェスタの中ではやはりある程度力を抑制されるので大きさもある程度限定される。

・特徴：時空を好きに渡り歩き、外宇宙に到るまでの無限を超えたあらゆる宇宙を股にかけける竜だったが、たまたま訪れたアラストリアで真紀達と出会い、旅に同行し、魔王討伐後の真紀の願いを叶えた。昔は相当なヤンチャをして、時空連続体や超時空連続体クラスでとてもはた迷惑な行を行、 “時空間の歪曲者” などと呼ばれていた。現在は飽きて更生済み。実質EX+級かつ時空の力で+4ランクの強化が可能で戦闘力のみなら下級邪神に匹敵する、ただし下級邪神は全知全能なのに対し、フルールの力は時空間関係に限定される。ちなみに邪神と同じくヴェスタ内ではこれでも力を抑制されている。だが制御はそれほど上手く無く、アラストリアでは世界を壊す事になる為全力を出せなかったので、真紀達には信じられない。ヴェスタに来て全力を出せるかと思っただが、ヴェスタの強

固な次元の壁を破った時に力を使い果たし、現在結局弱いまま。ただし今の状態でも時空の力を使った様々な術を使って色々な事が出来る。その身を構成するのは時空間の深淵を構成するのと同じ得体の知れない“何か”。クロスメリア王国の王都サザンクロスへの馬車の旅の途中からスレイのペット状態となり、スレイの右肩の上がお気に入り。スレイの睡眠時は抱き枕と化す。様々な世界を訪れる度にその世界のかなり奥深い知識まで習得可能。普通に空気を震わせて喋る。

・性格：面白い事が大好きで好奇心旺盛で明るい性格だが、気配りが出来空気も読め役に立つ進言も出来ると実に良く出来たペット。

・その他：EX+級。汎次元竜。時空竜。“時空間の歪曲者”。スレイのペット。

キャラ紹介(その他)

ティータ：18歳、女、ハイエルフ。

・容姿：見た目は10代後半、足下まで伸びる白金の髪はどこまでもつややかで輝かしく、同じく白金の大きく切れ長で垂れ目気味の瞳は奥深い深淵から全てを塗りつぶす眩い輝きを放つかのよう、圧倒的なまでに白く眩い肌でありながら、不自然さを全く感じず、その美しさを彩るアクセントにしか感じない、彫りの深い顔立ちの、ハイエルフの中でも1人飛び抜けた、極上の超規格外の美少女。身長は155センチメートルとやや小柄で、胸もエルフラしくAカップと慎ましいが、その細くしなやかな手足の優美さは、並の妖精などを越え、妖精の女王とでも呼ぶべき幻想的な雰囲気を出す。身に纏うのはその髪と瞳の色と同じ白金の色合いの、豪華な装飾が施された衣装。靴もまた、白金のハイヒールを履いている。手にはジンが持つものより明らかに長大で、また比較にならない程圧倒的な生命力を満ち溢れさせた世界樹の核とも言える杖を持っている。

・特徴：ハイエルフを遥かに超えた美貌を持つエミリアと同等の超規格外の美貌を持った美少女。グレナルの妹。スレイに興味を持つ。世界樹に選ばれた次期エルフ王。世界樹の力を自在に振るえる。ぶつちやけ兄より強く兄より偉い。兄に対しては扱いがぞんざい。

・性格：かなりお茶目で読めない性格。好奇心が強い。面白い物好き、故にスレイに興味を持った。ハイエルフの中で最も偉いのに他種族に対する偏見が無い。兄に対する扱いはぞんざいの一言に尽きる。とにかく偉くて超規格外の美少女なのにフリーダムな性格。

・その他：次期エルフ王。グレナルの妹。

アルファ：????歳、女、人造の人間と闇の種族のハーフ。

・容姿：ストレートの腰までのサラサラと煌く黒髪に、大きく切れ長で鮮血の如き深淵を感じさせる無邪気な深紅の瞳の、外見年齢5歳程のあどけない少女。服装はシャルロットに合わせ、黒いゴシック調のドレス。

・特徴：『魔造“天才”製造計画』の失敗作。既に初めから成長限界に到達しているので戦闘力に関してはこれ以上の成長の余地は無い。ただしあどけなく無邪気な思考の為、知識や経験の面では成長の余地を残す。総合力でEX級相当の力を持ち、闘気術と魔力操作の併用により+2ランクの強化が可能。スレイを父とシャルロットを母と慕う。実際試験管ベイビーだがスレイの前世であるオメガの遺伝子とシャルロットの遺伝子が使われているのであなたが間違いは無い。スレイがグルスを滅した後はシャルロットと共に魔王城に住んでいる。

・性格：ひたすら無邪気。善悪の区別も良く付かない。現在シャルロットが教育中。ひたすらスレイとシャルロットに懐き、言う事は素直に聞く。

・その他：EX級相当。魔造“天才”の失敗作。試験管ベイビーだが遺伝的にはオメガとシャルロットの娘。

ロード：年齢不詳、雄、不死鳥。

・容姿：真の姿は翼を広げると20メートルはある全てが炎で構成された、美しい鳳の姿。サイズは小鳥くらいから惑星級以上まで自

由自在だが、ヴェスタ内はやはり力が抑制されるのである程度の大
きさに限定される。

・特徴：死と再生の炎を持つ神獣・不死鳥の子として以前の個体か
ら新たに再生したが、戦いの果てに破れての逃避としての再生だっ
た為、本来不死鳥であるうとも燃やし尽くされるとされる炎を宿す
神峰アスール火山の火口にて卵へと還った。だが何故か燃える事無
く生き残り、それにより死と再生の炎から創造と破壊の真炎を持つ
不死鳥の特殊個体へと進化するに到った。EX+級かつ真炎と神気
の併用で+4ランクの強化が可能で戦闘力のみなら下級邪神に匹敵
する、ただし下級邪神は全知全能なのに対し、ロードは創造と破壊
限定、あとは下位属性である死と再生も操れる。ちなみに邪神と同
じくこれでもヴェスタ内では力が抑制されている。スレイに破れ、
スレイを主と認めペットとなり、スレイの左肩の上を定位置と定め
る。スレイの傍では左肩に止まる為にちよつと大きめの鳥くらい、
スレイの睡眠時はちよつと大きめになって掛け布団になる。その身
を構成するのは創造と破壊の属性と下位属性として死と再生の属性
も内包する真炎、そして創造と破壊の属性を宿す真炎を構成するの
は得体の知れない“何か”。ちなみにもはやロードとは関係の無い
話だが、不死鳥は自ら卵に還り転生する為、大体個体数が増える事
も減る事も無いが、時折何か不測の事態で個体が減ると、補う様に
何処かの炎の中から新たな不死鳥が新生する。ロードもただの不死
鳥とは別物に変異したと判断された為、ロードの誕生と同時に補う
ように普通の不死鳥の個体が一羽増えている。

・性格：ひたすらに誇り高い性格をして、威厳のある話し方をする。
本来他の存在など歯牙にもかけない。だが自らを破ったスレイを認
め、忠誠を誓い、ひたすらスレイに忠実。

・その他：EX+級。創造と破壊の炎を持つ不死鳥の特殊個体。ス

レイのペット。

失われし名持ちの邪龍（・真の名：クロウ・クルーワツハ）：年齢不詳、無性、神。

・容姿：不定形の黒い得体の知れない“何か”で構成されているが、確かにその形は龍蛇そのものという不可思議な姿。

・特徴：太古の邪悪な魔術師により神々と戦う為に召喚された異世界の神々の中でも、1柱だけ特別に邪悪な魔術師の全霊を以って、ヴェスタの力を僅かたりとて吸収させ、進化させた特別な1柱。邪悪な魔術師にとって切り札だった存在。“死を司る蛇神”。僅かとはいえかつての超神ヴェスタの遺骸たる世界の力を吸収したその身は、他の異世界の神々やヴェスタの神々とも格が違う、規定不能の力、中級の“真の神”に匹敵する戦闘能力を持つに至り、何柱ものヴェスタの神々を喰らい“死”なせた。元々“死”を司る神として“死”の概念を内包していたが、それもまた規格外に成長し、最低位から最高位まであらゆる種類の“死”の概念を無限を超えて内包する存在と成り果てた。

・性格：ただ目の前の存在に“死”を与える、その為だけの機能たる“神”。

・その他：規定不能。異世界の神。“死を司る蛇神”。

クロウ・シュテン：84歳、男、人間。

・容姿：見た目10代半ば程で、後ろで縛って纏めた腰まである黒髪に、細く切れ長で鋭い黒瞳のデリラク風の彫りが浅いながらも鋭く尖った顔立ちの美少年で、肌は白く、身長は180センチメートル

ルとごく普通で、鋭く引き締まった細い身体つきの上に白い白竜革の着流しを着て、白い白竜革の草履を履いている。両腰には凝った意匠の柄の拵えも美麗な鍔も見事な刀身は美しい神聖な輝きを放つデリラク刀を二本差している。どちらもシークレットウエポンで神刀アマノムラクモと神刀アメノハバキリ。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げている。

・特徴：元SS級相当探索者だが現役復帰したので普通にSS級相当探索者、総合的に限り無くSSS級に近く、酷く戦闘能力に偏りがある為、戦闘の局面が刀術と速さのみに重点を置いた近接戦闘ならば一時的にEX+級相当の実力を発揮できる事もある。人でありながらほぼあらゆる刀術を極めた為、不遜にも神の名を冠する“刀神”の二つ名を冠せられた。16歳でSS級相当探索者となる、SS級相当探索者到達・レコードホルダー最年少記録保持者。スレイに破られるまではSS級相当探索者到達・レコードホルダー最短記録保持者でもあった。

・性格：実年齢相応に落ち着いた性格。だが刀術を教える時はスパルタになるし、強敵との戦いには楽しみを以って臨む。妻にはひたすら弱い。

・その他：SS級相当探索者。SS級相当探索者到達・レコードホルダー最年少記録保持者。ノブツナの父親。“刀神”の二つ名を冠せられる。

サクヤ・シュテン：72歳、女、人間。

・容姿：見た目10代半ば程で、足下まであるストレートの白髪に細く切れ長な赤い瞳をした、デリラク風の彫りの浅い顔立ちの白すぎる程白い肌のアルビノの美少女で、身長は小柄で、胸は悲しい程に平たくAカップ、実にスレンダーな体型。そのスレンダーな肢体にミスリル絹で作られたデリラク風の色彩に染められた着物を纏い、

白い白竜革の草履を履いている。左腰にはオリハルコン製のレイピアを鞘に納め差し、白と黒の二匹の蛇が絡み合った意匠の身長よりも長いシークレットウェポンのカドウケウスの杖を持っている。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げている。

・特徴：元SS級相当探索者だったが、現役復帰したので普通にS級相当探索者。総合的に限り無くSSS級に近く、著しく能力に偏りがある為、戦闘の局面が魔法のみに重点を置いた遠距離戦闘ならば、一時的にEX+級の実力を発揮できることもある。人としてあらゆる魔導を極めたとされる。二つ名“白姫”。

・性格：優しい顔をして、表面上は酷く穏やかに見えるが、実は教育もスパルタかつ怒らせると相当怖い。怒った時にやる事は無茶苦茶。身近に知る者は彼女が怒った時、ただ恐れ慄き震えるのみ。

・その他：SS級相当探索者。ノブツナの母親。“白姫”の二つ名を持つ。

ジン：683歳、男、エルフ。

・容姿：見た目は10代後半、ストレートの金髪を腰まで伸ばし、大きく切れ長で鋭い碧眼で、白い肌の標準的なエルフラしい美形の青年。ただ表情のおどけた感じを裏切って、その瞳の鋭さと、力強い雰囲気はエルフラしさを逸脱している。身長は180センチメートルとごく普通で、肉体はやはり標準的なエルフラしく細く優美で妖精らしい。その身を覆うのは緑に染められた、しかしどこまでも瑞々しく生命力に溢れた世界樹のローブ。背には世界樹の木の枝で作られた、やはり瑞々しく生命力に満ち溢れた長い杖を背負い、同じく世界樹を木材に作られた靴を履いている。首には飛翼の首飾りを掛け、腰には魔法の袋を提げている。

・特徴：エルフ・グラナダ氏族の長老衆の一人にして、元SS級相当探索者。オープンスケベ。得意魔法はヴェスタの生命全ての情報を宿した系統樹の概念を擬似的に具現化し丸太として加工した後現出させ、高速回転させながら片側を素粒子を削るレベルまで杭のように鋭利に削り、更には溝を刻みドリル型とした、超巨大丸太ドリル。ヴェスタの生命全ての情報を宿す故に、ヴェスタの生命全てに対する絶対殺戮権を持ち、微かに触れただけで死ぬ。地面に突き刺さった後、横から枝が生え、包囲網を敷いていくなどという使い方も出来るが、当然その枝に触れても死ぬ。ヴェスタの系統樹の概念を擬似的に具現化し現出させるなどという魔法はディザスターをして感嘆させる程。形状は趣味。丸太とドリルは男の浪漫にして最強の武器と言って憚らない。故にそれらを融合させた超巨大丸太ドリルは漢の究極の浪漫にして究極の兵器と確信している。

・性格：とにかくスケベ、オープンスケベ、孫娘の胸を露出する服を渡したり、孫娘の胸に触ろうとしたりする程にスケベ。丸太とドリルを漢の浪漫で最強の武器と信奉する漢。故に丸太とドリルを融合させ、本人曰く漢の究極の浪漫で究極の兵器を創り出し、スレイを戦慄させる。気に入らない相手は徹底的に嫌う子供じみた性格。だが元SS級相当探索者という、本来何処であつても栄達を望めた立場にありながら、森に戻る事を心から望んだ事。また大事な孫娘を森の為に悪く言えば生贄に差し出すような真似をした事からも分かる様に、ひたすら森を大事に思う男である。

・その他：元SS級相当探索者。エミリアの祖父。エルフ・グラナダ氏族の長老衆の一人。

ライナ：43歳、男、人間。

・容姿：外見は35程だが若々しさのある壮年の男に見え、無造作に伸ばした髪は首程で無造作に切り、手入れしていないためぼさぼさで色褪せた金髪。その碧眼は切れ長で鋭く、瞳は遠くを見通すように、盗賊に身を落としたとは思えない程輝いている。顔立ちの彫りは深く、無精髭を生やし、野卑で狡猾な雰囲気。身長は180センチメートルほどで細身。野生の獣のようなしなやかな細さ。外見からも身軽そうに見え、実際動きは軽い。肌の色は元は白いが日焼けしている。S級のモンスター王虎の毛皮を緑に染め、ごく普通の服とズボンとして纏い、背には身長に近い程長大な、弓幹も弦もダマスカス製の木目状の文様の入った弓を背負っている。魔法の袋に矢は無数に収めてある為、矢筒は持っていない。靴は全体が魔法のゴム製で、森の道や木の上での行動に適している。

・特徴：迷宮都市アルテリアからクロスメリア王国王都ザンクロスまで繋がる街道に出没する盗賊。元S級相当探索者で、雷弓の二つ名を持ち、SS級相当探索者への昇格も近いと言われていた。弓の前方に電磁場の砲身のような空間を作る事で、レールガンの原理で鋼鉄製の矢を飛ばす。既にSS級相当の実力は持ち、光速の数倍の領域へ突入しての超光速の一矢が切り札。稀少なレアアイテムを溜め込んでいるが、必要となれば躊躇い無く使う。実力は超一流で、戦いにおける策もひたすら狡猾なれど、名前が広く知られている為、恐らく裏の業界での平常時の立ち回りが下手で、そういう意味では小物なのだと思われる。

・性格：狡猾で計算高く、それでいながらハイリスクハイリターンを選び、慎重かつ大胆な行動を取る事ができる男。実に準備や手回しに時間を掛け、最後の決定的瞬間を待つ事が出来るが、それだけして失敗しても少しも躊躇い無く、惜しいなどと言う勘定に囚われず、保身の為に逃避に移る事が出来る。だが恐らくは日常での立ち回りは下手だと思われる。

・その他：現SSS級相当。元S級相当探索者。盗賊。“雷弓”の二つ名を持つ。

天狼：約3000歳、両性、天狼族。

・容姿：新雪の様な穢れ一つ無い純白の体毛に、金色の瞳の体長10メートルのシャープでしなやかな狼の姿をしている。

・特徴：単体生殖。SSS級の神獣。神気により+2ランクの強化が可能。子は始めから強大な神気を持ち生まれながら、肉体は脆弱な為、肉体を神気に適合させる為特殊な薬草が必要。その薬草が天魔病の特効薬となる。

・性格：縄張り意識が強く頑固。なかなか相手を認めようとはしないが一度認めたら実に友好的になる。

・その他：SSS級。孤狼の森の主。

グレナル：100歳、男、ハイエルフ。

・容姿：見た目は20代半ば、通常のエルフより遥かに輝きの強いストレートの金髪を足下まで伸ばし、大きく切れ長で釣り目の輝きの強い金の瞳に白い肌をした、通常のエルフより遥かに美しい美青年。身長は180センチメートルとごく普通、細く優美な肉体は通常のエルフより妖精らしい幻想的な雰囲気を持つ。身に纏うのは、緑色の服とズボン、それに木の靴とごく普通のエルフらしい服装だ。腰にはエルフとしては珍しく、柄に白金の豪華な装飾が施されたレイピアを鞘に納め差している。

・特徴：妹のティータが世界樹に選ばれた次期エルフ王の為、ハイエルフの中でもそれなりの立場にあるが、ぶっちゃけ妹のティータ自身からはそんなに扱われている。幼い頃にエミリアに求婚するが、エミリア本人とジンにバツサリと切り捨てられ断られている。ハイエルフとしては標準的なレベルの美形。だが妹のティータやエミリアの美貌と比べると、圧倒的に遥かに劣り、凡庸に霞む。とはいえ、妹のティータがハイエルフとして規格外の美貌、エミリアがエルフとして超規格外の美貌と、その2人が特別過ぎるだけ。

・性格：とにかく執着心が強く、美しい物に目が無い。その為いくら断られてもエミリアに対し迫るのを止めない。またハイエルフとしてはごく普通だがハイエルフ至上主義、高慢な性格で、自らの妹の立場を鼻に掛けかなり自由に振舞っているが、肝心の妹からは粗雑に扱われている。

・その他：ティータの兄。

キャラ紹介（ヴェスタの神々）

ヴァレリア：年齢不詳、女、光神

・容姿：姿を幾つか持つが、真の姿は、世界の全てが輝きを霞ませるような足下を越え、地面に広がるような黄金の輝かしいストレートの髪に、大きく丸くそれでいて切れ長で釣り目がちのこれまた世界の全てが輝きを霞ませるような黄金の瞳の、抜けるように白い肌の、彫りの深い端正な顔立ちの、美神であるミューズに匹敵する美女。対となるだけあり、どこかアライナと似ている。身長は160センチメートルほどで、胸はFカップ程で、やはり腰は括れ、脚は長く、スタイルも抜群である。ただし表情はどこまでも静かでありながら険しい。身に纏う衣装は透けるような全身を覆うヴェール、ただしこれまた世界の全てが輝きを霞ませるような輝きを放ち、まともに見ようとすれば目が焼ける。

・特徴：全能ではないが万能の神。人間族の創造者。光の属性の為に光速の数百倍の速度域まで加速可能。戦闘には特化しておらずあくまで世界の審判者、ただし観察を主とする。神気で+2の強化が可能。

・性格：この世界の2大神の1柱の為、自らにあくまで世界の観察者である事を任じ、自らに正義の審判者たる事を望み、世界に対しては自らの最高司祭である聖王を通しての最低限の干渉しか望まない。

・その他：光神。2大神の1柱。万能の神。人間族の創造者。

アライナ：年齢不詳、女、闇神

・容姿：姿を幾つか持つが、真の姿は、世界の全てが吸い寄せられるような足下を越え、地面に広がるような漆黒のどこまでも深いストレートの髪に、大きく丸くそれでいて切れ長で釣り目がちのこれまた世界の全てが吸い寄せられるような深い漆黒の瞳の、抜けるように白い肌の、彫りの深い端正な顔立ちの、美神であるミューズに匹敵する美女。対となるだけあり、どこかヴァレリアと似ている。身長は160センチメートルほどで、胸はFカップ程で、やはり腰は括れ、脚は長く、スタイルも抜群である。ただし表情はどこまでも強く険しい。身に纏う衣装は透けるような全身を覆うヴェール。ただしこれまた世界の全てが吸い寄せられるような深い漆黒の深淵を覗かせ、まともに見ようとすれば魂が奪われかねない。

・特徴：全能ではないが万能の神。闇の種族の創造者。光と対成す闇の属性の為、光速の数百倍の速度域まで加速可能。戦闘には特化しておらずあくまで世界の審判者、ただし裁きを主とする。かつて特性：天才をその危険性の為一度はその魂に到るまで全て滅ぼした。ただし、ミューズが蘇らせた唯一の特性：天才の残りであるオメガに関しては、僅かに可能性を見出し、その後は見逃した。神気で+2の強化が可能。

・性格：この世界の2大神の1柱の為、自らに世界の守護者たる事を任じ、世界にとって危険と判断した物は自らの手で滅ぼすのを自らに任じている。自らの最高司祭たる魔王が生まれたのは初めての事の為、どう扱うべきか戸惑っている。

・その他：闇神。2大神の1柱。万能の神。闇の種族の創造者。

フツ：年齢不詳、男、剣神・雷神

・容姿：真の姿は、腰まである無造作に伸ばした黒髪、ひたすらに切れ長で三白眼の瞳も黒く、肌は白く、彫りの浅い顔立ちは端正ではあるが、ひたすらに剣士としての在り様を望む為、常に表情は険しく、威圧感のある顔立ち。身長は2メートル以上もあり、身体は鍛えられて絞り込まれ、極限まで細く絞られている。衣服は元の世界である古代日本の民族服を着て、両腰に、ノブツナに与えたフツノミタマのオリジナルにして上位版である布都御魂剣を二刀差している、一刀は経津主神の神剣としての布都御魂剣でもう一刀は建御雷神の神剣としての布都御魂剣である。

・特徴：実際は同一視される事もある経津主神と建御雷神の神格を兼ね備えた習合神。剣神としての呼び名が先行するが雷神の神格も持つ。ひたすら単騎での戦闘に長けた武神。知略にも優れるが、あくまでも単騎での戦いの知略になる。刀剣術に対しての拘りは異常で、ヴェスタという一世界の神という枠を超えたいと思い、人の刀剣術の研鑽にすら目を向けている。ここ百年程は当たり年で、ヴェスタの神という枠を超えられる可能性を感じている。また技と速度に特化している為光速の数百倍の速度域まで加速可能。神気で+2の強化が可能。

・性格：神でありながらその本質は、ただひたすらに戦いを求め、高みを求める剣士。だが決して命を賭けてなどと考える事はなく、退却も戦術の一環として捉え、いずれより高みへ到る為に、逃げる事を躊躇う事は無い。その刀剣術への拘りは異常で、雷神としての神格も刀剣術のバリエーションを増やすための力としてしか見ておらず、故にそれが原因でただ剣神としてのみ見られる事になった。刀剣に関してだけは使うだけでなく創る事にも長け、故にディラク島の鍛冶師に自ら編み出したディラク刀の製作知識を伝授した。封術の維持に力を傾ける今も、人の戦いに目を向け、己が技量を高みに導き、ヴェスタの神の1柱という枠を逸脱しようとしている。

・その他：剣神。雷神。元異世界の神。習合神。刀剣術の求道者。
デリラク刀の創造者。

アレス：年齢不詳、男、戦神

・容姿：燃えるような赤い短髪に、大きく切れ長で鋭い燃えるような赤眼の、彫りの深い顔立ちの絶世の美男子。身長は180センチメートル程で、鍛えられ、それでいて引き締まった肉体を持つ。神気で強化された青銅の鎧を身に纏い、兜を被り、支配の盾アンキレ―を持ち、巨大な両手槍や弓を背負い、直剣を左腰に差している。

・特徴：同一の神であるギリシャ神話のアレスとローマ神話のマルスの両面を併せ持つ習合神。アレスとしての乱暴物で未熟な面は経験により消え去り、マルスとしての優秀な軍神な面が前面に出ている。それでいてアレスの神格もちゃんと保持している。軍神なので光速の数百倍の速度域まで加速可能。神気で+2の強化が可能。

・性格：マルスの面が強く出ている、勇敢な戦士であると同時に、理想的な人格者であり、戦いに際しても知略に長ける。

・その他：戦神。軍神。元異世界の神。習合神。

バルス：年齢不詳、男、闘神

・容姿：実に猛々しい男の姿、頭は禿頭で、瞳は細く切れ長で鋭い黒瞳、肌の色は黒く、身長は2メートル50センチ以上あり、肉体はひどく筋肉で膨れ上がり、力強さの象徴と言える。

・特徴：闘術を司る神。ただしグランド家の者には使役される秘術

を編み出されてしまっている。あらゆる素手の戦闘術に長け、ひたすらに自らの肉体を鍛える。光速の数百倍の速度域まで加速可能。神気で+2の強化が可能。

・性格：ただひたすらに荒々しく戦いを求める性格。

・その他：闘神。

火神アグニ：年齢不詳、男、火神

・容姿：赤色の体に炎の衣を纏い、二面二臂で七枚の舌を持つ。身長は3メートル程。

・特徴：リグ・ヴェーダの時期の重要な扱いを受けていた時代の神格を持つている、火のあらゆる属性の神格。ただし他の神が持つ神格と重なる神格については他の神の神格が強い為、ただの属性として納まる。異世界より元々遺骸のままに召喚された火之迦具土神を素材に炎杖カグツチを創り上げた。神気で+2の強化が可能。

・性格：火の神格そのもの。

・その他：火神。元異世界の神。

スサ：年齢不詳、性別不詳、水神

・容姿：水そのもので不定形、決まった姿を持たない。

・特徴：ヴェスタのあらゆる水を司る水の神格。神気で+2の強化が可能。

・性格：水の神格そのもの。

・その他：水神。

ボレアース：年齢不詳、男、風神

・容姿：ほら貝を持ち突風にうねる外套を纏い、白髪のもじやもじや頭に白い顎鬚を生やした、蒼い瞳の、翼のある老人、足は蛇。

・特徴：風神アネモイ4柱の1柱。冷たい冬の空気を運ぶ北風の化身。神気で+2の強化が可能。

・性格：非常に粗暴な性格。ただしあくまで自然現象の顕現、発露であるという事を忘れてはならない。人間的な視点での性格に囚われるのは愚かな事である。

・その他：風神。北風。

ノトス：年齢不詳、男、風神

・容姿：水がこぼれ落ちるように水瓶を逆さに抱えた、薄着の若い青年、赤髪と赤い瞳。

・特徴：風神アネモイ4柱の1柱。南風の化身。乾燥した暑い風、晩夏と秋の嵐を運んでくる、農作物の破壊者。水瓶についてはエウロスと説が分かれるが、この世界に召喚された時点で神器の神格が両者に分割された。神気で+2の強化が可能。

・性格：粗暴で熱い性格。ただしこれまたあくまで自然現象の顕現、発露であるという事を忘れてはならない。人間的な視点での性格に

囚われるのは愚かな事である。

・その他：風神。南風。

エウロス：年齢不詳、男、風神

・容姿：さかさまになって水をこぼしている壺を象徴とする、手にはなにも持たない白髪に白髭の老人の姿。

・特徴：風神アネモイ4柱の1柱。不吉な東風の化身。暖気と雨を運んでくる神。水をこぼしてる壺についてはノトスと説が分かれるが、この世界に召喚された時点で神器の神格が両者に分割された。神気で+2の強化が可能。

・性格：どこか不吉で暗い性格。ただしこれまたあくまで自然現象の顕現、発露であるという事を忘れてはならない。人間的な視点での性格に囚われるのは愚かな事である。

・その他：風神。東風。

ゼピュロス：年齢不詳、男、風神

・容姿：上半身裸の美青年で、纏うローブ一杯に花を抱えている、耽美な姿。

・特徴：風神アネモイ4柱の1柱。西風の化身。春の訪れを告げる豊穡の風。神気で+2の強化が可能。

・性格：アネモイの中で最も温和、好色、バイセクシャル、美少年好き、多妻の神。ただしこれまたあくまで自然現象の顕現、発露で

あるという事を忘れてはならない。人間的な視点での性格に囚われるのは愚かな事である。

・その他：風神。西風。

ガイア：年齢不詳、女、地神

・容姿：母性の象徴のような容姿をしている。

・特徴：地母神。数多の子を産んでいる。神気で+2の強化が可能。

・性格：大地の神格そのもの。

・その他：地神。地母神。元異世界の神。

イアンナ：年齢不詳、女、癒神

・容姿：真の姿は腰ほどまである茶色い淡い髪に、丸く大きく垂れ目気味の優しい茶色い瞳の、白い肌に彫りの深い顔立ちの美女。女神だけあり美しいが、光神、闇神、美神の三女神には及ばない。身長は150センチメートル程で、癒しの象徴の如く胸はEカップ程、女性的な美しいラインを描く肉体を、淡い、光り輝く衣で包む。

・特徴：こと癒すという面においては、あらゆる束縛を無視した異端の力を発揮する。神気で+2の強化が可能。

・性格：博愛・慈愛の神で、その優しさは相手を区別する事をしない。

・その他：癒神。

オルス：年齢不詳、性別不詳、空間神

・容姿：決まった形を持たない。

・特徴：迷宮システムの考案者。職業神ダンテスが素案を出していた特性：天才を“前期・対邪神殲滅システム”として兵器化した。
“後期・対邪神封印システム”職業：勇者は自ら発案し開発して、空間神としての力を以ってこの世界ヴェスタの強大な力によって生まれながらも操れない歪を操れる素質を与え、封術として職業：勇者の切り札として実用化した。その封術の力を最大限扱いこなせる職業：勇者のシークレットウェポン勇者シリーズもオルスが開発した。空間神だけあり召喚を得意とする為、聖戦時に異世界の神々を召喚したのは全てこの神。その後迷宮に封印し、あのような役割を与えたのもこの神。いつの間にか誕生していた神だが、あまりの邪悪さや、その得意とする術から、聖戦の前に起きた神々を巻き込んだ大きな争いを引き起こした謎の大魔術師が出自ではないかという疑いがあるが、姿すら既に失っている為、その真偽を確認する事すら不可能。神気で+2の強化が可能。

・性格：ひたすら邪悪、自分が楽しむ事を何事にも優先する、邪神という自らなど相手にもならない化物が敵であった聖戦時でさえ趣味を優先していた……結果的にそれが対邪神に役に立っていたのは皮肉だが。

・その他：空間神。迷宮システムの考案者。出自が謎。

クロノス：年齢不詳、男、時間神

・容姿：時の神であるクロノスの神格が強い為、決まった姿を持た

ない。

・特徴：ゼウスの父たる子喰らいの神クロノスと、時の神たるクロノスの習合神。時の神の神格との習合により、あらゆる荒々しさや蟠りや憎しみなどは経年劣化し、悟りを開き、全ての傍観者たる時の神に相応しい神格となった。己のみは全く時に囚われない、速度など関係のない領域に突入できるが、ただしその状態では何にも干渉する事はできない。他の者を時の束縛を越えた速度域に加速させる事もできるが、それは光速の数十倍が限界。ちなみに光と闇の神と戦いの神を除いた通常の神々の自力での速度域がその光速の数十倍である。神気で+2の強化が可能。

・性格：時とはただ全てをあるがままに見守るのみ。

・その他：時間神。異世界の神。習合神。

ダンテス：年齢不詳、性別不詳、職業神

・容姿：本質的には可能性などという不確かなものを司る為、また決まった姿を持たない。

・特徴：正確には職業神というより人の可能性を司り拓く神というのが正しいが、今では呼び易い為職業神が定着した。本来、職業神などという神格は、聖戦時の迷宮システムにおいての役割により与えられた物である。特性：天才の素案の発案者だが、あくまで人の可能性への別方向からのアプローチとしてのアイデアであった為、それを兵器化したオルスには今でも怒りを感じている。神気で+2の強化が可能。

・性格：ひたすら人格者。人の可能性をどこまでも信じ抜いている。

それ故にオルスが創った迷宮システムのオプションである職業システムなどを担わされ、それに頼る人間を憂いている。人の可能性を潰さずに、悠久の時を、人が滅びる事なく、その可能性を極める事ができるように誘導しようとしている辺り、本気でどこまでも人間鼻肩。あるいは兵器にされたのは不本意とはいえ、特性：天才であるスレイ、それに偶然とはいえ生まれた人の究極形にして完成形たるクランド、彼らすらもまたある意味ダンテスの恩恵を受けているのかもしれない。

・その他：職業神。可能性の神。

ミューズ：年齢不詳、女、美神

・容姿：真の姿は、足下を越え地に散らばる程の長さのどこまでも眩く清楚な白金の輝くストレートの髪に、大きく丸く切れ長で柔らかいどこまでも優しい色合いの白銀の瞳の、肌の色は抜けるように白く、世界の全てが跪く圧倒的な超絶的な美女。身長は150センチメートル程、胸はFカップ、身体のラインは女性として理想的な黄金率を成している。着ている衣装もまた美を結集したかのようなどこまでも洗練されたデザインの物だが、彼女の前ではただの引き立て役にしかならない。彼女のあらゆる感情や表情の前では地の全てから天の果てに到るまで、世界の全てがただの舞台装置と化し、彼女のそのあらゆる感情や表情を映えさせるかのように、彼女の感情や表情に応じて、最適な在り方に自らを変えていく。真に美神の名に相応しい、美だけで全てが構成されているかのような女神。但し何故かスレイがその美貌に魅了される事は無い。

・特徴：スレイの前世であるオメガの恋人。オメガの魂がアライナに壊された時にも自らの魂を接着剤代わりに魂を修復して復活させた。オメガの死後も輪廻の輪の奔流の中にあつた時でさえ見てた、

今のスレイの事もずっと見続けてる。ミューズ様が見てる。あまりの女癖の悪さに悲しんでいるが、決して病むような事は無い。美と愛の女神様だから。神気で+2の強化が可能。

・性格：ひどく人間的、特に色恋については一途で純情、惚れた男に永遠に愛を誓い続ける。なのでオメガに始めて惚れて、今のスレイに到るまで、ずっと一途に惚れ続けてるまま。ただしスレイになつてからひどく女癖が悪くなって困惑してる。特に美と愛の女神で、真実の愛を応援する者なので、スレイの相手はライバルであると同時に自らが応援しなければいけない相手という事で、ひどく複雑な心境。

・その他：美神。愛の神。スレイの前世の恋人。

ルディア：年齢不詳、女、森神

・容姿：真の姿は、腰まである瑞々しい生命力に満ちた葉の様な緑の艶やかな髪に、大きく丸い同じく瑞々しい生命力に満ちた葉の様な緑の瞳の、肌の白い、彫りの深い顔立ちの美女。女神だけあり美しいが、光神、闇神、美神の三女神には及ばない。身長160センチメートル程、胸はAカップと乏しいが、妖精のような優美な肢体。世界樹の葉の繊維で創られた織物によるドレスを着ている。

・特徴：エルフ、精霊、妖精の創造者。世界樹を利用した、世界の循環システムの考案者にして構築者。神気で+2の強化が可能。

・性格：ただひたすらに世界の自然の事を思う神。

・その他：森神。

シグマ：年齢不詳、男、鍛冶神

・容姿：平均的なドワーフを五倍くらい巨大にした容姿と考えれば良い。

・特徴：様々な物造りに対する知識を持ち、新たなアイテムの製作技術などもどんどんと発案し、世界中の技術を発展させた。更には迷宮内のレアアイテムは、込める力などに関しては様々な神に協力させたといえども、最終的にはこの神が製作した。神気で+2の強化が可能。

・性格：神でありながら頑固一徹な職人と変わらない。

・その他：鍛冶神。

ギルス：年齢不詳、男、商神

・容姿：様々な人間の姿を取り、真の姿は不明。

・特徴：社会の流通システムなど、現在の社会の構築に一役買っている。同時に裏の社会を生み出したのもコイツ。迷宮への宝の設置や神々へのシークレットウエポン製作依頼とその迷宮への設置を考案。ただしシークレットウエポンについては殆どの物はそれぞれの神がきちんとセーフティを掛けた、もしそれが無ければ何をしてもりだったか分からない。一部の呪われたシークレットウエポンはこいつかオルスの仕事と考えて間違い無い。器用さも中々の物で、特に卑劣な物の製作技術に関してはこの神のアイデアと考えて良い。神気で+2の強化が可能。

・性格：神でありながら悪い意味で人間的、更に色々と化けて人間

社会で色々と遊んでいたりもしたという。現在は封印の維持の為に不可能だが。

・その他：商神。

ドラグノス：年齢不詳、男、竜神

・容姿：体長数万キロ、翼を広げれば数十万キロにも及ぶ巨大さの雄大なる竜の姿とされるが、世界に顕現した回数が極めて少ない為、今の世に見た者はいない。

・特徴：ヴェスタ世界誕生と同時に生まれた最古の神、ヴァレリアのように自らを律するのではなく、本気でただ世界を観察するのみ。積極的に動いたのはこの世界で最初の高等種族である竜人族・龍人族創造時・邪悪な大魔術師との戦争時・聖戦時の3回のみと言われ、封印の維持に力を注ぐ今もほぼまどろみの中にいるような物だという。他の神の予想では、もしかするとまだ幼生体で成体していない可能性が高いという。真の意味での覚醒の時も近いと予見されている。竜人族と龍人族の創造者。今の時点で光速の数百倍の速度域に加速可能。神気で+2の強化が可能。

・性格：戦っていた時でさえ、ただひたすらにまどろんでいた為、現時点では不明。

・その他：竜神。ヴェスタ最古の神。幼生体。

ライガン：年齢不詳、男、獣神

・容姿：真の姿は、あらゆる獣の特徴を備えながら、それでいながら全てが調和が取れているという美しい獣の姿。

・特徴：“億獣の王”たる神、時代に関わり無く滅びた種も含め獣と呼ばれた存在を統べる神格。ライカンスロープとあらゆる動物の創造者。光速の数百倍の速度域に加速可能。神気で+2の強化が可能。

・性格：獣の神らしく、獣の如き荒々しさと、どこか自然の奥深さを感じさせる知性を併せ持つ。

・その他：獣神。

キャラ紹介(邪神「真の神」) 特別枠

邪神即ち“真の神”の肉体を構成するのは、最上級の全知を以つてすら測り知れない得体の知れない“何か”である。超越者でありながら無性の者だけでなくちゃんと性別を持つて居たり、特定の真の姿を持たない者もいれば変化こそできるもののちゃんと真の姿が存在している者も居たりするのも、その“何か”の特性故と思われるが、全ては本神達にとってさえ謎に包まれている。

宇宙を無限を超えて内包した時空連続体や超時空連続体、その時空連続体や超時空連続体や虚無を無限を超えて内包した外宇宙、さらにその外の外宇宙や虚無を無限を超えて内包した超外宇宙……と無限を超えて繰り返した果ての、更に果て無き果ての最果てが、「無限を超えた超々× 無限次多元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層」、である。

ヴェスタが存在する外宇宙には真紀達の故郷の現代世界である宇宙も存在し、そのため現代世界の神話体系の神々がヴェスタに召喚されてる様に、この外宇宙には旧支配者も外なる神々も旧神も存在している。この外宇宙の支配者であるアザトースが存在するのはこの外宇宙の最外層であり、さらなる外から飛来した得体の知れない狂気に満ちたとてつもない存在とされているが、この外宇宙から外に飛び出し「無限を超えた超々× 無限次多元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層」に到るまでの、無限を遙かに超えた階層の中には、得体の知れないとてつもない存在は満ち溢れ、アザトースはその無限を遙かに超えた階層の中の得体の知れない存在と比較すれば下層に棲まうクラス存在なので、この外宇宙より遙かな外から飛来してこの外宇宙に君臨し眠りについてるのは、外宇宙

の遙かな外での闘争に破れ逃避してきて、この安全な外宇宙で安心して君臨し安眠しているのでは無いかと思われる。ちなみにナイアルラトホテップはこの外宇宙に置いては不死不滅すら超越した存在、所謂あらゆる物語におけるジョーカーキャラやギャグキャラと言われる類の存在が邪悪な性質を備えた者で、いかな力に置いても滅する事は不可能で、色々と理不尽な真似をすることすらいくらでも可能とされるが、いずれスレイがそのあらゆる物語の中でギャグキャラと呼ばれるような存在が実在してる場合にそれら全てが不死不滅すら超越している秘密を、意識・無意識に関わらずナイアルラトホテップの場合はこの外宇宙、他の全ての物語におけるギャグキャラと同様の実在の存在もそれぞれが存在しているそのステージの世界そのものと完全に同化しそのステージの世界そのものと、つまりナイアルラトホテップの場合はこの外宇宙そのものと同一にしてその一部でもある舞台装置たる存在と化している事、つまり一種のデウス・エクス・マキナの亜種の突然変異の進化体に自ら化している事が理由と看破し、滅する手段を“閃き”滅する事になる。つまりスレイは本当の意味でのジョーカー殺しにしてギャグキャラ殺しにもいづれなる。またあらゆる物語の中のギャグキャラ以外の理不尽にして不死不滅を超越したキャラと同様の実在する存在の不死不滅の超越の理由も、多少趣は変わっても、殆ど変わらない理由だと看破し、スレイはあらゆる物語に登場するのと同じ実在の理不尽な不死不滅を超越した存在を滅する事が出来る存在となる。

全知全能にも、その力を発揮できる世界の規模、ランク、ステージが存在する、力や知識にもまたそのランクやステージが存在し、いくら全知全能であってもより高いランクやステージの力や知識には干渉できない。

邪神つまり“真の神”は、下級邪神で外宇宙全知全能かつ外宇宙全知全能無効化能力所持。中級邪神で外宇宙「無限を超えた超々

× 無限次多元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層」
の間の下層レベルでの全知全能かつ全知全能無効化能力所持。上級
邪神で中層レベルでの全知全能かつ全知全能無効化能力所持。最上
級邪神は「無限を超えた超々× 無限次多元外宇宙と虚無で満ちた
果てなき果てたる最外層」内外全知全能かつ全知全能無効化能力所
持。

全知全能無効化能力とは、全知全能能力を無効化するのみで
なく、副次的に以下のレベルの全ての知識で生み出し得る全てと、
以下のレベルの全ての力を無効化する事が可能な能力。尤もそれ
は全知全能に含有されているのが本来だが、時折以下のレベル
の知識や力で以って全知全能を打ち破ってみせる、特殊な補正を
受けた特別な存在が居るので、それすらも叩き潰すための力が全
知全能無効化能力。つまり主人公補正などの類の全てを叩き潰す為
の力。故に邪神、即ち“真の神”を打倒するには、その邪神をシン
プルに純粋な力で上回るのが絶対条件。

全知全能の存在は、そのままだとクラスの世界に同化してし
まう為、“真の神”として存在している者は“個”を保つ為の何ら
かの防衛措置を全知全能の能力に施している。ちなみにかつて自
ら望んで、または望まずに世界と同化してしまった“真の神”も何
柱も居る。

ちなみに、まず最低ランクのステージ辺りを比較すると、全次元
全知全能<<<（絶対に越えられない壁）<<<外宇宙全知全能、
である。

下級邪神

エクスター：享年不詳、無性、真の神。

・容姿：容姿は不定、その時の状況に合わせ好きな姿をとっていた。

・特徴：“希望”の邪神、下級邪神、総合的にEX+級、エーテルにより+4ランクの強化が可能だった。かつての聖戦で唯一魂が生き残った、というより恋人ミューズの手により復活した、特性：天才であるオメガに滅ぼされる。

・性格：人に希望を与えた後、絶望を感じさせる間も無く、その希望に浸っている間に、その希望を喰らう事を悦びとしていた。クライスターとはタッグを組む事もあったが、嗜好の違いの為、順番に互いの好みの展開で人を弄んでいた。

・その他：EX+級。“希望”の邪神。下級邪神。

クライスター：享年不詳、無性、真の神。

・容姿：容姿は不定、ただしクランドの前ではデイラク風の、足下までの長い黒髪に黒い瞳の、紫色の長衣に、薄いヴェールを被った、神秘的な占い師風の、妖艶な美女の姿になってみせていた。当然口調は変えず男言葉のままだったがそこがまたクランドの興味を引いた。

・特徴：EX+級でエーテルにより+4ランクの強化が可能。封印から解放後、クランドの前に妖艶な美女として現れ、様々な献策をし、ノブツナ軍との戦いを局地的に優勢に運んで見せて信頼を得て、また様々に語り合い、クランドの心を解きほぐし、クランドの情婦となった。全ては自らの計画の為で、本来はクランドの国をノブツナの国に勝たせ、クランドにデイラク島を統一させた後、夢が叶い希望が満たされたその後で、デイラク島の全てを滅茶苦茶にしてク

ランドの絶望を味わう計画だった。だが、身体を交え、深く語らう中で、それとなくデイラク島統一への野心を煽ってみるも、ランドはノブツナの国と自らの国の規模の違いを冷静に把握し、局地的な勝利では決して覆せる物では無いと（クライスターは自らの力で強引にそれをするつもりだったが）、賢明な名君としての判断を下し、ただ抵抗してみせているのは、ある程度力を示し、ランドの国に取り込まれる時にも、粗雑に扱われないようにする為、全ては愛する自らの子の様な民の為だとランドが語り、ノブヨリとも、語りはしていないが、戦の中で、互いの思惑を読み合い合意に至っていると確信していると語った為、仕方なく計画を路線変更して、身体を交えながら徐々に注ぎ込んでいた自らの邪神の力をその時一気に注ぎ込みランドを邪神の使徒化、同時にランドの国の民を刹那に全死させ、邪神の尖兵としてアンデッド兵化し、その絶望を楽しみ、その後ランド達にデイラク島を滅茶苦茶にさせようとするも、邪神の使徒と化した筈が、自らの愛する子の如き民を全て殺された絶望で以って、人の無限を超えた可能性の“極限”に“到って”みせたランドが、自らの注ぎ込んだ邪神の力を全て排除し、さらに一刀で以って自らに致命傷を与えた為、その場から逃げ去るも“真の神”ですら助かる傷では無く、その最後に見せられた可能性と力にクライスターはランドに本気で恋情を抱き、スレイとランドの死闘の最中に、最後に祝福と応援の言葉を送り、散る。

・性格：人に一度希望を与えてから絶望に陥れる事に悦びを感じる性格。死の間際にランドに抱いた恋情が初めてのまともな感情。

・その他：EX+級。“絶望”の邪神。下級邪神。

・デイズター：年齢不詳、雄、真の神。

・容姿：真の姿を持つ邪神で、それが今の蒼くどこまでも美しいつ

ややかでなめらかな毛並みと、どこまでも深く深淵の奥深くを宿すような、それでいて宇宙創成の爆発の眩い輝きを宿すような蒼い美しい聡明な瞳をした、通常のサイズの峻烈なる狼の姿。“真の神”である為、姿もサイズも自由自在に変化できるが、真の姿がお気に入りのので、過去一度も姿やサイズを変えた事は無い。

・特徴：“欲望”の邪神、下級邪神、EX+級、純エーテルにより+4ランクの強化が可能。その毛並みは戦闘時にはあまりにも強靱で絶対的な硬さを誇りもし、また逆に日常では柔らかくしなやかで指通り良く撫でると気持ちよい感触だったりもする、要は自由自在力は外宇宙全知全能相当。ただし全知全能に吞まれる事なく自らを分離し個を保っている。宇宙を無限を超えて内包した時空連続体や超時空連続体を無数に創造したり破壊したり再生したりも自由自在ただしヴェスタ内ではやはり力を抑制される。オメガの欲望に惹かれ邪神達を裏切りオメガの下僕となる。スレイの欲望はオメガより強い為もっとお気に入り。スレイの膝の上に乗るか、スレイの足下に待るか、スレイの睡眠時にはスレイの枕になるのが何時もの生活と、現在はスレイのペット生活を満喫中。念話で会話する。

・性格：本来は誇り高い孤高の邪神だった筈なのだが、すっかりオメガやスレイのペットとして忠誠心が育ち、実に感情表現豊かで、心配りが出来空気も読め役に立つ進言も出来ると実に良く出来たペットとなっている。

・その他：EX+級。“欲望”の邪神。下級邪神。スレイのペット。

中級邪神

トリニティ：3柱共年齢不詳、3柱共女、真の神。

・容姿：1柱1柱は、大きさは大体体長180センチメートル程、それぞれ全く同じのつぺらぼうに身体も殆ど凹凸の無いなめらかな女性型の真っ白い彫刻のような形に、顔の真ん中に巨大な単眼があるという異形。三位一体モードの時は基本その姿のまま、三面六臂の更なる異形となる。

・特徴：“三位一体”の邪神、中級邪神、三柱にして一柱が真の姿。ランクは規定不能。エーテルにより+4ランクの強化が可能。1柱1柱は中級邪神としては最下級、3柱で1体となると中級邪神として最上級になる。1柱1柱は、当然外宇宙より外の下層クラスの全知全能ではあるのだが、何故かややそれぞれ過去・現在・未来に能力が偏りが在る。全知全能でありながら力に偏りがあるのは珍しい。偏りがあると言っても基本能力は落ちていなく、それぞれに関して更に特化してる感じ。それぞれが持つ単眼がその能力の種である。三位一体となる事で、過去・現在・未来の全てに特化した干渉力を発揮できるようになる為、その能力の融合はひたすら相性が良い。

・性格：性格はひたすら非人間的。だが自らを封じた職業：勇者に対しては人間的な恨みを抱いている。一度持った恨みに関しては執念深く粘着的。

・その他：規定不能。“三位一体”の邪神。中級邪神。

上級邪神

ロドリゲーニ（フィノ）：肉体年齢は融合前18歳融合後18歳でもあり年齢不詳にもなるが精神年齢はずっと不詳のまま、女（前世は無性）、真の神（肉体は融合前人間、融合後は人間と邪神が融合した新たな“何か”となる）。

・容姿：真の姿の見た目は10代後半、明るい茶色い髪をポニーテールにし、大きく切れ長の明るい茶色い瞳をしている、肌は白い、可愛らしさと凛々しさを同居させたような彫りの深い顔立ちの美少女。身長160センチメートル程、胸はDカップと大きめで腰も引き締まり脚も長いスタイル抜群な肢体をしている。常に活動的な服装をしている。決して他の姿に変化する事は無い。

・特徴：人に転生する事により封印を免れた“享楽”の邪神。上級邪神。魂を宿した主人公の幼馴染フィノの死亡によって覚醒、特に何の感慨も持っていなかった人間としてのフィノの両親を殺し、後の楽しみの中の仕掛けとして主人公の恐怖心を喰らう。本来は無性かつ姿は不定だったが、人に転生する事により女の性と真の姿を得るに到った。ちなみにこれは本来の邪神の肉体と融合後も変わっていない。人の肉体では素の能力は総合的にEX級に抑えられていたが変わりに幾つかの特殊な力を入れた、邪神の肉体と融合後は規定不能で上級邪神クラスに戻り、尚且つ手に入れた特殊な力はそのまま、結果転生前より強化されている。融合前も融合後もエーテルにより+4ランクの強化が可能。

・性格：人の感情を弄び喰らう事を楽しみ、人は家畜の様に思っている、世界を滅ぼす事に興味は無い、そもそも人間は滅ぼせてもこの世界そのものは特別な世界なので滅ぼせない。だがスレイやミレイの事は今でも特別に思い執着している。人間性と非人間性のアンバランスに融合した性格。

・その他：融合前EX級、融合後規定不能。“享楽”の邪神。上級邪神。スレイの幼馴染。

シエルノート：年齢不詳、男、真の神。

・容姿：灰色の整えられた長い髪に、灰色の整えられた髭を生やした、大きく切れ長で鋭いどこまでも深い叡智を宿した深淵の如き深みのある混沌の如き名伏し難き色合いの瞳の、渋いナイスミドルな壮年の男の姿。身長180センチメートル程、体型はスマートで服装も紳士的なスーツ姿。どこまでも荘厳で威厳のある印象を与えるオーラを放つ。智を司るが故に当然の事で、勿論真の姿。人をしてこれが真の智の神と言うものでは無いかと感じさせる知性の圧倒的な深みがある。実際智を司る“真の神”なので当然。ただし邪神でもある為、邪悪なオーラも当然有る。

・特徴：“智啓”の邪神、上級邪神、ランクは規定不能。エーテルにより+4ランクの強化が可能。様々な手段で封印を解くアプローチや現世にちょっかいを出している。

・性格：智啓の邪神であるが故、説明好きで、知性ある存在に対して智を啓く事を使命とすら考える。更なる知識を求める好奇心が強過ぎるが為に邪悪な行動にも走る。実は新たな智の探求さえ関わらなければ、人と分かり合えない事も無いまともな人格も持ち合わせている。“始まりの迷宮”で探索者達を皆殺しにしたのは、彼らが最初から襲い掛かって来たから、相手が何であれ知性あるものなら対話から始めるという意識を持たない、即ち智を授ける価値も無い存在には、ただの塵程の価値も見出せない為、この世から悉く価値の無いモノを駆逐したという認識。智を啓く事を望むが故に、知性を持ってさえいれば低位の存在でも対等に話す機会を持ってみせるが、その知性を欠片も活かさそうとしない存在にはどこまでも冷酷。

・その他：規定不能。“智啓”の邪神。上級邪神。

ジャガーノート：年齢不詳、女、真の神。

・容姿：見た目10代後半の、足下まである軽くウエーブした神々しく輝かしい金髪の、同じく神々しく輝かしい金色のだが深遠の如き深さを備えた瞳の、活発な雰囲気を超規格外の美少女。身長160センチメートル程で、胸はFカップと大きく、腰も括れ、腰のラインも妖艶で、脚も長く、その肢体は快活な雰囲気に見合わぬ色香を漂わせる。常にやたらと派手なメイド服を着ている。当然真の姿で、男の神であつた超神ヴェスタを信奉し執着していた事から一度もその姿を真の姿以外のものに変えた事は無い。

・特徴：“求道”の邪神、上級邪神。かつての最強の“真の神”超神ヴェスタを信奉していた為、唯一残つたヴェスタの寵児たるスレイに執着し、かつてのヴェスタすらを越える者となり、自らの主人となつてくれることを望んでいる。ランクは規定不能。エーテルにより+4ランクの強化が可能。

・性格：ひたすらに強者との戦いを求める性質と、自分より圧倒的な強者に仕えたいという欲求の2つを持つ。あらゆる全てを超越した超神ヴェスタに執着していた為、イグナートでは不足と断じている。超神の遺児ともいえる“天才”、その唯一の生き残りであるスレイに執着し、彼に圧倒的な強者になり自らを従えて欲しいという従属願望がある。

・その他：規定不能。“求道”の邪神。上級邪神。

最上級邪神

イグナート：年齢不詳、男、真の神。

・容姿：見た目20代半ば程、落ち着きどこか静けさを宿した雰囲気

気の、禿頭に、大きく切れ長で鋭い瞳の、青い肌の、壮年だがまだ若い男の姿。身長2メートル程。体型は酷く筋肉質なごつい体型。服装は粗末な布の服。当然真の姿。全てを沈黙させ平伏させる圧倒的な、しかし威圧するような激しいものでは無くどこまでも静謐なオーラを持ち、その身があるだけで世界の全てがあらゆる意味で静寂に包まれる。

・特徴：かつて超神ヴェスタを目指し努力して最上級の“真の神”の高みに昇った男の“真の神”。超神亡き今、ただ静かに瞑想し、己が敵たる者の出現を待ち続けている。“憤怒”の邪神、最上級邪神、最強の邪神、無数の超高位多次元世界を一瞬で塵にした、と言われているが実際は無数の超々×無限次多元外宇宙を刹那に塵にしたこともあるほど。規定不能。エーテルにより+5ランクの強化が可能。

・性格：ただ強者との戦いを望み、他に何も余計な望みは持たず、故に下らぬ邪悪な活動なども行わない。その圧倒的過ぎる力を除けば、ある意味ヴェスタの神々よりも余程無害な存在。ただ、決して人格者な訳では無く、強敵以外に興味が皆無なだけ。というよりその性質は人格などと呼べる類のモノでは無い。きちんと意思疎通は可能だが、実質その意志の中身は澄み渡り、透徹し、決して揺らぐ事は無い。人たるに似た思考に似た何かを持つ、ただただあらゆる意味で巨大で強固に過ぎる存在。ただ今は、ヴェスタの力により作られた歪の封印の中に自らの意思で籠り、己が戦うに値する敵の出現を待ち、悠久の刻を瞑想し続けている。

・その他：規定不能。“憤怒”の邪神。最上級邪神。

マジックアイテム

〈薬〉

・回復薬：回復魔法の効果が込められた飲み薬、込められた回復魔法のレベルで回復効果が違う。最上級の回復魔法が込められた回復薬ともなると、死んでさえいなければ、致命傷も瞬時に回復し、千切れた腕が生えたり、身体に空いた穴が塞がったり、とほぼ何でもアリ。ただし当然込められた魔法のレベルにより値段は跳ね上がり、最上級ともなれば超高価。

・魔力回復薬：魔力の込められた飲み薬、込められた魔力の量で魔力の回復量が違う。最上級の魔力回復薬ともなれば、使用者が本来使えないレベルの魔法を使える魔力を一時的に与える事すら可能。当然込められた魔力量により値段は跳ね上がり、最上級ともなれば超高価。

・加速薬：時間系魔法の効果が込められた飲み薬、込められた時間系魔法のレベルで速度が決まる。最上級の物ともなれば時系列を超越し世界から隔離され超光速の領域へと到る事も可能で、最上級の物の中でもレベル差があり、高位の物なら光速の数十倍になる。ただし下級の物でも超高価、最上級ともなれば他の薬とは桁が違う値段、最上級の中でも高位の物ともなれば、そもそも購入での調達は不可能で、時間神が迷宮に遺したレアアイテムを手に入れるしかない。ちなみにこれだけ見ると神々の中で時間神が最強のようにも思えるが、人の時間に対し干渉できるのが時間神のみなだけで、戦闘速度特化の神々は同等の速度域へと到達可能で、速度では無い所で戦闘力の差が決まる為、戦神や闘神や竜神や獣神や剣神などの戦闘

速度特化の神々の方が戦いでは強い。

・アイテム加速薬：時間系魔法の効果が込められた、アイテムに掛けて使う液体の薬。下級の物でも時系列を超越し世界から隔離され超光速のレベルでアイテムが発動できるようになる。込められた時間系魔法のレベルにより光速の数倍になるか数十倍になるか決まる人とは違いアイテムの場合、待機させての使用などの用途もある為それなりの持続時間がある。下級のもでも超高価、上級の物はやはり時間神が迷宮に遺したレアアイテムを手に入れるしかない。

〈道具〉

・魔法の袋：空間系魔法で作られた袋、迷宮探索者の必需品。入れる物の量や大きさを無視でき、重量も感じない。出したい物を念じるだけで自動的に選別してタイムラグ無しに意図した物を取り出す事ができる。また複数のものを選択し同時に取り出す事もでき、更に一気に取り出せる量にも限界は無い。どのようなサイズの武器も隠し持て、巨大な武器でさえ暗器として使えるなど、様々な用途があるアイテム。便利な為迷宮都市外の探索者も元探索者もだいたい腰に提げている。探索者ギルドの援助により500コメルと安価。

・遠隔操作の自動弓：使用者の任意のタイミングで、遠隔から発動できる魔法の自動弓。ただし発動させる為には、使用直前に意識を集中して同調させるといふ、一段階準備が必要な所が短所。

〈装飾品〉

・飛翼の首飾り：迷宮内から入り口へ一瞬で脱出できる首飾り、迷宮探索者の必需品。迷宮内に次入る時には前回の探索でマークを付けた場所に一気に転移できるが、迷宮内に関しては神のシステム

の制約で一箇所のみしかマーカーを保持しておかず、迷宮内の二箇所以上に転移可能にしておきたい場合、その数だけの飛翼の首飾りが必要になる。また世界中の何処からでも、世界中の何処であつてもマーカーを付けた場所に転移できる。迷宮外に関してはマーカーの数に制約は無い。ギルドから承認を受けギルド本部にある転移の間に登録すれば、迷宮内のどこからでも入り口に転移できるように、世界中の何処からでも転移の間に転移できるようになる、意味が無いように思われるが、ギルドの規則上、迷宮都市での転移には制約がある為、転移の間の使用の許可を受けておくのは有用である。実は様々な応用方法があるアイテム。便利な為迷宮都市外の探索者も元探索者も大抵首に掛けている。探索者ギルドの援助により500コメルと安価。

・重量軽減のアミュレット：力と速度が伴わない未熟な重装備の戦士が、装備品の重さを軽減する為に装備する事が多いアミュレット。ただし熟練後も装備した状態に慣れ、装備し続ける事が多い。

・相思の首飾り：距離、空間、時間、様々なものを無視して、発動したなら思念を通じ合わせる事が可能なペアの首飾り。スレイがリアに贈ったプレゼント。

・護法の指輪：本人の意思に関係無く、危機を感じたら堅固な防御結界を発動する指輪。相当に強固な結界で、更には永続性もあるが、籠城に等しく、長期に渡れば本人の体力が保たない為、援助が期待できない場合にはその永続性に意味は無い。スレイがリアに贈ったプレゼント。

・気配同化の腕輪：気配を遮断するのではなく、周囲に気配を同化させる魔法の腕輪。故に相当な実力者でも見抜くのは難しい。市販の物は高いが発動の為に装着、解除の為に外すと手間が掛かる。迷

宮内で手に入るレアな物なら装着したまま任意発動・解除が可能。

・姿消しの指輪：名前の通り姿を完全に透明化する指輪。ただし実力者には気配で見破られる。市販の物は高いが発動の為に装着、解除の為に外すと手間が掛かる。迷宮内で手に入るレアな物なら装着したまま任意発動・解除が可能。

・九尾の腕輪：EX級の神獣、九尾の狐タマモの毛を束ねて作られた腕輪。この腕輪をしているとタマモと双方向性で常に思念が繋がった状態になる。言わば王の愛の双方向性版。常に思考が繋がる為、それに裂く思考分割や念話を極め思考を遮断できる程の者で無ければ心が壊れる。が、この世に一つしか無い一点物かつ所有者がスレイの為、何も問題は無い。なおかつその気になればタマモの召喚も可能とする。

武器と素材について

独自の設定を微妙に混ぜています。

武器

セスタス：堅い革紐を手に巻き付ける物。

ガントレット：前腕部も覆っている手袋状の籠手。

爪：握り締める持ち手のある、鋭く長い無数の鉤爪が付いた、格闘用の武器。

レイピア：細身で先端が鋭く尖った刺突用の剣。

ショートソード：大陸で最もポピュラーな片手剣。特別に短い訳では無く、ロングソードと比較しての便宜上の名称。

ロングソード：大陸で最もポピュラーな片手剣。特別に長い訳では無く、ショートソードと比較しての便宜上の名称。

バスタードソード：片手、両手、両用の剣。ロングソードより長く重い。

ツーハンデッドソード：大陸で標準的な両手剣。

サーベル：シチリア王国において軍刀として正式採用されている片刃の反りのある刀、大陸の刀としては最上級と言える。

ディラク刀：剣神フツを奉る島国ディラクの刀鍛冶のみにフツが伝えた特別な鍛錬法で作られた片刃でゆるやかな反りのある刀、その美しさは美術品として、その切れ味は武器として、他に並ぶ物が無い。大陸で入手できるのは殆どが地位のある者ばかりで、飾り物として死蔵されてる場合も多い。殊に特徴は、日本刀が素材の鉄の性質を刀鍛冶の手で炭素の含有率を部位によって操作し刀に最適な性質を併せ持つ様にされるように、ディラク刀の刀鍛冶は鉄ならば日本刀と同じく、他の素材であればその素材とする鉱物特有の元素の含有率を部位によって操作し、鉱物の性質の長所を伸ばし、刀としての最適な性質へと加工する秘伝の技法。

バルディッシュ：柄の上端部に三日月状の曲線を描く斧頭が横向きに取り付けられたポールウエポン。

トマホーク：刃の先が反っている小さな斧、手に持って振るって、投擲しても使えるポールウエポン。

ハルバード：槍の穂先に斧頭、反対側に突起が取り付けられた、戦争用として非常に完成度の高いポールウエポン。

杖：魔法の媒体とされる事が多い特別な杖、色々な特殊効果が付与されている。

盾：小型の物から大型の物まで使用法により色々な形状の物がある。

バックラー：白兵戦用の小柄な盾。

大盾：重装備の戦士用のひたすら大きく重厚な盾。

鞭：棒状の柄に革紐や鎖などを取り付けた敵を打つ道具。

糸：暗殺技能である操糸術において使われる様々な素材の糸。

弓：言わずと知れた弓幹と弦の組み合わせによる遠距離攻撃用の武器、様々な大きさや形の物が存在し、機械弓も当然の如く存在する。戦場においては十分に活躍の舞台があるが、探索者の間では物好きしか使わない。矢が攻撃の主体となる為、矢は簡単に強化できるが、弓幹と弦の強化は非常に困難で、ある程度以上のレベルの探索者になると、普通の素材では弓が付いてこれないからである。

ヒヒロカネのデイラク刀：素材のヒヒロカネの基本性能である形状記憶能力と自己修復能力を、それこそ完全に折れ曲がった状態からでも瞬時に元の形状に戻るほどと、例え砕け散っても引き寄せあい回復する程に高められてる上。形状記憶保持と自己修復能力の力が、何かを斬る際に、その摩擦の中で作用する事で、斬る過程で形状保持しようと素粒子レベルで動き続ける事で起こる超振動や、斬る過程で僅かに削れて対象物に入り込んだ微粒子が自己修復能力で刀に戻るうとする事で外部と内部から挟み込むような形になる事で、極限まで切断力を高められている。全てがデイラク刀の刀鍛冶の手によりヒヒロカネの性質をとことん刀としての性能を高める為に、その製作の工程で神素濃度を部位によって刀として最適に操り、更にデイラク島の霊地で採れる神素を含んだ泥と水を用いた鉄製のデイラク刀の製法には無い、もう一段階上の工程を踏む事で磨き上げられた名刀。非常に高値で稀少である。

オリハルコンの糸：精神感応金属製のオリハルコンの糸。オリハ

ルコンの操糸術の使用者である念操絃者は史上ただ二人。現在はミアのみ。ミク口単位の細さとキ口単位の長さを持ち、認識できる者は少なく、大抵の距離の用途に用いる事が出来、体内に特殊な方法で収められている。念じれば何時でも自在に放出できる。また精神感応金属であるオリハルコン製の為、使用者の意志に完全に答え、まるで感覚があるかのように自在に操作でき、強度や切断力も精神力により高まり、逆に切れ味を抑えて相手を捕らえるのにも用いる事ができ、あるいはただでさえミク口単位の細さの糸を更に無数の本数に分離して使う事も可能。また糸の伸縮も、太くする事ももっと細くする事も可能で、超振動させて攻撃力を高める事もできる。更に敵の探索・追跡などにも使えたり、千切れた糸を遠隔で操作も出来たりと、相当に万能。糸を体内に収めた念操絃者と生体的に同化している為、手入れ要らずで、自己修復能力も有り。敵に回すとこれほど厄介な武器もそうは存在しない。

ダマスカスの弓：そのダマスカスの性質であるしなやかさが、弓幹と弦に求められる性質とマッチし、オリハルコン製の物を除けば最上級の弓。ただし矢は容易く強化が可能な為、木や鉄製の物を使う探索者が多い。

オリハルコンの弓：精神感応金属であるオリハルコンの性質により、弓幹も弦も、使用者の思考速度や精神力に合わせた強化がされる為、素のままでも時系列を超越した超光速の速度域に突入した使用者に付いてくる事が可能な弓。矢は、強化が通じる為に普通に木や鉄製の物を使われる事が多いが、より高みを臨む弓使いの探索者は超光速の速度域でも、更にその速度域を超えた最大限の速度と威力を発揮させる為、惜しまずオリハルコン製の矢を使う。……ただし、かなりコストパフォーマンスが悪い。

魔導銃：魔力を込め、魔力そのものを弾丸として打ち出す銃。ヴ

エスタには存在せず、アラストリア製の物。

魔法付与による強化武具：+補正は付与魔法による補正。特別属性が偏つてる場合は属性も付記される。+1〜+9までである。質と量での判定の為その性質は一概には表現できない。

オリハルコンのロングソード(+9)：ダグがスレイに対抗する為に鍛冶師と魔術師に破格の報酬で作らせた超大業物。その強度や切れ味は超一流の探索者が強化したオリハルコンのロングソードに匹敵する代物と言っても過言では無く、ダグが振るってもすさまじい切れ味を發揮する物だった。

鋼鉄のサーベル(+3)：スレイが師より選別に与えられた良質なサーベルに、形状保持、切断力上昇、重量軽減など、複数の効果の付与魔法を幾つも付与され強化された業物。とはいえ一般レベルでの話で、探索者が使うような特殊素材の武具には及ばない。

ミスリルのサーベル(火属性+9)：火の純元素を秘めた火の精霊石により強化されたミスリル製のサーベル。使用者に熱を全く感じさせない程に高度に制御された無限大の超高熱で、刀身のミスリルが素粒子レベルで超振動して、切れ味を極限まで高めている。

正宗(+9)：異世界の日本という国でも伝説とされる正宗の銘が刻まれた長物。その刀身の美しさと鍛え上げた者の技量は、ダイヤクの鍛冶師を越えている。しかし結局は名刀とはいえただの鋼鉄製の日本刀だった訳だが、異世界アラストリアの最高の付与魔法による強化で強度や切れ味が極限まで強化されている為、究極級の^{アルテマ}シークレットウェポンと正面から打ち合う事も可能である。自己修復能力もある。

ダマスカスの弓（時属性+9）：時間系魔法で極限まで強化されたダマスカス製の弓。使用者の思考速度に反応し、その速度で引いても問題無く使用できる。また使用者が超光速の領域に突入して、弓幹と弦がその速度域で引かれても、全然問題無く付いてくる事が可能。

素材

鉱物：オリハルコン　ヒヒイロカネ>ミスリル>アダマンタイト
>ダマスカス>鋼鉄

生体素材：モンスターの鱗、モンスターの革、モンスターの牙、モンスターの爪、他 e t c . . .（これらはそのモンスターによって様々な特性を持ち、ランクも違い、大きく素材としての有用度が違ってくる）。

番外：ミスリル絹（ミスリルを食する蚕型モンスターの存在により作れる様になった特殊素材）。

補足

オリハルコン：精神感応金属。使用者の精神力によって、武器ならば攻撃力が、防具なら防御力が、またどちらであってもその強度が上昇する。また使用者の思考速度と同等に加速可能。

ヒヒイロカネ：剣神の神気の粒子である神素を微量に含有するデイラク島でしか採れない金属。形状記憶能力と自己再生能力を持つ金属。これで作られた武具は手入れ要らず。扱いが難しく、刀剣類

にするのはディラクの刀鍛冶にしか不可能。

ミスリル：銀の輝きを持ち、鋼鉄を凌ぐ硬さを持ち、魔力に染まり易い特性を持ったため属性効果を持たせ易い魔法金属。

アダマントイト：ひたすらに硬い物理的に特化した金属。

ダマスカス：すさまじくしなやかで強靱で錆びない木目状の文様を持った金属。

シークレットウェポン

シークレットウェポンとは神々が創り出し、迷宮に隠した伝説の武具の中でも最高級の物の総称。

全てオリハルコン製で神々が自らの力で鍛え上げた物。

オリハルコン製にも関わらず神々が鍛え上げた為、ヒヒイロカネと同じく形状保持機能と自己再生機能を持つので手入れいらず。

等級として上位から、アルテマ究極級、ミソロジー神話級、レジェンド伝説級の三種類ある。

アスラとマーナはこの中で最下位のレジェンド伝説級と思われていたが、どちらも成長する刀であるため、ある意味、アルテマ究極級すら越える代物だと判明。

アルテマ勇者は皆シークレットウェポンに好かれる性質を持つ為、全員がアルテマ究極級を持っている。というより本来はアルテマ究極級のシークレットウェポンは勇者専用。

SS級相当探索者以下はせいぜいミソロジー神話級持ちとレジェンド伝説級持ちまで。
SS級相当探索者でありながらアルテマ究極級持ちのノブツナは剣神に気に入られた故のイレギュラー。

神殿騎士の武装もオリハルコン製。神々から賜ったオリハルコンを鍛冶師が武具として鍛造したもの。その為神殿ごとに形状や色は統一されている。シークレットウェポン程の力は持たず、普通のオリハルコンの性質の為、定期的に手入れが必要。

通常のオリハルコン製の装備も定期的に手入れが必要。ただし念操絃者のオリハルコンの糸だけは、体内に埋め込まれ、念操絃者と生体的に同化しているため別で手入れ要らず。また通常のオリハルコン製の装備は探索で入手するか、探索で入手したオリハルコンで個人的に鍛冶師に武具を造ってもらう為、みんな形状が別。

双刀：アスラ・マーナ（所持者スレイ）　??級

紅刀アスラ：敵の血を啜り切れ味も強度も無限を越えて成長していく刀。実は血でなくて、敵の存在を維持する流体だったら何でも構わない、そうでなければマーナと釣り合いが取れないので。物質も非物質も存在も非存在も概念も情報もその他何もかも斬り裂く。形状は鍔も無い簡素な拵えの柄の紅い刀身のデイラク刀。その刀身の輝きは凄絶なまでに美しくも妖刀・魔刀の如く妖しい。紅いオーラを様々な事に使える。双刀の片割れ。創り手である剣神にとってもその力・性質・性格全てがイレギュラーな代物で、気難しく、今まで一度も主を定めなかったが、スレイを主と定めた。

蒼刀マーナ：敵の精神を喰らい切れ味も強度も無限を越えて成長していく刀。物質も非物質も存在も非存在も概念も情報もその他何もかも斬り裂く。形状は鍔も無い簡素な拵えの柄の蒼い刀身のデイラク刀。その刀身の輝きは凄絶なまでに美しくも妖刀・魔刀の如く妖しい。蒼いオーラを様々な事に使える。双刀の片割れ。創り手である剣神にとってもその力・性質・性格全てがイレギュラーな代物で、気難しく、今まで一度も主を定めなかったが、スレイを主と定めた。

双刀の鞘：双刀の力の成長に合わせその強度をあらゆる意味で増

す、よって双刀に込めきれないほどの力を込めて鞘に収めると、力が圧縮され密度が高まりより強力な物となる、それを利用し抜刀術で、強力な一撃を放てる。他にも応用方法は多数。形状は黒塗りの簡素なデリラク刀の鞘。双刀のオプシオン。

双神刀：アマノムラクモ・アメノハバキリ（所持者クロウ）
神話級

神刀アマノムラクモ：天候を自在に操る力がある。天雷を落としたり、突風を起こしたり、竜巻を作り出したり、雨を降らせたり、その他様々な事ができるが、その特徴はそれがただの自然現象では終わらない事。雷ならば加速粒子砲級の物でかつその速度はクロウの速度に合わせ光速をも超える。突風も、竜巻も、雨も、その他全て同じで、速度はクロウの速度域と同等の上、全てが圧倒的な攻撃力を備える。また、剣神の故郷の世界の故郷の国での草を薙ぎ払い炎を防いだという逸話に倣い、魔法攻撃なども軽く薙ぎ払い消し去る能力もある。形状は美しい神聖な輝きを放つ柄の拵えも美しい鍔も見事なデリラク刀。クロウを主と定める。

神刀アメノハバキリ：強力な対竜種・対龍種能力がある。剣神の故郷の世界の故郷の国での伝承の八つ首の大蛇を倒したという伝承に擬え、クロウがどれほどの速度域にあっても、その速度域の中でさえ一度に八つの斬撃を放つ技を使える。形状は美しい神聖な輝きを放つ柄の拵えも美しい鍔も見事なデリラク刀。クロウを主と定める。

降神刀フツノミタマ（所持者ノブツナ）

究極級

降神刀フツノミタマ：特殊能力として剣神フツを降神可能。降神時は全ての能力値が+3ランク上がり、神気により世界の法則を改変する。剣神にとっては想定外の範囲での最高傑作。形状は長大ながらも繊細な刀身を持ち美しい神聖な輝きを放つ、柄の拵えも豪華で派手なデリラク刀。究極級アルテマでありながら、イレギュラーな事に、勇者でないノブツナを主と定めるが、これはノブツナが剣神に気に入られた為。

ホーリー・クロス
聖十字斧槍ストライク（所持者カタリナ） 究極級アルテマ

ホーリー・クロス
聖十字斧槍ストライク：その名の通りの聖属性の十字型の閃光が敵の防御力無視の巨大な斬撃として奔り抜ける。あらゆる装備・結界・頑強な肉体の防御を透過する。破壊規模は持ち主の力によりいくらかでも大きくなる。閃光の速さも持ち主の速度次第で幾らでも速くなる。形状は巨大な神々しい輝きを放つハルバード。カタリナを主と定める。

レジェンド
フェザーブーツ（所持者カタリナ） 伝説級

フェザーブーツ：魔法などに頼る事なく自由自在に空中を駆ける事ができる靴。魔法や他の技法に頼り空を翔けるのに比べ、空を翔けるのに何も力も意志も割く必要が無い分次第では有利な状況を作れる。美麗な翼のような意匠の美しい靴。カタリナを主と定める。

アルテマ
風剣ミストラル（所持者ジルドレイ） 究極級

風剣ミストラル：最低でも半径100キロ以上の範囲の風を自在に操れる。範囲は最低範囲から使い手の意志の力次第でいくらでも

大きくなっていく。形状はどこか透明な輝きを放ち涼やかな風の如く煌く柄に風の意匠の施されたロングソード。ジルドレイを主と定める。

絶対王剣エクスカリバー（コルブランドⅡ松明とも呼ばれる）（所持者アルス）
究極級^{アルテマ}

絶対王剣エクスカリバー：攻撃特化の巨大な閃光の斬撃を放つことが可能。破壊規模はいくらでも大きくも小さくもできる。基本攻撃力は究極級^{アルテマ}のシークレットウエポンでも最強。使い手の力次第で幾らでもその攻撃力は跳ね上がる。形状は王の威風を感じさせる豪奢で豪気でどこまでも絢爛な輝きを放つ柄も神秘的な意匠の拵えのロングソード。アルスを主と定める。

絶対王権の鞘（所持者アルス）
究極級^{アルテマ}

絶対王剣の鞘：王国の主たる王の絶対たる権威を示す力を持つ鞘。故に王国の領土を護るという意味を持つ巨大で多数の結界操作の力と、王国の主であり失う訳にはいかない王を護る為の絶大なる再生の力を持つ。結界の力は最低でも国一つまるまる何百もの結界で多重に覆える程で、その範囲の大きさと結界の数は使い手の力次第でいくらでも大きくなり増える。再生の力はそれこそ生きてさえいればどのような状態からでも再生可能な程の究極の再生の力。形状は王の権威を示すのに相応しい豪華でありながら神秘的な威厳を持つ意匠の豪華な鞘。アルスを主と定める。

イージスの盾（所持者アルス）
究極級^{アルテマ}

イージスの盾：物理的・非物理的な力に関係無く、それこそただの打撃・斬撃その他あらゆる種類のダメージとなりえる現象、あらゆる種類・属性の魔法、それに闘気・魔力・妖気・闇の力・神気・精神・生命・純エネルギー、それにプリマ・マテリアに到るまでの他あらゆる種類の力・素粒子、それら全てを主にとって危険と判断した場合、全次元・全位相・全空間のあらゆる方向からのベクトルを、完全に千倍以上に増幅して反射する絶対防御のベクトル干渉膜を主に纏わせる盾。対応できる威力はどれだけでも、それこそ無限を遥かに超越した威力であつても反射可能。ただし全次元・全位相・全空間のあらゆる方向からのあらゆる種類のどれだけの威力のベクトルも反射可能ではあつても、全次元においての全能に及ぶ訳ではない。増幅する倍率は所有者の力次第でいくらかでも上がる。形状は様々な色合いの輝きを見せる滑らかな多面鏡的構造の小さな盾。アルスを主と定める。

神拳スパルタクス（所持者マグナス）

アルデマ
究極級

神拳スパルタクス：敵のあらゆる防御をすり抜け、最低でも数十キロ先まで届く光の拳撃を放つことができる。威力・射程は所有者の力次第でいくらかでも伸びる。形状はオリハルコンに革のような柔軟性を持たせた白く神々しい煌きを放つセスタス。マグナスを主と定める。

炎杖カグツチ（所持者マリア）

アルデマ
究極級

炎杖カグツチ：異世界より呼び寄せた当時より死んでいた母神殺しの神の遺体を素材に火神アグニが創った杖と伝えられる。最低で

も半径数十キロ四方を神殺しの炎で焼き尽くせる杖。範囲も威力も所有者の力次第でいくらでも上がる。真紅の紅蓮の火焰の如き色合いと形状の杖。マリアを主と定める。

カドウケウスの杖（所持者サクヤ）
伝説級^{レジェンダ}

カドウケウスの杖：ほんの僅かでも触れる事さえできれば、どのような相手でも眠らせる事ができる。使い手次第では触れる事なくとも眠らせる事が可能になり、使い手の力次第で眠らせられる範囲も、眠らせられる相手の力も、いくらでも上がる。二匹の白と黒の蛇が絡み合った形状の身長よりも長い杖。サクヤを主と定める。

勇者シリーズ（所持者職業：勇者）
究極級^{アルテマ}

勇者の剣・勇者の鎧・勇者の盾：職業：勇者のみが纏える特殊な装備。普通に攻撃力・防御力共に究極級^{アルテマ}の強大な力を持ち、また職業：勇者のみが使える封術の強大なヴェスタ世界の歪の力を纏わせる事が可能。装備の力も、また纏わせる事のできる歪の量も力も応用性も、全てその職業：勇者の力量次第で幾らでも上がる。鎧は全身鎧、盾は中型の物、剣は両刃の直剣、鎧も盾も剣も鞘も、全てが幻想的な蒼い色に淡く輝き、凝った神秘的な意匠を凝らした、幻想的かつ神秘的な雰囲気纏う装備である。

聖剣ヴァレリア・ソード（所持者ヴァリアス）
神話級^{ミソロジー}

聖剣ヴァレリア・ソード：聖剣技の力を最大限引き出す、光神の加護により最大級の聖属性と光属性の力を与えられた剣。その聖属

性と光属性の力は使い手の力次第で幾らでも増大する。形状は華美で豪華な装飾の、眩いばかりに神々しく煌き輝く、圧倒的な神聖さと眩い光を纏ったロングソード。ヴァリアスを主と定める。

聖拳スラッシュ（所持者オウル）
伝説級^{レジェンド}

聖拳スラッシュ：闘気と魔力を完全に徹し増幅する。闘気と魔力の徹し方でその打撃の性質が全く変わる為応用性に優れ、使い手の技量と発想が問われる。増幅率は使い手の力次第で幾らでも上がる。形状はオリハルコンに革のような柔軟性を持たせた、白く落ち着いた穏やかな輝きを放つ古風なセスタス。オウルを主と定める。

時の魔杖（所持者アロウン）
神話級^{ミソロジー}

時の魔杖：時間魔法の効果を増幅する杖。増幅率は使い手の力次第でいくらかでも上がる。また肉体には効果が無いので行動することは不可能だが、意識だけなら時系列を完全に無視して何人でも光速の何倍の領域にでも引き上げる事が可能な特殊能力を持つ。形状は先端に時計のような装飾の施された、長大な、悠久の年月を感じさせる杖。アロウンを主と定める。

霸王シリーズ（所持者グラナル）
伝説級^{レジェンド}

霸王のランス・霸王のツーンデッドソード・霸王のプレートメイル・霸王の大盾：覇道を歩み、血塗られた運命を持ち主に与える武器。成り上がる為の機会、歴史の分岐点に主を立ち合わせる。また攻撃力、防御力共に、使い手の力次第でいくらかでも上がる。形状

は、全てが血生臭い覇気を感じさせながらも、色は鋼の地色のよう
に見え、どこか禍々しい雰囲気を感じさせる、身長よりも長いラン
スと長大なツーンデッドソードに全身鎧と巨大な盾である。グラ
ナルを主と定める。

英雄シリーズ（所持者ブレイズ）

レジェンド
伝説級

英雄のロングソード・英雄のブレストプレート・英雄のバックラ
ー・英雄の服・英雄のズボン・英雄の靴：王道を歩み、輝かしい運
命を持ち主に与える武具。英雄に成る為の誰かの野望を阻む機会、
歴史の分岐点に主を立ち合わせる。また攻撃力、防御力共に、使い
手の力次第でいくらでも上がる。形状は、全てがごく普通にしか見
えないのに何故か人目を惹きつける、通常のロングソードに通常の
胸当てとして通常のバックラーに通常の衣服と通常の靴である。ブレ
イズを主と定める。

吸血のレイピア（所持者ミネア）

レジェンド
伝説級

吸血のレイピア：持ち主の血を啜る呪われたレイピア。その啜つ
た血の量によりいくらでも力を増す。また使い手の力次第で血の質
が上がりいくらでも力が上がる。のだが、ミネアの場合は例外で、
血そのものを啜らせる事に意味があり、僅か一滴しか啜らせずとも
その血を宿したレイピアは、掠っただけでどのような強大な敵も殺
す、必殺の武器となる。形状は禍々しい雰囲気醸し出す赤い刀身
のレイピア。主としてミネアを呪う。

神剣マルス（所持者ダリウス）

ミソロジー
神話級

神剣マルス：戦神のもう一つの名を与えられし剣、持ち主にとっては羽のように軽く、受ける敵にとっては山のように重いという。持ち主にとつての振るい易さと、敵に与えうる斬撃のその質量は、使い手の力によっていくらかでも上がる。形状はごく普通の業物に見えるような刀身のロングソード。ダリウスを主と定める。

氷剣アブソリュート・ゼロ（所持者フェンリル）
ミソロジー 神話級

氷剣アブソリュート・ゼロ：絶対零度の刃を以って敵を斬り裂く剣、周囲一帯の分子、原子運動を停止させる事すら可能。その切れ味、また停止させる粒子の種類は、使い手の力次第でいくらかでも増し、幾らでも増える。形状は絶対零度の冷氣さえ感じさせる、氷のような透明な刀身の長めのサーベル。フェンリルを主と定める。

氷杖ステイシス（所持者フェンリル）
ミソロジー 神話級

氷杖ステイシス：水氷魔法の効果を増幅する杖。その増幅率は使い手の力次第で幾らでも上がる。形状は、先端に巨大で美しいカットされた宝石のような透きとおった輝きを持つ永久氷の塊が飾られた、どこまでも冷たい蒼い輝きを放つ杖。フェンリルを主と定める。

迷宮探索者

・神々が創り上げた迷宮システムにより成長していく対邪神用の戦力としての生物兵器。

・探索者になれる種族は人間・ドワーフ・エルフ・ライカンスロップ・妖精の割と弱い力しか持たない5種族のみ。他の種族は元々強化改造されているような存在なので、探索者になる肉体改造を受ける事すら出来ない。またこれらの種族であっても、別の種類の改造を受けた存在は探索者になる事は出来ない。

・現在は、迷宮都市内で素直に迷宮探索に勤しみモンスターの生態素材やアイテム又は迷宮内の宝などを集め稼ぐ者も居れば、都市の外に出て探索者ギルドの支部のサポートを受け依頼を受け日銭を稼ぎつつ、大陸各地を冒険し、新しい物や稀少な物の発見を目指したり、或いは高レベル探索者になってパトロンを探るか自ら資金を稼ぎ船で外洋に漕ぎ出しセレディア大陸以外に存在するとされる新大陸の発見を目指したり、またやはり支部のサポートを受け依頼で日銭を稼ぎつつ大陸各地に点在する神々の創った物とは違う製作者不詳の迷宮に挑んだり、支部を通じて探索者の力を必要とする様々な依頼を受ける事を専門として稼ぐのを目指す者も居る。また幼少期より素質を見出され探索者ギルド本部でギルドお抱えの探索者として育てられたり、熟練した探索者には探索者ギルドお抱えとしてスカウトされ直属になるS級相当探索者が居たり、SS級相当探索者ともなれば半ば独立し独自に様々な国と繋がりを持ち、その力を求めていくだけでも金を出す者は多い。称号：勇者、職業：勇者は、一代大公位を与えられ、クロスメリア王国の近衛隊に囲い込まれる。或いは探索者の力を悪用し野盗や裏の組織の一員に身を堕とす者も

居る、特に貧民で探索者になるしか生きる道が無く素質が無かった者がそうなる事が多い。また、探索者としての登録の更新をせずに探索者を止め現役で無くなる者も居るが、あくまで探索者ギルドの記録で現役では無くなるだけで、存在は把握されているし、また探索者としての力は神々のシステムで肉体を改造されて、また戦い魂の力を吸収し経験値を得て獲得した物なので、ギルドで現役で無くなったと言っても、永遠に失われる事は無い。

・探索者となった時点で人間的な本能的欲求は全て失っているが、人間であった時のそれをコピーしたイミテーションの欲求のままに、普通に人間らしく生きている為、探索者は気付かない。

・Lv1の無職の時点でも、思考や伝達のシステムが、化学物質や電気信号を使った「とろい」ものから、全くの別物に改造されてる為、改造された肉体の扱いを熟知していれば、思考と魂と肉体の動作のタイムラグが全く無しに動ける、逆に言えばLv1の無職で改造された肉体の扱いを熟知してるものなどまず居ない為、そのポテンシャルを活かせない。ともあれ、思考してから肉体を動かすまでに伝達のタイムラグが存在する通常の人間は、探索者にとっては非常に「とろい」のろまな存在。

・上記と同様に肉体のメカニズムが全く違う為、五感の働きもまた、例えば視覚は決して光を通して物を視認している訳では無いし、聴覚は空気の振動を通じて音を捉えている訳では無いしと、全く別の法則での、一般的には全てに含まれ一部として構成している原質であるプリマ・マテリアを通して捉えているとされる。そしてプリマ・マテリアはその含まれている物が存在する法則に基本的に従っている。つまり一例で言うと光速を超えた世界に存在する物に含まれているプリマ・マテリアは光速を超えた法則で動いている。その為、探索者の感覚は、探索者の成長により容易に物理法則どころかそれ

以上の法則も越える事が可能。ただし肉体そのものは物質として存在している為、肉体の動きが物理法則を超越する為には、物理法則の縛りを殺せる類の力での強化が必要。

・肉体のメカニズムが違う為、肉体の扱い方を把握すれば汗の分泌すら止めたりなど、生理的な反応についても完全に制御できる。

・L V 1の無職の時点、最初に改造された段階で、実は五官に次ぐ第六の感覚器官として心眼が既に存在している。ただし最初は機能していない為、特性としての心眼が発現するには、心眼の機能がONになる必要がある。極めて厳しいシチュエーションでの開眼や、通常は開眼に相当な経験を積まないといけない為、特性としての心眼を発現してるのはおよそ上級の探索者のみ。

・上記の様に探索者の肉体のポテンシャルは根本的に人間とは違うが、探索者となる者は皆、何かしらの武技や魔法などの基本までは極めている為、人としての想像の範囲の限界に縛られ、探索者のポテンシャルを真の意味で引き出し切れる者は居ない。

・上記の探索者専用の“技”を追求しているのが闘術の大家、グラウンド家だが、年代を重ね、かなりその錬度は高められたが、それでも尚探索者としてのポテンシャルを活かしきるまでは行っていない。

・探索者の中でもより優れた、壁を越えてその先の超一流に至れる者は、所謂ところの閃き、インスピレーション、靈感という類の物を持っている。その閃きの疾さは、超上級探索者の光速を超えた思考速度をも更に越えて、光速を超えた思考が追いつく暇も無く肉体を先に動かし始める程のもの。同じ閃き、インスピレーション、靈感を持つ者同士であれば、それがより鋭く研ぎ澄まされた物が勝つ。所謂エジソンの「天才とは99%の努力と1%の閃き」インスピレーション靈感で出来

ている」という天才論の、探索者版。

・Lv80を越えた一流の探索者は、自らよりも圧倒的な強者を前にした際に、恐怖心が自然に麻痺するなど他全て戦いに最適なコンディションに自然と肉体がシフトする。元々探索者となった事で肉体のシステムは完全に変化しているが、Lv80を越えた時点で自然と第二段階の変異を起こす様に神々が仕込んでいる為。これはLv80にも満たない探索者は邪神との戦いに役に立たないので、生き伸びて成長する事を優先させる為で、逆にLv80を越えた一流の探索者は邪神との戦いの戦力である為、自分よりも圧倒的な強者相手だからといって戦えなくては役に立たないからである。ちなみにディザスターが敢えてスレイのLvを上げるのを抑止しているのは、その変異を起こした段階でただの人間としての無限の可能性を完全に失うから。“天才”としての無限の成長性だけでなく、ただの人間という種族としての本来の無限の可能性をも利用してスレイを強化しようというのがディザスターの計画。ただしその計画を実行するには、本来の人間の構成要素の一つであるロドリゲーニに喰らわれた恐怖心を取り戻す必要があった。

探索者の身分

上級の探索者には貴族位などを与えて抱え込もうとする国が多い。

迷宮都市でクロスメリア王国の貴族にのし上がった探索者は、クロスメリア王国内では、どれだけ爵位が高くとも一代貴族の為、その子女がそのまま貴族である為には、自らも探索者となり、爵位を継ぐに相応しい技量を見せるか、或いは技量に相応しい新しい爵位を得る必要がある。

クロスメリアにも領地持ちの世襲制の貴族達は居て、自分達と同格に扱われる探索者上がりの貴族達を忌々しく思っている。

職業：勇者、称号：勇者はクロスメリアで国王直轄の近衛隊隊員となり、公爵より上の大公位が与えられる。やはり領地は無しの一
代貴族で、その子女についての扱いは一代貴族と同じ。今の所歴代の称号：勇者となった者達は全て、様々な特典や優遇措置によりクロスメリア王国に留まっている。

グランド家：代々優秀な探索者を輩出し続ける闘術の大家。様々な国家の中枢まで根を伸ばしている為、地位は持たないが、その権勢は一国家の公爵家などよりずっと強い。

モンスターランク

あくまで基準なので、無職でありながらE級相当の力を持ち、E級のモンスターを倒せる探索者など、そういった例外も存在します。

このランクは強化無しのノーマル状態が基準となっています。

ある程度上位の存在はこの世界ヴェスタにより力の抑制を受けています。

規定不能：ランク付けが不可能な存在、中級〜最上級までの邪神（真の神）や失われし名持ちの邪龍（“死”を司る蛇たるクロウ・クルーワツハ）など。

EX+：ヴェスタ世界以外なら世界を破壊することすら可能な存在。下級の邪神や神峰アスール火山の不死鳥フェニックスに汎次元竜たる時空竜など。

EX：この世界の神々に匹敵する存在、神々がボスモンスターとして召喚した異界の神々や、神獣である九尾の狐など。

SSS：伝説級の存在。伝説で語られる名のある最上級のドラゴンや神獣である天狼や一般的な不死鳥フェニックスなど

SS：現在その存在が探索者ギルドで公式に確認されてるモンスターの最強クラス

- S : 一般的基準として最上級職の探索者がようやく倒せるクラス
- A : 一般的基準として最上級職の探索者なら問題無く倒せるクラス
- B : 一般的な基準として中級職の探索者がようやく倒せるクラス
- C : 一般的な基準として中級職の探索者なら問題なく倒せるクラス
- D : 一般的な基準として初級職の探索者がようやく倒せるクラス
- E : 一般的な基準として初級職の探索者なら問題なく倒せるクラス
- F : 一般的な基準として無職の探索者がようやく倒せるクラス
- G : 一般的な基準として無職の探索者が問題なく倒せるクラス

ステータスについて

モンスターランクが基準なので、探索者ランクとしては〳級相当と呼ばれる。能力値はそのまま〳級。

探索者に成り立ての一般人の大人の男で全能力値だいたい平均F。

最低値G、から順にF、E、D、C、B、A、S、SS、SSS、EX、最高値EX+まで、それ以上は測定不能

鍛錬でも能力値が上がることはあるが、元々鍛錬しても弱い種族を限界を越えて更に急激に強くする為に神々によって創られたのがLvアップシステムなので、本当に伸びるのは微々たるもので、ステータスのランクまで上がる者はまずいない。ランク内の振れ幅で少々伸びる程度。

探索者カードの名前・Lv・年齢・職業は誰にでも見えるが、その他の部分は持ち主が相手に見せようと思わなければ相手に見える事は無い。

探索者カードの装備に関しては、装備としての性能があるもののみを記載。スレイの初期装備の布の〳や革の〳も素材は普通だけど特殊な製法で装備効果があったので装備欄に記載されていた。なので普通に装備と被らない部分では記載が無くても普通の、というより装備に合わせた着衣をしている。

魔力：F以上で魔法の知識とそれを実際に扱えるセンスがあれば、魔力相当の魔法が使えるようになる。

能力値について

- ・筋力：文字通りの力の強さ、装備可能な武器の重量などに関係する。
- ・体力：文字通りのスタミナや頑丈さ、闘気の量や質にも関係する。
- ・魔力：文字通り魔力の量や質。
- ・敏捷：文字通りの動きの速度。
- ・器用：文字通りの器用さ、装備可能な武器の種類などにも関係する。
- ・精神：文字通りの精神性、戦いに向けた精神性をしていれば高くなる。
- ・運勢：文字通りの運の強さ、高いと宝などを入手できる確率が上がる、低いと強敵とエンカウントする確率が上がる。

能力値：ランク評価の為の数値換算（但し、測定不能は数値換算不可）

??? = 測定不能

EX+ = 11

EX = 10

SSS = 9

SS = 8

S = 7

A = 6

B = 5

C = 4

D = 3

E = 2

F = 1

G = 0

ランク：全能力値の合計（但し、測定不能が1つでも混ざっていると合計を出せないのでランクも測定不能となる）

EX+級相当 74～77

EX級相当 67～73

SSS級相当 60～66

SS級相当 53～59

S級相当 46～52

A級相当 39～45

B級相当 32～38

C級相当 25～31

D級相当 18～24

E級相当 11～17

F級相当 4～10

G級相当 0～3

速度基準

敏捷 速度

S 音速

SS 超音速

SSS 雷速

EX 亜光速

EX+ 光速（但し、物理法則を超越する為、魔力操作 or 魔闘術 or 狂化 or 魔力と闘気の融合 or 異界の勇者の力等、何らかの、世界の法則に干渉する術が必須）

規定不能 超光速（但し、物理法則を超越する為、魔力操作 or 魔闘術 or 狂化 or 魔力と闘気の融合 or 異界の勇者の力等、何らかの、世界の法則に干渉する術が必須）

LVと経験値

探索者に改造された人間にはそれぞれLV限界がLV70～LV99の間で存在している。

LV99になれる探索者はごく一部でLV99になると称号：勇者が手に入る、現在5人のみ。

LV90～98になれる探索者も限られていて殆どのSS級相当探索者はこのレベル帯である。

LV80～89になれる探索者も限られていてほとんどのS級相当探索者はこのLV帯である。

LV80以上の探索者はほぼ全員最上級職である。

SS級相当探索者は現在現役では9人。

SS級相当以上の探索者ともなれば、一騎当万を越える戦力となり、最上位の世界である強固なヴェスタ世界内ですら山河を打ち砕くほどの力を持ち、実際過去の様々な戦争などで地形を変え、新たな地名を生み出したりもしている。

S級相当探索者は現在現役では50人程度。

大抵の探索者はLV70～79の間でLV限界となる。

戦闘力自体はLV90～98のSS級相当探索者となれば、LV

99の勇者とほぼ変わらない、むしろ称号：勇者より強いSS級探索者も存在する。

職業：勇者は始めからLvアップ機能備えていてLv99まで確実になれるが、Lv99になっても何の称号も得られない。

経験値はモンスターを倒した時にその魂の力を奪い取る物だから、どんどんと自分の魂の力の絶対値〓Lvが上がっていくと、相対的に得られる魂の力〓経験値は減っていく。

探索者が限界Lvに達してない場合、一匹倒して経験値0でも0.2など小数点以下の経験値が溜まっていて、数体倒したら1の経験値が入ったりもする。

職業

初級職としては剣士（必要Lv5）、闘士（必要Lv5）、戦士（必要Lv10）、魔術師（必要Lv10）、騎士（必要Lv15）がある。

ただし魔法系職業で無くても魔法を覚える事は可能だし、魔法系職業でも近接戦闘の上達は可能、ただ職業補正が入るのみ。

剣士は剣技のみに強力な補正〓剣技上昇、闘士は格闘術のみに強力な補正〓格闘技上昇が入るので人気が無い職業、ただしその1点に関しては補正が強力。

戦士はあらゆる武器術・格闘術に補正〓戦技上昇が入る。

魔術師はあらゆる魔法に補正〓魔法上昇が入る。

騎士は全てに補正〓魔法上昇+戦技上昇が入る。

初級職 中級職 最上級職の順にクラスチェンジできる、一本道、ただし隠し最上級職がある事は噂として広まっている、職業神の巫女のみ条件を知っている。

隠し最上級職は普通の職業より上昇補正系の特性の上昇値が高くなる。

職業：勇者は生まれた時からカードを持って生まれ、生まれてから死ぬまでずっと職業：勇者。

剣士（必要Lv5） 剣鬼（必要Lv25） 剣聖（隠しⅡ） 剣皇・
条件：クラスアップ時点で敏捷・器用・精神が全てSS以上）（必
要Lv50）

闘士（必要Lv5） 魔闘士（必要Lv25） 聖闘士（隠しⅡ）
闘師・条件：クラスアップ時点で筋力・体力・敏捷が全てSS以上）
（必要Lv50）

戦士（必要Lv10） 戦魔（必要Lv30） 聖戦士（隠しⅡ）
覇戦士・条件：クラスアップ時点で筋力・体力・器用が全てSS以
上）（必要Lv60）

魔術師（必要Lv10） 魔導師（必要Lv30） 魔賢師（隠
しⅡ） 魔賢帝・条件：クラスアップ時点で魔力・器用・精神が全てS
S以上）（必要Lv60）

騎士（必要Lv15） 聖騎士（必要Lv40） 神騎士（隠し
Ⅱ） 騎士王・条件：クラスアップ時点で筋力・体力・魔力・敏捷・器
用・精神が全てSS以上）（必要Lv80）

称号

称号は特定の条件が満たされた時獲得する称号と、その者の社会的な立場を表現する称号とが有る。

不死殺し（アンデッド・キラー）：不死属性のモンスターを百体以上倒した者に与えられる対不死補正。……スレイは天才の補正でアンデッド・ナイトを倒しただけで手に入れた。

竜殺し（ドラゴン・バスター）：純竜種・純龍種のモンスターを百体以上倒した者に与えられる称号で、強力な対竜・対龍補正を得る事ができる。

闇殺し（ダーク・ブレイカー）：闇の種族の各種族の長クラスを殺した者に与えられる称号、闇という概念そのものへの絶対殺戮権を獲得できる。

神殺し（ゴッド・スレイヤー）：神を1柱倒した者に与えられる対神補正、ほぼ絶対的に獲得不可能な称号。……スレイは邪神の一部を倒したことで手に入れた。

ジエノサイダー
虐殺者：一度の戦いで時分のランクと比較しある程度以上のランクの敵を千体以上葬った者に与えられる称号。対多数の戦いで補正がかかる。

寵愛者：信仰する神から寵愛される者に与えられる称号、祝福の効果が最高級に高くなる。

剣の巫女：その戦いそのものが剣神に奉納する舞となり、剣神の寵愛を受けし者に与えられる称号。剣神の降神を習得する可能性を得る。

森の巫女：世界樹と交感でき、森神の寵愛を受けし者に与えられる称号。森神の降神を習得する可能性を得る。

癒し手：回復魔法を得意とする者に与えられる称号、回復魔法の効果に補正がかかる。

聖剣技の使い手：聖剣技の特性の持ち主に与えられる称号。

双刀の主：主を選ぶ剣である双刀アスラとマーナに主として認められた証の称号。この称号を持つ者がいる場合、主以外の者は双刀に触れる事すらできなくなる。ちなみに歴史上双刀の主となった者はスレイが初めてである。

神刀の主：主を選ぶ 神刀の主として認められた証の称号。この称号を持つ者がいる場合、主以外の者は該当する 神刀に触れる事すらできなくなる。

神剣の主：主を選ぶ神剣の主として認められた証の称号。この称号を持つ者がいる場合、主以外の者は該当する神剣に触れる事すらできなくなる。

剣術を極めし者：ほぼあらゆる流派の大陸の正統派剣術を極めた証の称号。特性の剣術上昇に加え、更に重複して補正がかかる。

刀術を極めし者：ほぼあらゆる流派のディラク島に伝わる刀術を極めた証の称号。特性の剣術上昇・刀術上昇に加え、更に重複して

補正がかかる。

闘術を極めし者：ほぼあらゆる流派の格闘技を極めた証の称号。
特性の格闘技上昇に加え、更に重複して補正がかかる。

闘術を越えし者：グランド家の流派の“技”を極めた者に与えられる称号。ほぼ確実にグランド家の本家の者のみしか得られる可能性は無い。グランド家の“技”とは人の格闘技の枠を越えかけた“技”である。特性の格闘技上昇に加え、更に重複して凄く高い補正がかかる。

魔導を極めし者：特定の者しか使えない一部特殊魔法を除き、ほぼ全ての魔法を極めた証の称号。特性の魔法上昇に加え、更に重複して魔法に補正がかかる。

天衣無縫：人の技に囚われる事なく戦いの本質を理解し、自在に己が肉体の可能性を追求し、自由奔放な戦い方ができる者に与えられる称号。人の技の術理や技法の基本を一度も修める事無く、探索者の肉体構造に合わせた“技”を自ら編み出したスレイだからこそ得られた称号。その時点での探索者の肉体構造の限界までの能力を発揮できる最適動作を自然と取れるようになる。

蟲毒の主：強力な毒性モンスターを使った、特別な蟲毒の法の実験で生き残り、最兇の蟲毒血を持った者に与えられた称号。蟲毒血の致死性はどれほど強力な毒耐性を持っていても防ぐ事はできない。歴史上この蟲毒の法が行われたのは一度のみの為、ミネアのみが得た称号。

念操絃者：「オリハルコンの操糸術」を極めた者のみに与えられる称号であり、そもそも「オリハルコンの操糸術」の創始者である

ミネアの師匠が新しく生み出した称号。

獣王：×5の獣化を極めたライカンスロープに与えられる称号。

森エルフ：森に住むエルフ族達全てに与えられる称号、森の中だと戦闘力に補正がかかる。

地のドワーフ：地に住まうドワーフ族達全てに与えられる称号。土や鉱物などを使つての鍛冶・工作などに補正がかかる。

風妖精：風の属性を操る妖精に与えられる称号、風の魔法などに補正がかかる。

見習いバーサーカー：狂化が×3までのまだ未熟な狂戦士に与えられる称号。

バーサーカー：×5の狂化を極めた狂戦士に与えられる称号。

狂獣王：狂化と獣化の両方を×5まで極めたライカンスロープの狂戦士に与えられる称号。

纏う者：魔闘術を身につけた者に与えられる称号。

魔物使い（モンスター・テイマー）：魔物使い（モンスター・テイム）の特性を持った者に与えられる称号。

ホーリー・ライダー ホーリー・ライディング
聖獣騎兵：聖獣騎乗の特性を持った者に与えられる称号。

モンスター・ライダー モンスター・ライディング
魔獣騎兵：魔獣騎乗の特性を持った者に与えられる称号。

森の守護者：森をとてても大事に思う者に与えられる称号。森のただと戦闘力に最高に補正がかかる。

氷雪の制覇者：氷雪に包まれた地域でも平常に行動できる者に与えられる称号。氷原や雪原などで戦闘力に最高に補正がかかる。

探索者ギルド特別工作員：探索者ギルドで諜報活動に就く者に与えられる称号。様々な諜報活動に補正がかかる。

占師：様々なものを“視”て“詠”むことができる占術の使い手に与えられる称号。

勇者：Lv99に至った至高の探索者に与えられる称号、神々の創り上げた迷宮システムで造られた戦闘兵器の完成形。

エルシア学園生徒：エルシア学園の現役生徒の称号。行動に制限がかかる変わりにある程度安全が保障される。

エルシア学園 年 科 席：エルシア学園の各学年の各職科の高位の成績の者に与えられる称号。学生の中ではある程度特別な権限を与えられる。

エルシア学園卒業生：探索者育成名門エルシア学園の卒業生に与えられる称号。迷宮都市においてある程度の優遇を受けられる。

神の神殿騎士：神の神殿騎士に与えられる称号、信仰する神の祝福が通常よりも高くなる。

聖王の守護者：光神の神殿騎士筆頭に与えられる称号。聖剣技を習得する資格を得る。また聖王の傍に侍る事が許される。

クロスメリア王国・一代大公：クロスメリア王国のみにある職業
ノ称号：勇者に対しその代のみ大公位を与える制度で、最高位の爵
位といえども実質はただの名誉貴族に過ぎない。

その他：立場や種族や地位などを表した称号でも、特別な意味や
補正の無い物は省略。

特性

その人間が常に持つ性質とあるいは発動させて効果があるスキルと言ったものの2つある。

強化系の特性の併用は2つまでが限界、尚且つ狂化と併用できる強化系特性は獣化のみ。

天才：表：ギルド史上初めて出た特性、詳細不明。裏：正式名称“前期・対邪神殲滅システム”。この世界の神々が、あらゆる世界で最強の“真の神”だった超神ヴェスタのこの世界を創り出した遺骸の残り全てを使い創造した、無限を超えた成長力を与えられた神造の天才たる究極の魂。そのまま成長すれば、この世界の敵である、無限を超えた世界を創造し破壊してきた超高位の全知全能者にして全知全能無効化能力所持者たる“真の神”である来訪者達、邪神達を殲滅し得る兵器として創り上げられた。だがその力に驕り“傲慢”に堕ちたその姿を畏れた閻神アライナにより魂を砕かれ滅ぼされる。ただ一人美神ミューズの恋人であったオメガ一人の魂が、その破片から美神ミューズの魂の一部を接着剤代わりに使い、継ぎ合わされ再生される。結果、その魂はミューズと同じ魂の波動を持つようになる。あらゆる世界に只一つしか無い魂の持ち主。レベル・ステータス共に限界は無いが、そもそも枠を超えたら神々のシステムでは測れない存在となる。

闘気術：闘気を用いて肉体や武具の内部を強化し、+1ランクの能力値と武具の強化ができる。体力の能力値で持続時間が変わる。遠距離攻撃として衝撃波などを扱える。闘士系職業の者が習得する可能性が高い。

魔力操作：魔力を用いて肉体の外側の世界の法則そのものを書き換え、+1ランクの能力値と武具の強化ができる。魔力の能力値で持続時間が変わる。遠距離攻撃として魔力の放出を扱える。剣士系、魔術師系、騎士系職業の者が習得する可能性が高い。

番外 闘気術と魔力操作の併用：闘気を用いて肉体や武具の内部を強化し、魔力を用いて肉体の外側の法則を書き換え、+2ランクの能力値と武具の強化ができる。実際に特性として存在はしておらず、闘気術と魔力操作の両方の特性を持った者が両者を組み合わせる扱った技法。闘気と魔力は相反する性質を持つ為かなり使用者のセンスに左右される部分が多い。闘気と魔力の操作が甘くロスを生じて、+2ランク未満の強化に終わる者が多い。

闘気と魔力の融合：闘気⇨生命力+エーテル+プリマ・マテリアと、魔力⇨精神力+エーテル+プリマ・マテリア、を強引に融合する事により両者に含まれた生命力と精神力を相殺し、プリマ・マテリアを拡散させ、純粋なエーテルを抽出し、純エーテルでの直接強化が可能。肉体や武具の内部を強化し、肉体の外側の世界の法則を書き換え、習熟度によりおよそ+3〜+5ランクの能力値と武具の強化ができる。邪神（真の神）と特性：天才のみが扱う事ができる。

概念操作：直接様々な“概念”そのものに干渉し、操作する特性。“真なる神”と“天才”のみが習得可能。

番外 プリマ・マテリアの剣：闘気と魔力の融合が成長して段階が上がれば第一質量にして全ての原質であるプリマ・マテリアを拡散させずに手元に留める事が出来るようになる。邪神（真の神）と特性：天才のみが可能な芸当。スレイの場合は剣士である為に剣の形になる。プリマ・マテリアは、無限を超えたありとあらゆる世界

と、その外の果てに至るまでに存在する全ての原質である為、スレイがその身に秘めた“切断”の“絶対概念”を扱う為の媒介とする事が可能。

魔闘術：肉体と武具内部を闘気で強化し、魔力を肉体と武具の外に物質化し纏うことで外部を強化する磨かれ洗練され体系化された特性。物質化した魔力を纏う事で世界の法則を書き換える事ができ、+2ランクの能力値と武具の強化ができる。闘士系職業専用特性。

聖剣技：代々の聖王の守護者に伝えられる神聖なる剣技。五つの剣理を超えた超剣技で構成される。

獣化：ライカンスロープが扱う、自らを獣化させる特性。×2、×3と数字が増えて行く程より姿が獣に近くなり、1段階毎に+0・3ランクの能力値の強化ができる。5段階目になると完全な獣の姿となり一気に+2ランクの能力値の強化ができる。ライカンスロープ専用特性。

番外 闘獣化：闘気術と獣化を併用し、段階により+1・3+3ランクの能力値と+1ランクの武具の強化ができる。実際に特性として存在はしておらず、闘気術と獣化の両方の特性を持った者が両者を組み合わせて扱う技法。

番外 魔獣化：魔力操作と獣化を併用し、段階によりおよそ+1・3+3ランクの能力値と+1ランクの武具の強化ができる。実際に特性として存在はしておらず、魔力操作と獣化の両方の特性を持った者が両者を組み合わせて扱う技法。闇の種族や魔物の魔獣とは全く関係無い。

番外 魔闘獣：魔闘術と獣化を併用し、段階によりおよそ+2・

3〜+4ランクの能力値と+2ランクの武具の強化ができる。装甲を纏った獣と言った感じで外観は実に格好良い物がある。実際に特性として存在はしておらず、魔闘術と獣化の両方の特性を持った者が両者を組み合わせて扱う技法。

狂化：理性を薄くし攻撃本能に身を任せる事で自らの戦闘力を強化する、世界の法則を狂わせる効果もある。×2、×3などと数値が増えていくが、×2なら2段階狂化できると言った意味。×5まで行ったら5段階目の狂化を行うと、狂化を極めたバーサーカーになる。1段階毎に理性を失っていく変わりに+0・3ランクの能力値と武具の強化ができる。最高の5段階目では一気に+2ランクの能力値と武具の強化ができる。戦士系職業専用特性。

番外 狂獣化：狂化と獣化を併用し、段階により凡そ+0・6〜+4ランクの能力値の狂化ができる。実際には特性として存在しておらず、狂化と獣化の両方の特性を持った者が両者を組み合わせて扱う技法。

降神：神の力を自らに降ろし、+3ランクの強化を可能とする。降神器の所有者か、その神の巫女のみが使用可能。

完全降神：神の力の一部でなく神そのものをその身に降ろす秘術。神の巫女の中でも特別な者のみで使用できる。降ろした神と同等の力を振るえる。

従神技：その身に闘神を降ろし、闘神すらも己が技の道具として扱う、神の力をただの道具にするグランド家の秘奥。闘神の力を己が技の強化に用いれる。グランド家本家・嫡子一子相伝の専用特性。

隠密行動：気配遮断や索敵など、隠密活動に最適な能力を上昇さ

せる。

思考加速：超高速戦闘において役立つ、他とは違う高速の世界に思考をクロックアップさせる特性。スキルや魔法を高速発動できる。下級魔法程度なら無詠唱で発動できるようになる。敏捷がその思考速度の加速に影響を及ぼす。思考のメカニズムの物理法則さえ改変している為、敏捷がEX+以上になれば光速を遙かに超えた速度域での思考も可能。

思考分割：思考を複数に分割してマルチタスクを可能にする。複数の魔法やスキルを同時に使えるようになる。器用さに応じて思考を分割できる数が無限を超えて増えていく。

剣技・格闘技・魔法・戦技上昇：それぞれの技能が上昇補正される。職業によって上昇度とどれが上昇するかは別々。戦技に関しては魔法以外の全てあらゆる武器を扱う技能まで上昇するが、一つ一つの上昇率は低め。

魔法効果上昇：その系統の魔法の効果が特別に上昇する。

方術魔法効果上昇：ディラク島独自の魔法である方術の効果が特別に上昇する。

刀技上昇：剣技の中でも特に刀技を扱う技能が上昇補正される。剣技上昇と二刀流と重複補正可能。

二刀流：剣技の中でも特に二本の剣を同時に扱う技能が上昇補正される、剣技上昇と刀技上昇と重複補正可能。

指揮能力上昇：軍を指揮する能力が上昇補正される。

士気高揚：軍の士気を高揚させる能力が上昇補正される。

カリスマ：人心を惹きつける魅力が上昇補正される。

無拍子：あらゆる攻撃に入る際の構えと予備動作を省略し、それでいながら攻撃は最大威力で放てる。

寸勁：零距离にて肉体の力と闘気の力を最大限に活かし爆発的威力の攻撃を放てる。グランド家一門の闘士職専用特性。

浸透勁：相手の内部に物理的衝撃と闘気の衝撃を防御を無視して徹す攻撃が放てる。グランド家一門の闘士職専用特性。

竜形拳：人にありながら竜気を用い、闘気との併用で+3の強化を成し、竜の牙、爪、尾、ブレスの如き技を放つ、グランド家独自に象形拳を改造した拳技。グランド家本家の闘士職専用特性。

合気 \parallel 化勁：あらゆる敵の攻撃の力のベクトルを読み取り、それを完全に操作して自らの力に上乘せして攻撃できる。人によって合気と化勁と名称が分かれるが、全く同じ効果。

明鏡止水：どんな状況でも常に冷静さを保ち、あらゆる特性や魔法の発動が常に速やかに行えるようになる。

無念無想：無心の境地で常に最適な行動を取る事ができる。“閃き”を持つ者は、余計な思考に邪魔される事無く、“閃き”のままに動く事が可能となる。

心眼：表：第六感によりあらゆる方向に死角が無くなる。裏：

実は探索者として改造された時点で五官とは別の第六の感覚器官として肉体内に実際に存在している。外見上には見えない。特性として表記されるか否かは、その機能が働いているか否かの問題。明らかになっている死角を無くす能力はポテンシャルのごく一部で、それとは別に、未来視・過去視・透視・千里眼、他未知の可能性を無数に秘めている。ただし相当に心眼の機能を鍛え上げなければそれらの能力が発現する事は無い。

蟲毒血：歴史上一度だけ行われた、強力な毒性モンスターの大量の中に探索者一人を放り込むという、特別な蟲毒の法の実験が奇跡的に成功し、生き残ったミネアが持つ、最強の毒性を持った血。強い毒耐性を持った探索者でさえ、血の一滴に触れたのみで死に至るのみならずその肌に触れただけで死ぬと言う。

オリハルコンの操糸術：精神感応金属オリハルコンのミクロ単位の細さとキ口単位の長さの糸を、特殊な方法で体内に埋め込み、生体的に自らと同化させ、自己修復能力など備えた自らの一部と成し、自らの意思で思いのままに伸縮させ、太くも細くもでき、また無数に分裂させ、超振動させ、千切れた一部を遠隔操作するなど、自在に操る事が可能な特殊な技法の特性であり、歴史上、この技を修めたのはミネアとそもそもこの技法を編み出したミネアの師匠の二人しかいなく、現在生き残っているのはミネア一人のみ。

高速詠唱：詠唱を高速化・簡略化し、威力や効果を落とす事無く、魔法発動までの時間を短縮できる。

無詠唱：無詠唱で時間を全く掛けず、威力や効果を落とす事無く、自らの使える魔法を全て使えるようになる。

多重魔法：同系統の魔法を重ね掛けし格段に威力を増す事ができ

る。

融合魔法：違う系統の魔法を融合し複数属性を併せ持つ新たな魔法とすることができる。

精霊の祝福：あらゆる正常な下級精霊から力を貸してもらうことができる。

精霊の加護：属性の上級精霊に気に入られた加護を得た者に付く称号。その上級精霊を召喚し自らの傍に侍らせ、力を借りる事ができる。

の精霊王の加護：四大精霊王の誰かからの加護。属性の正常な上級・下級精霊に対して絶対的な命令権を持てるようになる。正常でない精霊は対象外。

月の祝福：夜の月の元、新月～満月までで+0～+1ランクの能力値の強化が起こる。ライカンスロープ専用特性。

魔物使い（モンスター・タイム）：モンスターを従える事ができる特性。従えられるモンスターの強さは精神力が関係する。

ホーリー・ライディング
聖獣騎乗：聖獣に騎乗する事ができる特性。

モンスター・ライディング
魔獣騎乗：魔獣に騎乗する事ができる特性。

属性：属性が攻撃や防御に付与される。

耐性：属性に対する耐性が高くなる。

占術：過去視・未来視を兼ね備え、その場のあらゆるモノを“視る”事が出来る、絶対的探知能力。

封術：かつての最強の“真の神”“超神ヴェスタの遺骸”から創られた世界であるこの世界ヴェスタに遺されている超神ヴェスタの強大な力で生まれている世界の矛盾である“歪”の力を使い邪神を封印する術を使える「職業：勇者」のみに与えられた特性。その他、その「職業：勇者」の技量次第で、“歪”の力を他の戦闘的行動に応用する事も可能。

隠し特性

神々の創り上げた探索者システムの枠外、想定外のイレギュラーの特性の為、探索者カードに表記されない特性。

閃きⅡ 靈感Ⅱ インスピレーション：咄嗟の事態に思考を超えて直感的に反応する“閃き”と、天才などが特別な発明などを思いつく時の“閃き”、その両方を併せ持つもの。また超一流の戦闘者たる探索者ともなれば前者は光速を遥かに超えた思考を更に遥かに超えた速度の“閃き”のままに身体を突き動かすものとなり、超一流の研究者や探求者たる探索者ともなれば極めて常軌を逸した発想の刹那の“閃き”となる。ちなみにスレイの“閃き”はその両方を兼ね備えた“閃き”である。

進化コピー：スレイの進化した“眼”とその極限まで加速し分割された思考と“閃き”により、無意識に相手のあらゆる“技”や“術”を分析、分解、構成要素を取捨選択し、自らに役に立つ物だけを取り入れ、無駄な物は全て排除し、より高度に洗練され進化した“技”や“術”として相手から盗み自らの物にする、スレイが常時発動してる特性。遥か下位の応用として、相手の魔法を刹那に分析、強引に干渉・分解、魔力に還し吸収するなどという真似も出来る。

意志の剣： 特殊項目「人の可能性の“極限”・人の究極形にして完成形」参照のこと。

人の可能性の極限： 特殊項目「人の可能性の“極限”・人の究極形にして完成形」参照のこと。

全知全能： キャラ紹介「キャラ紹介（邪神Ⅱ真の神）」 特別
枠」参照のこと。

全知全能無効化： キャラ紹介「キャラ紹介（邪神Ⅱ真の神）」
特別枠」参照のこと。

オプショナルキャンセル オートキャンセル
任意無効化・自動無効化：スレイが自らの 全知全能無効化を、
自らの意思で何でも好きに無効化する能力と、自らが認識してない
危険に無意識に発動して無効化する能力に仕分けした物。

“〜”の“絶対概念”： 特殊項目「絶対概念」参照のこと。

神々

現在は邪神の封印を維持する為力を使い、顕現することはまず不可能。但し過去の聖戦時にも殆ど顕現する事は無く、勇者達やSS級相当探索者達、竜人族達などを戦闘の矢面に立たせていた。

かなり人間味に満ちた存在、俗的で利己的な者も居れば、かなり超然とした者や、人格者な者、慈愛に満ちた者など、それぞれ様々な個性を持った、多神教的な性質。

EX級相当の存在だが、神気を用いて+2ランクの強化が可能。

光神ヴァレリア……人間族の創造者、光魔法の使い手や、人間の王侯貴族に信仰される。

闇神アライナ……闇の種族の創造者、闇の種族と闇魔法の使い手と暗殺者や盗賊などに信仰される。かつて闇の種族を邪神との聖戦に参加させなかったがそれはまだ種として未熟な自分の被創造物である闇の種族を護る為で、神々の中では最も多く聖戦時に顕現して戦ったとされている。また全ての“天才”を魂ごと滅ぼそうとするが、それは神々を越える可能性すら持った彼らが“傲慢”に魂を染めた為、未来の禍根を断ち切る為の行為だった。

剣神フツ……剣技を極めんとする者に信仰される。元異世界の神。異世界での名は経津主神。

戦神アレス……様々な戦闘技術・戦術・戦略を極めんとする者に信仰される。元異世界の神。異世界での名はそのままアレスもしくは

はマルス。

闘神バルス……格闘技を極めんとする者に信仰される。

火神アグニ……火炎魔法を極めんとする者に信仰される。元異世界の神。異世界での名はそのままアグニ。

水神スサ……水氷魔法を極めんとする者や農民、漁師などに信仰される。

風神アネモイ……風雷魔法を極めんとする者や農民、漁師などに信仰される。元異世界の神達。4柱いる。異世界での4柱揃ったの名はそのままアネモイ。異世界での4柱それぞれの名はボレアース・ノトス・ゼピュロス・エウロス、この世界でも同じ。

地神ガイア……大地魔法を極めんとする者や農民、鉱夫などに信仰される。元異世界の地母神。異世界での名はそのままガイア。

癒神イアンナ……回復魔法を極めんとする者や医療に携わる者に信仰される。慈愛と博愛の神。圧倒的な包容力を持つ。

空間神オルス……空間魔法の使い手に信仰される。魔法の全てを極めたこの世界ヴェスタの元人間が成り上がった神という説がある。異世界の神々が、この世界の神に列せられたのと同時期にこの世界の神に列せられたとも言われる。聖戦時に迷宮システムを考案した者。同じく聖戦時に異世界の神々を戦力として召喚し、必要が無くなったら迷宮へと封印した存在。またこの世界ヴェスタの歪を利用した封術の考案者でもあり、“後期・邪神封印システム”職業：勇者の考案者でもある。

時間神クロノス……時間魔法の使い手に信仰される。元異世界の神。異世界での名はそのままクロノス。ただし同じ名を持った2柱の神が召喚の過程で同化し、この世界に誘われたという説もある。

職業神ダンテス……転職を司る存在、本来は様々な者に人が持つ無限の可能性を啓き、未来への道を示す存在だったが、現在は迷宮都市でのクラスアップのみに力が使われ、邪神の封印もある為、本来の役割は果たせないでいる。人の可能性を拓こうというだけあり、神々の中ではかなりの人格者。“前期：対邪神殲滅システム”特性：天才の素案の発案者ではあるが、もともとはあくまで人間の可能性の別方向からの探求を目的としたシステムであり、それをオルスに兵器として転用された。ダンテスとしては非常に不本意で、オルスに対する怒りは強い。

美神ミューズ……唯一残った“天才”の魂の恋人、美を求める者に信仰される。美を司る神だけあり、その美貌に世界の全てが跪く、他と比類するのが馬鹿らしくなる、超絶的美女。美だけではなく愛も司り、故に何よりも真実の愛を尊ぶ。

森神ルディア……世界樹と精霊を司る存在、あるいは精霊神とも言われる、エルフと小妖精と精霊の創造者、エルフや小妖精と精霊魔法や樹木魔法を極めんとする者に信仰される。世界の全ての流れに少しづつ関わっている。

鍛冶神シグマ……ドワーフの創造者、鍛冶師に信仰される。鍛冶のみならず、物作りに関する知識は一通り、圧倒的な知識量を誇る。

商神ギルス……商人に信仰される。人の社会のシステム、特に流通などの商業に関わるシステムの構築に深く貢献した。ただし、世界の裏側の暗い部分も作り出した。迷宮への宝の設置や神々へのシ

ークレットウエポン製作依頼とその迷宮への設置を考案。理由は面白そうだから。但しシークレットウエポンには神々に安全装置を掛けられてしまった為、腹いせに、自らが関わった物には呪いを掛けている。シークレットウエポンに呪いを掛けるのはこいつかオルスだけ。

竜神ドラグノス……竜人族や龍人族の創造者、竜人族や龍人族に信仰される。或いはこの世界本来の真の神であるヴェスタを除けば最も古い神。故にその被造物である竜人族、龍人族も酷く長寿。本来はその生きた年月こそが竜神に最も近い存在とも言える竜皇の強さの源なので、現在の竜皇は不完全と言っても良い。

獣神ライガン……ライカンスロープの創造者、ライカンスロープや猟師、牧畜を行う者に信仰される。あらゆるライカンスロープの創造者なだけはある様々な獣の特質を備えた神。真の姿は形容し難い。或いは、“億の獣の王”たる神。

国家

セレディア大陸

北の大国・北方の狼と呼ばれる強力な宮廷騎士団と宮廷魔術師団を備えたシチリア王国。王都・シリデイウス。氷王と呼ばれる厳格にして聡明な王アイスが治める。SS級相当探索者である女騎士、魔狼フェンリルが宮廷騎士団長兼宮廷魔術師団長を務める。どのような神を信仰するのも自由。

西の大国・竜人族の国たる晃竜帝国。帝都・竜華。代々SSS級相当の最強の竜人族である竜皇が治める。住人は殆どが竜人族と龍人族なので、当然のように竜神を信仰する。

南の小国・選ばれし者である勇者達（職業：勇者、称号：勇者の両方で現在8名）を擁するクロスメリア王国。王都・サザンクロス。勇者王アルスが治める。神々が創り上げた迷宮都市アルデリアがあるが独立志向が強く、また光神ヴァレリアの最高司祭たる聖王が探索者ギルドの長を任命する為、迷宮都市の独立性にお墨付きを与えている状態な為、ヴァレリアント聖王国とは複雑な関係。どのような神を信仰するのも自由。西端にはエルフ達の自治領である世界樹の森が存在する。

南の大国・クロスメリアの迷宮より見つかる様々な品を他国へと流通する事で膨大な財力を持った商人達が築き上げた議会制のフレズベルド商業都市国家。首都・フリースベルグ。現議長であるカイトがSS級相当探索者である閃光ダリアスを私兵として雇っている。

殆どの民が商神を信仰する。

東の大国・闇の種族が籠っているヘル王国。首都・タルタロス。2000年程前よりSSS級相当の最強の闇の種族たる最初の魔王が始めて生まれ落ち、ヘル王国を完全に治めるようになった。それまでは各種族の長が集まったの合議制であった。全ての民が闇神を信仰する。かつての聖戦に参加しなかったため偏見の目で見られ、差別を受けている。

中央の大国・セレディア大陸で最も宗教的権威を持ったヴァレリアント聖王国。聖都・ヴァレリー。光神ヴァレリアの最高司祭たる聖王イリユアが治める。SS級相当探索者にして聖王イリユアの兄である聖剣技の使い手、聖剣ヴァリアスが聖王イリユアの護衛に付く。

中央の国家群・ヴァレリアント聖王国を盟主として崇める幾つもの中小国家が存在する。数年前までは中小国家同士で小競り合いをしていた。ヘル王国に対しては闇の種族に対する偏見から常に小競り合いを仕掛けたりする。数年前の戦争時には傭兵が常に必要とされ、それを利用して傭兵王グラナルが作り上げた傭兵王国グラスベルなどもある。英雄ブレイズ、拳聖オウルなどの多くのSS級相当探索者もここに身を置いている。戦争が収まった今でも、各国共に常に緊迫した国家情勢の為、戦神アレスを崇める者が多い。

デイラク島

島国・殆どの者が剣神フツを崇め、デイラク刀こそ至高の武器との拘りを持ち、良質な刀剣類と優れた剣士を輩出する大陸すぐ北の

島国ディラク。ディラク刀以外も槍や薙刀など色々良質な武器を産出するが、ディラク刀だけは別格として扱われている。優れた剣士の他に忍と呼ばれる優れた諜報員も存在する。シチリア王国と深い交流を持つ。群雄割拠の戦国時代で小国が乱立するも、大陸より戻ったSS級相当探索者、当代最高の剣士と呼ばれる鬼刃ノブツナが率いる勢力が天下統一を唱え最大勢力となり、ほぼディラクを一つの国家として纏めかけている。

この世界ヴェスタには他にもまだ大陸や島などが存在するが、セレディア大陸とディラク島の間には認知されておらず、謎に包まれている。

ある大陸は聖戦時、智啓の邪神シエルノートが創り上げた生物兵器が落ち延び、独自の進化を果たし、独自の生態系を築き上げていると言われている。

ある大陸は聖戦時、神々と邪神の争いの隙を突いた未知なる異神が、一部の人間族を自らに帰依させ、独自の進化を促し、独自の文明を創り上げていると言われている。

種族

人間：光の神ヴァレリアによって創造された種族。この世界で最もポピュラーで数も多い存在。またこの世界のみならずあらゆる世界に存在する。共通する特徴として脆弱で愚かだが知恵と工夫に優れ繁殖力に溢れ文明を築く能力に優れ、また無限を超えた進化の可能性を秘めている……が、その可能性は永遠に近い悠久の時を人という種が生き延びた場合にのみ極められる物なので、絶対に“到る”事は不可能。ただの人間でありながら“到った”存在は未来永劫過去永劫無限を超えたあらゆる世界でただ一人のみ。

ドワーフ：鍛冶神シグマによって創造された種族。鍛冶・工作など物作りに優れる。ずんぐりむっくりしたごつい体型で毛深い。人間に友好的。

エルフ：森神ルディアにより創造された種族。美形揃いな種族。様々な氏族がいるが、殆どの氏族は基本的に人間を見下している。グラナダ氏族は例外的に人間にもドワーフにすら友好的。上位種族としてハイエルフ、亜種族としてダークエルフがいる。

ライカンスロープ：獣神ライガンにより創造された種族。獣人、様々な動物を原型に持つ様々な種のライカンスロープが居る、人に紛れて生きている。

闇の種族：闇神アライナにより創造された種族。吸血鬼、悪魔族、淫魔族、鬼人^{オイガ}族、巨人^{トロール}族、魔狼族や魔猿族などの魔獣、知性・理性を持った不死^{アンデッド}族等々、知性高く理性を持ち闇に生きる種族。かつての邪神との聖戦では傍観に徹していたが故に多種族に差別され蔑視

されている。闇の力によつて+2ランクの強化が可能。

竜人族：竜神ドラグノスにより創造された生まれつき強大な戦闘力を持った最強の戦闘種族。通常の竜種のモンスターや龍種のモンスターを遥かに越える圧倒的な力と知性を生まれつき併せ持ち、かつて迷宮都市により対邪神の力を得た称号：勇者達と共に邪神と戦った頼もしき戦友だった。亜種族として少数ながら龍人族が居て、その希少性から異竜帝国の中で一定の地位を得ている。竜化後もしくは龍化後は+2ランク強化され、竜気もしくは龍気によつてさらに+2ランクの強化が可能。

精霊：森神ルディアにより創造された、世界樹より生まれ世界樹に還る世界の法則を体現する存在。下級精霊は単純な感情しか持たない、上級精霊は人のように意思を持つ、精霊王は自分と同属性の精霊の全てに絶対的命令権を持つ。上級精霊以上の存在は、世界樹との同調によりそれぞれ+2ランクの強化が可能。精霊王は基本S級、己が属性の精霊を従える事でSSS級となり、そこから世界樹との同調でさらに+2ランクの強化が可能。

妖精：森神ルディアにより創造された種族。小柄で可愛い種族だが、悪戯好き。

モンスター
魔物：光ある所に影があるように、自然と誕生した種族。大陸全土に住まう邪悪な存在。単純な思考しか持たない魔物から、高い知性を持つ魔物など、更に姿形に至るまで様々な種類が居る。知性ある魔物の中には闘気や魔力を用いてそれぞれ+1〜+2ランクまでの強化が可能な魔物もいる。

妖怪：光ある所に影があるように、自然と誕生した種族。ディラク島に住まう怪異、色々な怪現象を起こす。単純な思考しか持たな

い妖怪から、高い知性を持つ妖怪など、更に姿形に至るまで様々な種類が居る。知性ある妖怪の中には妖気を用いてそれぞれ+1〜+2ランクまでの強化が可能な妖怪もいる。

迷宮都市

クロスメリア王国内にありながら、独立志向が強く、また絶大な力を持つ探索者ギルドが存在し、そのギルドマスターはヴァレリアント聖王国の聖王により任命される為、実際にクロスメリア王国からの干渉を退けている。

探索者ギルド・迷宮都市支部：各地に存在する探索者ギルド支部の中でも、探索者としての改造と登録が可能な施設とギルド銀行がある唯一の支部。他の支部と同じく仕事斡旋などを行うサポート窓口や都市の警備組織としても機能していて、またこれも他の支部と同じく換金所や道具屋に鍛冶工房もある。

探索者ギルド本部：ギルドの重鎮が業務を行ってる場所。ギルドにとつての賓客を泊める為の客室もある。また世界各地より、ギルドに認められた探索者が飛翼の首飾りで迷宮都市に直行できる様に用意された“転移の間”が存在する。

迷宮：数え切れない程の迷宮が都市の中心部に密集して存在している。探索者ギルドでも完全に把握できているのはごく一部のみ。

円形闘技場：普段は探索者の鍛錬や学生の実技の為に使用され、時々武闘大会などの各種イベントに利用される。神々の結界が張られ、普通の探索者の実力ならば、どのような戦いをしても決して致命傷などは負う事が無い。神々の結界で普通の探索者の実力では傷つけられない程頑丈な構造。神々の結界の想定域を越えた戦いで、闘技場が損壊しても、自己修復能力で自然と修復される。

広場：デートの待ち合わせなどに利用される都市民の憩いの場。

公園：恋人のデートや子供の遊び場や家族の憩いの場などに使われる、都市民の憩いの場。

職業神の神殿：職業神ダンテスを祭る為の神殿。ダンテスを祭る祭壇が中心の広間にある。探索者がクラスアップを行う為の施設が存在する。探索者としての教育を全く受けていない者や学園に行かない子供に初歩的な事を教えたりする教室もある。それらの者達のがに入り口付近に酒場もある。また職業神の巫女や神殿騎士の宿舎が併設されている。

エルシア学園：迷宮都市でも有望な探索者の子供や、貴族の子女などが通う名門の探索者養成学園。三年制。職業種別毎の五種の学科がある。生徒会や委員会など通常の教育施設と同様のシステムも存在する。

各種店舗：迷宮都市内では扱われないような、迷宮内から探索者が回収してきた様々なアイテムや、素材を使って作られたアイテムなどが売られる、各種の店が存在する。

高級邸宅街：功績を上げ一代貴族となった探索者が住んでいる高級な邸宅の集まる場所。一代貴族とはいえ国政に関する職務を与えられる訳でも領地を与えられる訳でもないので、探索者を続ける者が多く、それ故に迷宮都市内に邸宅を構える者が集まった。

通貨基準

1 コメル 1000 円程度の価値

1 コメル ≡ 銅貨1枚、10 コメル ≡ 銀貨1枚、1000 コメル ≡ 金貨1枚

迷宮都市で最初にスレイも色々準備を整えるのに銅貨や銀貨を使ったが、すぐに迷宮で金貨単位で稼いで、ギルド銀行の引き落とし支払いに移行した為、銅貨や銀貨に出番は無かった……合掌。

迷宮都市以外でのあまりに大きな金銭の動きは、流石にそれだけ莫大な通貨を使用するのは大変なので、商神ギルスの遺した契約の神聖魔法を用いての信用取引となる。

貧民の平均的月収 ≡ 大体0 ~ 10 コメル程度（運次第でもっと幅がある、収入と言っても施しを受けるだけで、何も稼ぐ手段を持たない立場の者、そのまま野垂れ死ぬか、運良く迷宮都市の近くに生まれた者ならば探索者になる事を目指す）

普通の村の村人の平均的月収 ≡ 10 コメル程度（そもそも村の中で自給自足が成り立っているので収入が必要無い、外との取引はその立場の者が行い、大きな金銭は村長が管理している、僅かにでも収入があるのは時折の楽しみに村の外に遊びに出たり、時折村に来る交易商人などから何かを買ったりする為に与えられる、僅かな楽しみの中の金銭。勿論本など高額で田舎村などには一冊でもあれば

珍しい方で、スレイはその意味でも恵まれていた)

当然貧民達が生き延びる為に群れを成して様々な手段で生きている貧民街なども、存在する都市もあるし、村といってもそれぞれ土地の豊かさや村長などによって格差が有り、ただ生きるだけで通貨など持った事が無い村人も居る。

普通の町の町人の平均的月収〓 10000コメル

普通の都市の中流家庭の平均的月収〓 20000コメル

迷宮都市の中流家庭の平均的月収〓 30000コメル

大前提として上記3つは、中流家庭の平均的な月収を指しているので、当然下流家庭や上流家庭などはもっと上下するし、また中流家庭でも職業によってかなりの幅がある。

王侯貴族の平均的月収〓????(貴族としての地位や立場や仕事、また領地の有無からその領地の豊かさ、王族ともなればその国自体の規模や豊かさ、それに税率など、様々な要因が絡み合い、本気で様々な者が居る。だが五大国は当然、特別に迷宮都市を抱えるクロスメリア王国も、幾ら迷宮都市の独立志向が強いとは言え税収は大きな物となるので、それらの国となれば、上級以上の代々続く貴族ならば上級探索者より上だし、当然王その人が動かせる財ともなればよほどの特例の存在であるSS級相当探索者でもなければ、SS級相当探索者以上と言って良い、それを軽々しく動かすかどうか、また動かした結果どうなるかはまた話が別だが。またディラク島も、今では大陸と通貨単位を同一の物にするにまで至り、また、

ディラク島独自の技術や産出物は大陸では非常に稀少な物として莫大な価値で取引されるため、国主であるノブツナや上級貴族の財は上記の六国と同等と言って良い)

安い宿屋＝1泊10コメル

普通の宿屋＝フレイヤの宿＝1泊1000コメル

高級な宿屋＝1泊10000コメル(高価なところはとことん高い)

全て3食付き、勿論内容は値段相当、ただし高くて良い食材を使っていれば必ず美味しいという訳でも無い、その宿の料理人次第、勿論安い宿屋は材料費などの時点で論外だが。普通の宿屋からは風呂もある、風呂の広さや清潔さなども値段相当、ただし高ければ清潔だと言う訳でも無い、従業員の清掃の行き届き具合の問題も有る、安い宿屋に関してはちゃんと見栄えを気にする者はどこか都市の外に出て水浴びなどをしたりする。当然部屋の内装も値段相当、ただし高ければ過ごし易いという訳でも無い、清掃の行き届き具合などは従業員の働き次第、勿論安い宿屋は論外だが。しかも安い宿屋は誰でも受け入れるような裏がある所もあつたりする。

初心者(下級探索者の平均的月収＝1000)～10000コメル(生き残る事前提、また迷宮探索で生き延びても蓄え無しに1000コメルなどの少なすぎる月収では野垂れ死ぬ者も居る)

中級探索者の平均的月収＝50000コメル

上級探索者の平均的月収＝100000コメル（探索の内容により、かなり幅がある）

SS級相当探索者の平均的月収＝????????（ほぼ望むだけの物が手に入る）

探索者としての収入も相当に高額ではあるが、探索者の場合各種アイテムの準備や装備の整備など、支出も多く、よほど上手くやらなければ、それほど裕福と言う訳でもなかったりする。本来の意味での探索者の栄達はSS級相当探索者となつてから。SS級相当探索者ともなれば、個人でもはや一軍に相当する価値を持ち、どの国もこぞつてどれだけの金を出し地位を用意しても欲する人材であり、また個人で自由に生きる事も気俎な、本当の成功者と言える。

ギルドお抱え（見習い）の初心者（下級探索者の月収＝20000コメル＋任務の必要経費全て＋自己鍛錬や任務での迷宮探索において任務の目的の物以外は全て自らの収入として良い（破格の待遇なのは将来性を買う為、なので資質はかなり選定される）

ギルドお抱えの中級探索者の月収＝75000コメル＋任務の必要経費全て＋自己鍛錬や任務での迷宮探索において任務の目的の物以外は全て自らの収入として良い（破格の待遇なのは、自前の手駒として抱え込んでおく為）

ギルドお抱えの上級探索者（ケリー等）の月収＝150000コメル＋任務の必要経費全て＋自己鍛錬や任務での迷宮探索において任務の目的の物以外は全て自らの収入として良い（破格の待遇なのは、自前の手駒として抱え込んでおく為）

ギルドお抱えの特別な立場の探索者（マリーニア等）の月収は20000コメル＋任務の必要経費全て＋自己鍛錬や任務での迷宮探索において任務の目的の物以外は全て自らの収入として良い（破格の待遇なのは、自前の手駒として抱え込んでおく為）

当然、自己鍛錬での迷宮探索を行えば、支出は相応にあるので結果として収入は減るが、生き延びる為に自己鍛錬を欠かす者は居ない。大体お抱えの探索者は幼少期に素質ある者を引き取るか、優秀な探索者に誘いをかけるか。危険な任務を果たさねばならない責務を負うが、通常の探索者で居るよりはよほど裕福な暮らしを約束される為、誘いを断る者はまず居ない。誘いを断るのは、それこそ始めから大きな目標を持った、自らがSS級相当探索者となって大きな事を成し遂げると、自らを信じ続けている者ぐらいである。

迷宮都市外の探索者は、盗賊などに身を落とす者は論外、そもそも才能があるが無かるうが関係無く、致命的に倫理観に欠け、容易くその身を墮とす者達、ただし致命的に才能が無い者が多いという傾向は有る。探索者ギルド支部を通じ依頼を受けて働く者は、下級の者はちよつと優秀な傭兵程度の扱いで平時は町人の中流家庭よりも下、有事でも町人の中流家庭並かやや上程度の収入で、貧民や村人出身で才能の無い者ぐらいしか選ばない道。中級の者はそれなりに裕福な者から重宝されるので平時でも町人の中流家庭並、傭兵としても扱いは良くなり通常の都市民の中流家庭並かやや上程度の収入、迷宮探索に限界を感じるも、探索者を引退はしたく無い者が選ぶ道。上級の者は富裕層から重宝されるので平時でも通常の都市民の中流家庭以上、傭兵としてならば相当に重宝される為、迷宮都市の中流家庭以上の収入、死の危険を冒しながらのハイリスクハイリターンな生活に疲れ、それなりに安定した生活を望む者が選ぶ道。新しい物や稀少な物の発見を目指したり、大陸各地に点在する製作

者不詳の迷宮を探索する者は、その目的の物次第で、ある程度は探索者ギルドからサポートを受けられるが、それでも成果が出るか出ないか自体が運次第の為、上記の様な依頼を受けて生活を成り立たせながら、行うのが通常、それでもサポートがある分、両立は可能、ただしサポートをどれだけ受けられるかは探索者としての実力、実績による。外洋に乗り出しセレディア大陸以外の新大陸などの発見を目指す者は、当然のように外洋に可能性を見出しているパトロン、王侯貴族から大商人まで、かなり夢見がちな者達、の援助を受ける事が多いが、これに関しては上級の探索者でなければそもそもパトロンになつてくれる者がいない、もしくは自力で探索者生活の中で外洋に乗り出し新大陸などの探索を行えるだけの資金を貯める者も居るが、どの道それだけの資金を貯められた時点で上級の探索者になつている。SS級相当探索者については、上記に書いたようにそもそもどのような国も繋がりをもちたがり、いくらかでも援助してくれるし、また前述の様々な生き方を含め、どのような生き方をするのもなんでも自由気侷。

ギルド銀行の引き落とし支払い：ギルド内の銀行は、お金を持ち歩くとはやはり色々と危険があるのでお金を預ける為の場所。ギルド内の銀行に預けたお金の分だけ探索者カードを使つての引き落とし支払いが迷宮都市の店ならどこでもできる。探索者カードは本人認証で決して他人が持つても何も表示されず扱えないようになっていて、お金を持ち歩く必要も無いので、安全かつ便利に利用することができるようになってる。迷宮都市外では使えない。

探索者養成学園では基本、預金額は0コメルというのが規則なので、個人的鍛錬などでの迷宮探索などによる稼ぎは、家に現金として置いておくか、学園に預けて必要に応じて返して貰うかのどちらかになる。ちなみに家に置いておくのは危険なので、学園に預ける

のが普通。また、卒業後1年間は、その学園滞在中に稼いだ分は扱えず、学園で預かっておくか、家に置いてある場合も使ったら家からの援助と見なされペナルティが課される。あくまで卒業後1年間は、学園卒業時に渡されるその学園によって決まっている金額と、卒業後に自力で稼いだ分だけの生活が義務付けられる。だが逆に言えばどれだけ苦しくても、卒業後1年間は申請すれば、家からの援助や学園に預けてる金銭の使用を許されるか、それすらも無い卒業生には援助が出る。ちなみにギルドからの助成金。当然ギルドには報告され探索者としての評価に影響が出る。援助や預けてる金銭の利用ならばまだ評価の下落はそれほど無いが、援助を受けるまでになると評価は殆ど底辺に落ちる。

エーテルとプリマ・マテリア

エーテル

・第五元素。

・結ぶモノ。

・あらゆる要素と第一質量を結びつけている為、純粋なエーテルは本来存在しない。人の肉体の内においてはエーテルにより第一質量と生命力が結びついたのが闘気、エーテルにより第一質量と精神力が結びついたのが魔力である。スレイは闘気と魔力を融合させ強引に闘気と魔力の構成要素である生命力と精神力を相殺させ、更に第一質量を分離する事で、純粋なるエーテルのみを取り出し、純粋なエーテルによる強化を成功させている、極めて危険な行為。ちなみにエーテルとの結合で始原の炎を生み出せたのは、イフリートの報酬としての精霊石が世界の始まりより前の純粋な火の元素を含んだ物だった為。

・純粋なエーテルは本来創造神にして破壊神たる真の神クラス以上の存在にしか操る事は出来ない。作中では故ヴェスタと邪神達がそれ以上のクラスの存在である。スレイが扱えるのはそのヴェスタの遺骸から創られた魂の持ち主“前期・対邪神殲滅兵器”“天才”の残った最後の一人だから。

・神々の力である神気より高位の要素。力の質としては、エーテル>神気>その他(その他の中でもランクが存在する)。

プリマ・マテリア

・第一質量。

・エーテルによってすぐに何かとくっ付いてしまうので、本来は無限を超えて存在するあらゆる世界とそれら世界のその外の外の果てに到るまでの存在全てに混ざっているなんでもない構成要素。

・闘気と魔力の融合時に純粹なプリマ・マテリアを拡散させず手元に留める事ができれば、純粹なプリマ・マテリアは無限の可能性を秘めた原質の為、指向性を与え特化させる事で何よりも強力な物とできる。

・スレイの場合その領域に到達すれば“切断”の“絶対概念”を持ったプリマ・マテリアの剣を創造可能。

・イグナートは“破壊”の“絶対概念”を持ったプリマ・マテリアの大槌を創造可能。

・ヴェスタは“創造”の“絶対概念”を持っていたが、プリマ・マテリアを媒介にする必要は無かった。

・“絶対概念”を宿す事の出来る唯一の媒介。

・ただしスレイとイグナートの成長次第では、両者共、過去のヴェスタと同様に、プリマ・マテリアという“媒介”無しに“絶対概念”を扱う事もできるようになる。

・プリマ・マテリア自体と“絶対概念”自体の間には全くなんの関係も無い。

特別な存在

特性：天才：神々より無限を超えた成長力を与えられた魂Ⅱ前期・対邪神殲滅システム。つまり天与の才ゆえ天才。成長限界無し、レベル限界無し、能力値限界無し、ただしある程度以上になるとそもそも神々のシステムで測る事は不可能。神々すら軽く越える可能性とその傲慢を畏れた閻神アライナにより、美神ミューズが庇った恋人オメガ一人を残して魂ごと滅ぼされる。その魂を創造される際には世界を創造後に僅かに残っていたヴェスタの遺骸の残りの全てが使用された。純イーテル操作の習熟度により+3〜+5ランクの強化が可能。

職業：勇者：時間稼ぎをしてもらえれば邪神をヴェスタ世界の歪に封印できる封術を使えるⅡ後期・対邪神封印システム。封術の応用でヴェスタ世界の歪を使った技を使える。絶対にLv99がLv限界。生まれてから死ぬまでそして生まれ変わってもずっと勇者、生まれた時に既に改造済の肉体で、Lv1で職業欄が勇者の探索者カードを持って生まれてくる。3人分の魂が存在する。

称号：勇者：Lv99になつた探索者に与えられる称号。竜人族に匹敵する戦闘能力の持ち主達。ただしSS級相当探索者とほぼ同等の戦闘力。神々が迷宮都市を作り上げた目的である対邪神用の戦闘要員。シークレットウェポンに好かれる性質を持ち、故に全員が究極級のシークレットウェポンを所有する。

アスール火山の不死鳥^{フェニックス}：神峰アスール火山に住まうが故に破壊と創造の炎を宿した特別な不死鳥^{フェニックス}。神々すら越えた力を持つ。外宇宙レベルで創造と破壊の炎を操れる為に戦闘能力だけなら下級邪神と

同等。ただしあくまで創造と破壊の炎限定、あとは下位のレベルである普通の不死鳥と同じ死と再生の炎の属性も含むが、下級邪神のように全知全能ではない。EX+級。真炎と神気の併用により+4ランクの強化が可能。

失われし名持ちの邪龍：永い伝承の中で名前が忘れさられたことからこのように呼ばれるようになった。ただしそれはつまり、他の異世界の神々が存在は知られていてもどのような存在かまでは失伝してるのに対し、この者だけはその邪悪さと恐ろしさが今でも語り伝えられているという事になる。それは聖戦以前に邪悪な魔術師の手で召喚され暴れていた事と、その圧倒的な力の為。真の名はクロウ・クルーワツハ。かつてこの世界の神々に挑もうとした邪悪な魔術師に召喚されこの世界にやって来た異世界の龍神。死を司る蛇とも言われる。“死”の最低位概念から最高位概念まで全ての種類の“死”の概念を無限を超えて体内に納めており、自在に操る事が出来る。戦闘力だけならば中級邪神と同等の力を持つ。規定不能。神気と龍気の併用により+4ランクの強化が可能。本来は他の異世界の神々と同じく一世界の一神話体系の神の1柱に過ぎなかったが、邪悪な魔術師の術式によりヴェスタの力を吸収し進化し、戦闘能力のみならず中級邪神に匹敵するまでになった。

邪神（真の神）：自ら無限を超えた各種世界を創造した上でその全てを滅ぼし再生しやはりまた滅ぼした、それぞれランクは違えど全知全能者にして全知全能無効能力者たる“真の神”。下級から全ての者が全次元全知全能程度は遙かに越えた全知全能の領域に在り、無限を越えた無数の世界を創造し破壊し再生する事はただの遊びにもならない、もはや飽きた遊戯。真に最強の“真の神”だった超神ヴェスタが自らの肉体を素材に創り上げた、その防衛本能と力により、邪神の力すら防ぎ、決して壊れる事の無い“超神の遺骸”たる世界ヴェスタに、己が力を存分に振るい楽しむ為に集まった。ヴェ

スタ内ではEX+級〜規定不能。純エーテル操作により+3〜5ランクの強化が可能。

この世界の神々：ヴェスタの眷属として創られた単一属性に特化した生来のこの世界の神々と、失われた名持ちの邪龍と同じ様に邪悪な魔術師に戦力として異世界より召喚されたが邪悪な魔術師には従わず、失われた名持ちの邪龍に喰い殺されたこの世界生来の数柱の神々の欠員を埋める為にこの世界の神々に列せられるようになった異世界の神々が居る。生命の創造や滅亡などは可能だが、世界の創造や破壊は不可能。それぞれ超然とした性格の者や短気な性格な者から慈愛に満ちた者に非道な者まで、多神教らしく多岐に溢れた神格の神々である。EX級。神気により+2ランクの強化が可能。

異世界の神々：邪神との聖戦時に戦力として異世界より召喚された神々。聖戦時には対邪神の戦力として使われ、聖戦後は神々に欠員が出なかつた為、迷宮に封じられボスマンスターにされるといふ散々な扱いを受けている。更に召喚の本来の目的は、SS級相当以上の素体として完成した探索者に宿らせ、探索者を真の対邪神用兵器として完成させる為の素材として使う為だつた。探索者の完成度がヴェスタの神々の思惑通りに行かなかつた為計画は実行される事は無かつたが、実にヴェスタの神々は全体的には非道である。まあ異世界の神々も一部は元の世界で似た様な存在だつたが。EX級。神気により+2ランクの強化が可能。

神獣：元は魔獣や聖獣や妖怪だつたのが、永い時を過ごす内に、神々に匹敵する力と知性と理性を得た獣。天狼、九尾の狐、不死鳥フェニックスなどが良く知られている。SSS級〜EX級。神気により+2ランクの強化が可能。

聖獣：神獣には及ばないが特別な力を持った、理性と知性を持つ

強大な獣。ユニコーンやペガサスなどは超音速で移動可能で、ユニコーンには強大な力が、ペガサスには空を飛ぶ翼がある。ユニコーンは荒々しい気性で純潔の乙女以外には懐かない。A級〜SS級。聖気により+2ランクの強化が可能。

精霊王：森神ルディアに創造された精霊の中でも、同属性の精霊達を纏め従える特別な精霊。基本S級、己が属性の精霊達を従える事でSSS級の存在、そこから更に世界樹との同調により+2ランクの強化が可能。

竜皇：遙か昔から存在していた、竜神によって創造された戦闘種族たる竜人族最強の皇帝。現在の竜皇はまだ竜皇の座に就いたばかりの若い竜皇。竜化すればSSS級相当の存在。さらに竜気により+2ランクの強化が可能。

魔王：近年誕生した、闇の神によって創造された戦闘種族たる闇の種族最強の王。現在の魔王が初代魔王。SSS級相当の存在。闇の力により+2ランクの強化が可能。

異世界の勇者達：この時空連続体でも最低次元の最低位世界である宇宙の現代日本の名門女子学園の生徒3人組。この時空連続体の中では高次元高位世界の異世界アラストリアに魔王討伐の為召喚され、たまたまアラストリアに滞在していた時空竜フルールと共に旅をし、アラストリアの魔王を討伐し、力を回復していたフルールに真紀が願う事で、より強者が居る最高次元の最高位世界……というのは偽りで本当はあらゆる世界で唯一の絶対世界たる“超神の遺骸”たる世界ヴェスタへとやって来た。ちなみにアラストリアに三人を召喚した巫女は帰還の手段も用意していた。総合的にSSS級相当、アラストリアの勇者の力により+2ランクの強化が可能。ただしこれは対アラストリアの魔王戦以外では外れないリミッターが付

いた状態で、その制限が外れれば総合的にEX級相当、アラストリアの勇者の力により+2ランクの強化が可能。ちなみにアラストリアの魔王は総合的にEX級で+3ランクの強化が可能な存在だった、これだけの力を持つていたのはかつてアラストリアで最高位の神として君臨していた2柱の光と闇の神の内、かつての闇の神だったのがアラストリアの魔王であり、俗に言う光の神との権力闘争に負け、世界の敵に堕ちた存在だからである。つまり真紀達や真紀達を召喚したアラストリアの光の巫女は、アラストリアの光の神に、権力闘争の残党処理に利用された形。

時空竜：あらゆる世界・宇宙を渡り歩く事ができる汎次元竜。外宇宙レベルの時空は好きに操れる為、戦闘能力だけなら下級邪神と同等、ただし時空の力限定であり、下級邪神の如く全知全能ではない。EX+級。時空の力により+4ランクの強化が可能。

邪神の使徒：邪神の力を分け与えられた人間。邪神の能力の一部を扱う事ができる。SS級〜EX級。邪神の力で+2ランクの強化が可能。

邪神の尖兵：邪神の使徒の部下達。主の一つ下のランク。S級〜SSS級。主からの力の供給で+1ランクの強化が可能。

アンデッド兵：邪神の尖兵、クライスターの手で殺され、一騎当千のアンデッドとして生まれ変わったクランドの国の民の元人間。S級。本来は主の力で+1ランクの強化が可能だったが、クランドが“到った”事で、邪神の力を自らの肉体から全て消し去った為、それは不可能となっていた。

魔神：魔導科学によって造られた所謂ロボット。様々な性能の物があるが、SSS級相当かつ魔導機関のオーバーロードで+2ラン

クの強化が可能な物もある。

魔造“天才”：闇の種族、“吸血姫”シャルロットの手により過去の“天才”オメガとシャルロット自身の遺伝子を掛け合わせ生み出された存在。“天才”の本質である“無限を超えた成長力”を備える事は“絶対”に“不可能”だと判明したが、過去の“天才”オメガにそこそこは近い戦闘能力を備える事には成功し、一応の成果は上がった。EX級相当。闘気術と魔力操作の併用で+2ランクの強化が可能。

人の可能性の“極限” ・ 人の究極形にして完成形

・無限を超えた超々× 無限次元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層、その内外全てに存在する無限を超えた全ての世界で、人間という種族は、悠久の時を経て、凄絶な努力をし、果て無き経験を積みめば、“真の神”すら越え得る“無限を超えた可能性”を持って生まれて来ている。

・実際にその可能性の“極限”に至り、人の究極形にして完成形に“到った”のは、未来永劫過去永劫一人目のクランドと二人目のスレイのただ二人のみと既に確定している。スレイは未だその一端に“到った”のみで真に“到る”にはまだ時間が掛かる。

・本当にただの純粋な“ただの”人の身で“到った”のは未来永劫過去永劫クランド一人のみ。

・クランドを“ただの”人間と特別に表現するのは、神造の“天才”であるスレイは当然“ただの”人間ではありえない訳だが、もし人間という種族が悠久の時を存続するという天文学的に小さい確率を手繰り寄せ、そのほんの僅かな可能性を現実とし、人の可能性の“極限”に“到る”者が現れたとしても、人の可能性の本質とは創意工夫であり知識と技術と文明の発展であり進歩であるので、その人の可能性の“極限”に“到った”者の所属する人の文明は、間違い無く人の可能性を残し人ではありながらも、その技術と知識によって自らの身を“ただの”人では無い物へと人造的に改造している事が“絶対”に確実だからであり、故に本当に“ただの”人の身で、精神力だけで、人の可能性の“極限”に“到った”クランドは、あらゆる意味での例外だという事である。

・スレイが“最強”の“真の神”である“超神ヴェスタ”の遺骸の一部を素材に神々の手で魂を創られた神造の真の“天才”ならば、クランドは純粹な生命の人の営みの中で自然と生まれた天然の真の“天才”。故に邪神の使徒にされ弄ばれるなど様々な状況が積み重なった結果とは言え、絶望の感情の極みの果て、真の絶望を超越し、人の可能性の“極限”へと“到った”。

・人の究極形にして完成形へと“到った”クランドは、邪神の使徒とする為与えられた絶望の邪神クライスターの力を肉体から全て駆逐し尽くし、純粹なる人の身へと戻り、邪神つまり“真の神”殺しすら成し得た。

・人の究極形にして完成形が持ち得る真に最強の武器は、強さも弱さも含めあらゆる感情を極めた果ての究極にして最強の絶大なる“意志”の力の極みである“剣”。あらゆる精神や魂への干渉を打ち破り、弱き感情の全てを斬り裂き超越し、己が限界を全て斬り裂き、超絶的な精神力を持つ事になる。

・“到った”事により全てを超越して精神に生まれる“意志”の“剣”とは、本来は物理的・精神的、その他あらゆる意味で自らの限界を斬り裂き超越する為の物だが。敵である対象を、その“意志”の“剣”で以って、ただ“斬る”と“思った”だけで、対象を斬り裂くという現象を現実を引き起こす事も可能。全知全能の力のステージすら関係の無い、まさに“真の神”すら超える無限を超えた可能性を体現した精神の刃。

・既に完成に至ったクランドのその魂は、輪廻の輪の中でも、その奔流に解け込む事無く、その強さと個を保ち続ける為、長い刻の果て、スレイはクランドの魂が転生してきたら、すぐに攫って、英才

教育を施し、己好みの好敵手^{ライバル}として鍛え上げようと、魂を賭けて尊敬する相手にする事とは思えない大概な計画を立てている。だがスレイの中では、己が尊敬する唯一の存在であるクランドの魂は生まれ変わるつと至高の強さを持つのは絶対当然 ならば自らの手で最強の好敵手^{ライバル}へと鍛え上げよう、と短絡的で色々細かい事を無視していて問題がありまくりだが、スレイとしては筋の通った、クランドに対する尊敬があつてこそその計画である。他の相手の場合好敵手と書いて「あそびあいて」「や「てき」などと読むのが精々だが、唯一クランドのみ好敵手と書いてライバルと読むのがスレイにとつての至高の尊敬の表現。

絶対概念

・最終的なスレイとイグナートが併せ持つ「無限を超えた超々×無限次多元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層」内外全知全能の力も「無限を超えた超々×無限次多元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層」内外全知全能無効化能力の力をも遙かに超えた力、いやそもそもあらゆる力に絶対的に勝るが故の“絶対概念”。

・無限を超えた超々×無限次多元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層。つまり無限を超えた宇宙を内包した時空連続体と超時空連続体、その時空連続体と超時空連続体と虚無を無限を超えて内包した超外宇宙、さらにその外の外宇宙と虚無を無限を超えて内包した超外宇宙……と無限を超えて繰り返した果ての、果てなき果ての最果て。その“全て”をただの無に帰す、どこかただの無すら消滅させたただの無が生じる余地すら無くし、更には有と無の概念をも消滅させて、その上有や無といった概念が生じる余地すら絶対に無くす事も、“絶対概念”の本来のほんの1%程度の力で可能。

・いくつか属性がありスレイならば“切断”、イグナートならば“破壊”、ヴェスタならば“創造”、といった具合だが。例えば消滅した世界を再生させるのに、スレイなら消滅したという事実を“切断”する、イグナートならば消滅したという事実を“破壊”する、ヴェスタなら“消滅”した筈の世界が再生したという事実を“創造”するといった具合に、いくらでも応用可能で、全能でもあり絶対でもある、本気でなんでもアリの力。

・かつての超神ヴェスタであつても5%、これから先無限を超えて成長し続けるスレイとイグナートであつても5%までの掌握が限界であり、それ以上掌握できる物はそもそも「無限を超えた超々x無限次元外宇宙と虚無で満ちた果てなき果てたる最外層」内外の何処にも、未来永劫過去永劫何時であつても存在しない。

ヒロイン美人度ランキング

1位グループ：ヴァレリア（2大神の1柱なので美神と同格）、アライナ（2大神の1柱なので美神と同格）、ミューズ（美神だから世界が跪く美貌）、タマモ（“傾国”からこの世界に転生して“傾世”に進化したから世界が跪く美貌）

2位グループ：イアンナ（美に寄った女神なので）、ルディア（美に寄った女神なので）、エミリア（人外でも特別美形のエルフの中でも超特別な超規格外の美貌だから）、ティータ（エルフの中でも特別美形のハイエルフの中でも特別な超規格外の美貌だから）、エカティーナ（前世が女神だから超規格外の美貌の持ち主）、セリアーナ（前世が女神だから超規格外の美貌の持ち主）、ジャガーノート（元々真の姿を持った女神の邪神だから超規格外の美貌の持ち主）

3位グループ：カタリナ（人間ではこの面でも規格外の美貌）、イリュア（聖王様なのでオーラが違う規格外の美貌）、ミネア（人間ではこの面でも規格外の美貌）、サイネリア（聖王様と双璧の規格外の美貌）、シャルロット（吸血姫というだけあって色香が特別な規格外の美貌）、クズハ（霊狐だから当然の様に規格外の美貌）

その他：基本的にヒロインはみんなトップクラスの美女・美少女ばかりなのであとは好みの問題。

1位～3位グループまではあくまで規格外以上の格の違うグルー

プ。

ロドリゲスは前世は邪神だったけど性別無しだったので、基本女性としての美人度は人間フィノベース。

ヒロイン色気度ランキング

1位：タマモ（傾世の色香を持つから）

2位グループ：エカティーナ（超規格外の美貌かつ、前世は女神だが、人とは思えぬ色香が漂う方向に偏っている）、エミリア（超規格外の美貌とその胸の大きさと清純な性格のギャップが逆に色気に繋がっている）、フレイヤ（未亡人だけあり色気については超規格外）、カタリナ（規格外の美貌に、その王女としての高貴なオーラと妖艶な雰囲気ギャップが色気に繋がっている）、イリュア（規格外の美貌と神聖なオーラとその胸の大きい扇情的な肢体が色気に繋がっている）、ミネア（その陰性の妖艶な色香を漂わせる規格外の美貌故）、シャルロット（規格外の美貌かつ吸血姫なので魅了する色気も規格外）、ジャガーノート（超規格外の美貌かつ、胸も大きく、快活な雰囲気に見合わぬ妖艶な色香を漂わせるギャップ故）

3位グループ：セリアーナ（超規格外の美貌と魅惑的な肢体とその凛々しくも優しい清純な雰囲気ギャップ故）、マリーニア（神秘的で幻想的な色気を漂わせる）、マリア（炎の様な挑発的で情熱的な色香を漂わせる雰囲気と肢体故）、クズハ（善狐だがやはり狐の化生故色気は人外の物、かつその生真面目な雰囲気とのギャップ故）、セリカ（その制服からはみ出すような肢体と挑発的なガンチラと健康的な色気故）

美しい現役女神は、あまりに神聖過ぎて、一般人には色気を感じる対象に成り得ないので番外。

登場人物ナイスミドル（ダンディ）ランキング

1位：シエルノート（本体は“真の神”の威厳すら加味した英知を感じさせる超弩級のイケテルオジサマ。ただし邪悪なオーラが欠点かそれともそれすらもが持ち味かは意見が分かれるところ）

2位グループ：ゲツシユ（威厳もあり器も大きいナイスミドル、苦労症な所もまた人格に深みを与える持ち味か）、アイス（氷の如き能面の威厳ある美形のナイスミドル、髭を剃ってるのが欠点か）、クランド（その理想と言うに相応しい国主としての民への無償の愛、威厳、圧倒的な器の大きさ、美男子っぷり、まさにナイスミドルだが、やはり髭が無いのが欠点か）、ドラグゼス（壮年の威厳のある美形のナイスミドルだが、やはり髭が無い事と、竜人族としては若い故の性格に残る青さが欠点か）

3位グループ：ガルド（落ち着きのある大人の男性だが、妻に尻に敷かれてるのが欠点）、オグマ（威厳もあり、落ち着きもある、髭も生えた男だが、ライカンスロープ故の獰猛すぎる顔が欠点）、アルス（王の威風と圧倒的な威厳を感じさせる美形の男だが、ナイスミドルというには見た目が若すぎるのと髭が無いのが欠点）、グラナル（油の乗った髭も生えたナイスミドルと言いたい所だが、粗野に過ぎるのが重大な欠点）

このランキングに関しては前2つのランキングと違い、本気であくまで作者の個人的主観に基づいています。

登場人物美男子ランキング

1位グループ：アレス（絶世の美青年な男神）、ゼピュロス（美青年な男神）

2位：グレナル（へボーイけどハイエルフなので）

3位：ジン（オープンスケベだけどエルフなので）

4位グループ：アルス（王の威風と威厳を備えた美形のまさに中身の伴った美男子）、アイス（能面の如き無表情だがやはり王の威風と威厳を備えた美形の氷の美男子）、クランド（国主としての威風のみならず器の大きさ民への無償の博愛、刀術の才に圧倒的な知性、更には苦勞を重ねた年輪の重さなどを兼ね備え、更には“到った”事により透徹したオーラまでも備えた、完全な美男子）、ドラグゼス（圧倒的な力を伴う威厳を持った美男子、ただし多少青さが残るか）

何故か男の美男子度は1位グループ、2位、3位と人外無双になったので、4位グループも作成。

ヴェスタの神々の人格ランキング

1位グループ：癒神イアンナ（慈愛と博愛の神）、職業神ダンテス（人の可能性をひたすら信じ抜く神）

2位グループ：光神ヴァレリア（厳正な神、ただし世界への過剰な干渉を好まない）、闇神アライナ（厳正で自ら世界に干渉する神だが、世界にとって危険と判断したモノは自らの手で処断するなど苛烈）

3位グループ：時間神クロノス（時とは誰に対しても平等……実は2つの神格の内片方は元々の世界では祿でもない性格だったが、召喚され神格が習合する事によりまともになった）、美神ミューズ（美と愛の神……ただし良くも悪くも人間的過ぎる）

ワースト

ワースト1位：空間神オルス（異世界からの神々の召喚や、迷宮システムの考案者……これだけで説明は十分と思われる）

ワースト2位：商神ギルス（その性質上ひたすら狡猾、一応社会の流通システムの構築など色々と世界への貢献はあるが、色々と世界に裏を作ってるのもこいつ。……迷宮への宝の設置や神々へのシークレットウェポン製作依頼とその迷宮への設置はこの神が考案した。ただしシークレットウェポンについては殆どの物はそれぞれの神がきちんとセーフティを掛けたが。……一部の呪われたシークレットウェポンはこいつかオルスの仕業と考えて間違い無い）

番外

戦闘馬鹿：剣神フツ（知勇兼備タイプ）、戦神アレス（知的タイプ）……同一視されていながら重要視され崇められていたマルスと召喚された際に神格が習合している）、闘神バルス（力押しタイプ）、竜神ドラグノス（知勇兼備タイプ）、獣神ライガン（力押しタイプ）

職人馬鹿：鍛冶神シグマ（物造りに関する知識は異常に豊富）

自然神（人とそれ以外の種族全てに恵みと逆に災害を与える）：火神アグニ、水神スサ、風神アネモイ、地神ガイア、森神ルディア

ヒロイン明るさランキング

1位グループ：リリア（常に明るく闊達、ただし真面目な時は真面目）、サリア（子供らしく無邪気に底抜けに明るい……ただし、ヒロイン？……12年先に期待）、イリナ（底抜けの正義馬鹿）、アルファ（やはり子供らしく無邪気に底抜けに明るい……ただし、やはりヒロイン？……約10年先ぐらいに期待）

2位グループ：エカティーナ（どこまでも自分に自信を持った頂点に立つ者の傲然とした明るさ）、カタリナ（女性でありながら王道を行く者の輝かしい明るさ）、マリア（どこまでも情熱的な明るさ）、セリカ（純粹に健康的な明るさ）

3位グループ：イリュア（オーラは誰よりも神々しく、性格もまた人を照らすような明るさを持つが、駆け引きに長ける狡猾さも持つのがマイナス）、サイネリア（魔王などという立場でありながらどこまでも明るくユーモアに長けるが、王としての冷然とした面も併せ持つのがマイナス）、アリサ（いつも快活で明るくあけっぴろげだが、がめつく狡猾な面がマイナス……ヒロインかどうかは現状まだ未確定）

マイナスとはいっても、あくまでこの明るさというランキングで
の話で、人格面とは関係無い。

ヒロイン凛々しさランキング

1位グループ：ジュリア（凛々しい神殿騎士）、セリアーナ（学生とは思えない圧倒的凛々しさ）、フェンリル（流石の貫禄）

2位グループ：ヴァレリア（その圧倒的な厳格さは凛々しさと言えない事もないか？）、アライナ（その圧倒的な厳しさは凛々しさと言えない事もないか？）、エカティーナ（女帝といった貫禄なのでやや凛々しさからはズレるか？）、カタリナ（王者の威風なのでやはり凛々しさからはズレがあるか？）

3位グループ：ヒルデ（戦闘メイド、仕事も出来て戦える、ただしその職種上イロモノな面は免れない）、マリア（圧倒的なまでな情熱、ただし熱すぎて凛々しさをより映えさせる要素の落ち着きが足りないか？）、イリナ（ひたすら正義・熱血、ただしやはり行動理念が幼い為凛々しいというにはやや不足か？）、サイネリア（圧倒的なまでの威厳を発揮するが、ただし魔王モードの時のみ）

シークレットウェポン性能ランキング

1位グループ：紅刀アスラ（武器なのに成長限界無しと規格外）、蒼刀マーナ（武器なのに成長限界無しと規格外）

2位グループ：降神刀フツノミタマ（降神の特性を武具に持たせたのは異常）、ホリー・クロス聖十字斧槍ストライク（防御透過能力持ちかつ究極級の中でも最上位の一つ）、絶対王権の鞘（結界能力もかなりの物だが、何よりその所有者への絶対再生能力付与が異常、かつ究極級アルテマの中でも最上位）、アルテマイージスの盾（究極級の中でも最上位かつ、その絶対防御能力は異常を越えている）、勇者シリーズ（これらに付与できる封術のヴェスタという世界の歪の力というのは、元の超神ヴェスタの力から考えて異常に過ぎる……ただしどんな力も使いこなせなければ意味が無い（現所有者達））

3位グループ：絶対王剣エクスカリバー（究極級アルテマの中でも最上位かつ、基本攻撃力だけなら最強で、更に使い手次第でその威力は上がっていくが、あくまで単純な攻撃力に過ぎないというのが欠点）、炎杖カグツチ（元異世界でも上位の火神である、現ヴェスタの火神アグニが、遺体として異世界から召喚された、母神を殺すような炎を生まれた時から宿していた火之迦具土神を素材に作り上げた杖、炎の質という点に置いて、どこかの未知迷宮に封印される巨神スルトが持つ終焉の炎を宿すレーヴァテインにも劣らない逸品）

あくまで現在発見されてるシークレットウェポンの中での話。もしかすると更なるシークレットウェポンがどこかの迷宮に秘蔵されている可能性はある。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7493y/>

シーカー設定集

2012年1月11日09時00分発行